

杜

著

特267-93



特267

93

101

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



特 267
93

はしがき

◎本年は改暦第二年、秋には國を擧げて國民一同が壽ほきまつるべき御即位の大禮をこり行はせらるべき最も意義ある年であります
聖代の御榮御校威八紘に輝き燦として中外に普く服飾文化の絢爛は今や時代精神と一致して眞に期待すべきものと思ふのであります
茲に當店は此昭和新时代の精神に立脚して一は我國古典藝術の資料に後者は宇宙の大自然の材題を自由に個性に生かし醇化して當代服飾模様に融合するものを要望する次第であります

◎華やかなりし平安朝藤原期の典雅なる服飾文化は遠く一千有餘年後の今日迄も燦々として輝き我國民性の憧憬的となり流行界の餘澤となり其莊麗なる色調の氣品は大膽なる構想に相俟つて今や昭和聖代流行の寵兒たらんとするのであります 私共は此時代の服飾文様の精華を現代人の思潮に迎合せしめ此構想此色調を現代化し醇化し表現して益々複製の傳統美を高揚する次第であります

◎服飾は新流行の生れる事はその時代の大きな民衆の力であり時代精神を包むアトモスフェアの表はれであります 私共は此千載一遇の聖代に力の及ぶ限り又匠の到る限りアトモスフェアに溶け込んで當代流行の精選されたる様式を唱ふる次第であります 歐米の文物は時々刻々前後左右より押寄せ古來の傳統を破つた形、色、模様その凡ての點に於て人生對自然に聊かも無理なき形式が生れたのであります

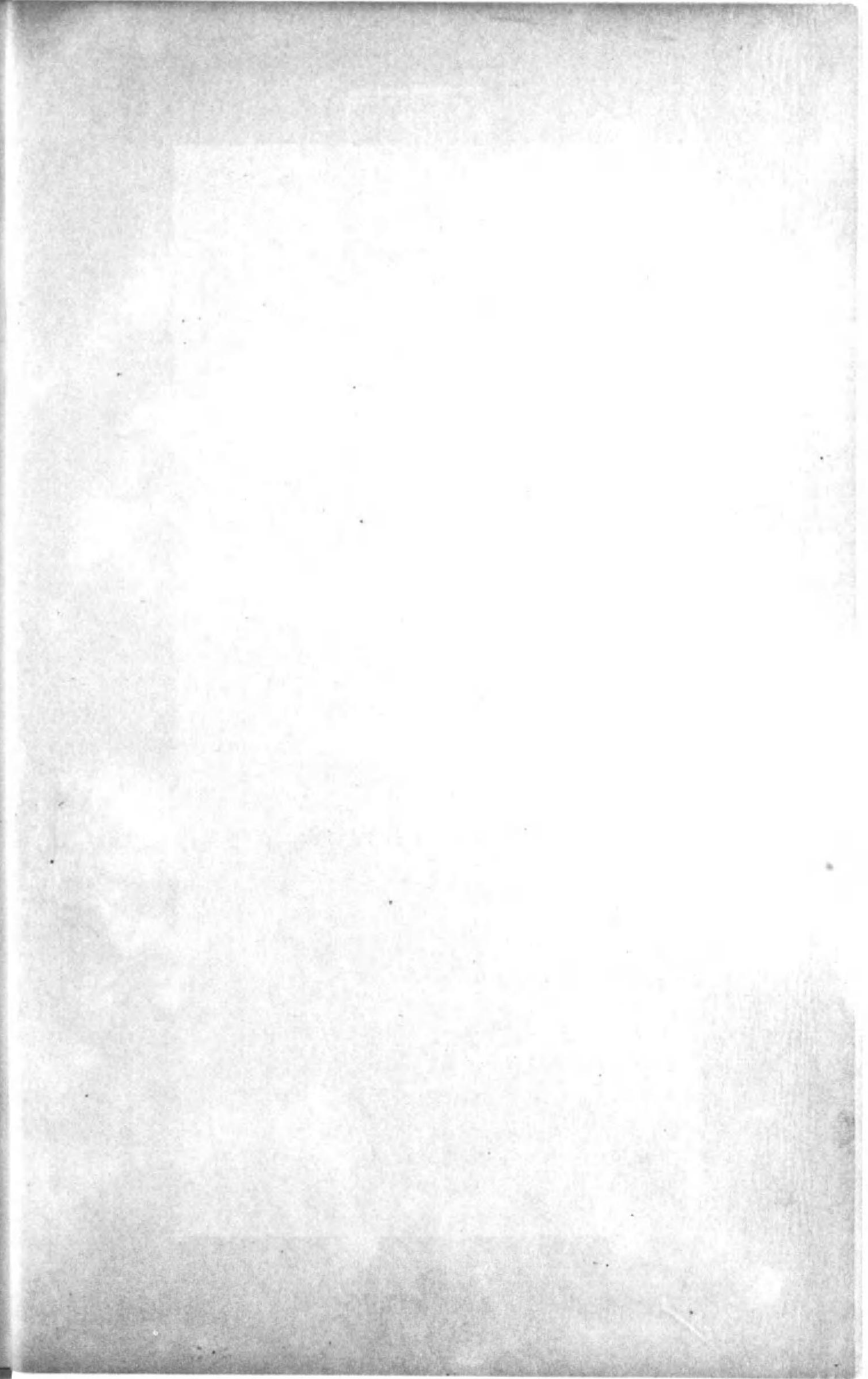
顧みて從來のゴゴチなき線と稱するリボン或は茫漠たる夢の如き堂し又は細線に依つて生かされたる如き、線を主眼としたるものを排し平面的よりも立體的に實際上、着せて離れて眺め始めて感じよき色調構圖千紫万紅咲き亂る、花の如く交響樂の調和を共まゝ、息づけて六合の間何等のコダワリなき創作こそ眞に生氣溢るゝ當代人の血潮湧くべきものと思ふのであります

大丸呉服店意匠部

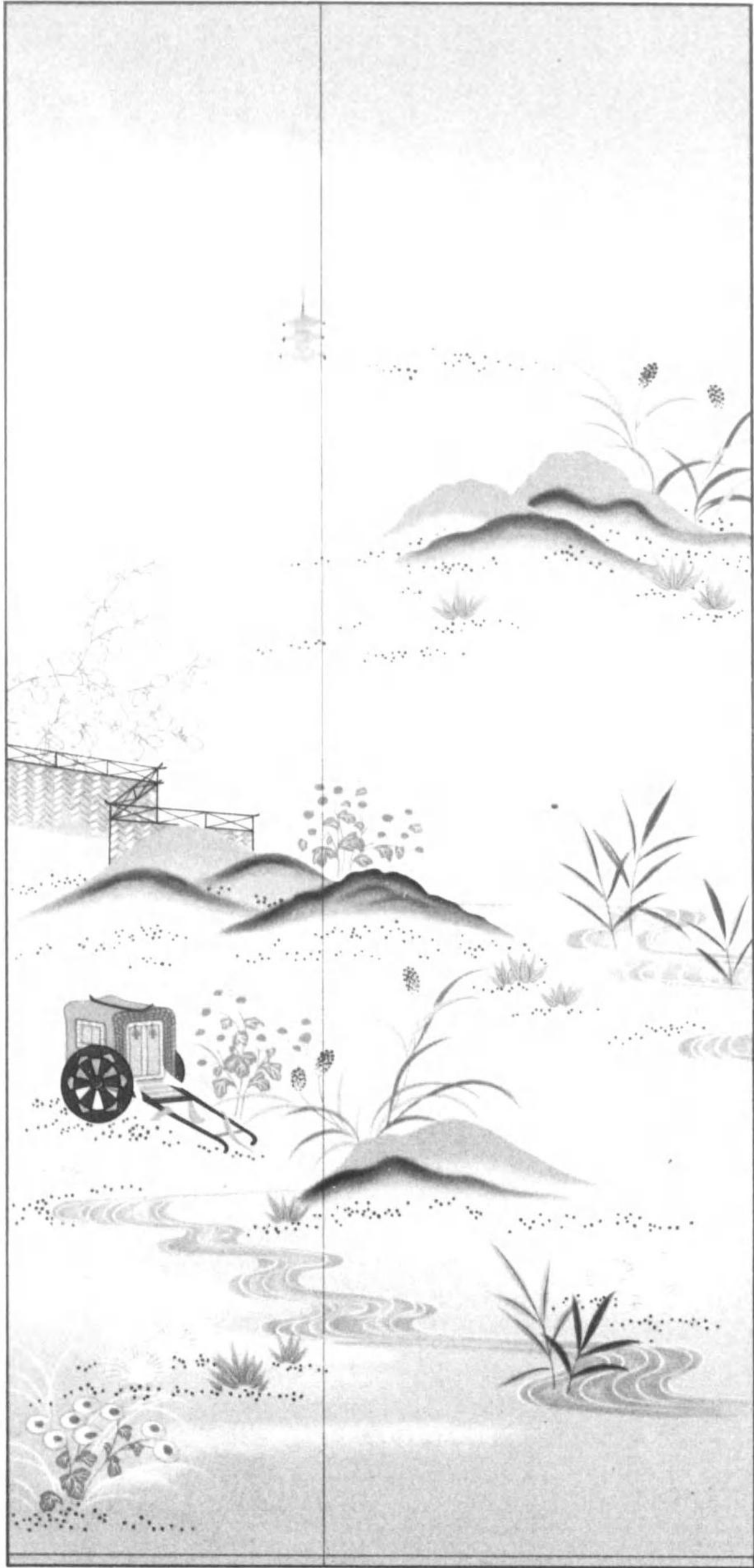
大阪・京都・神戸・金澤



壹

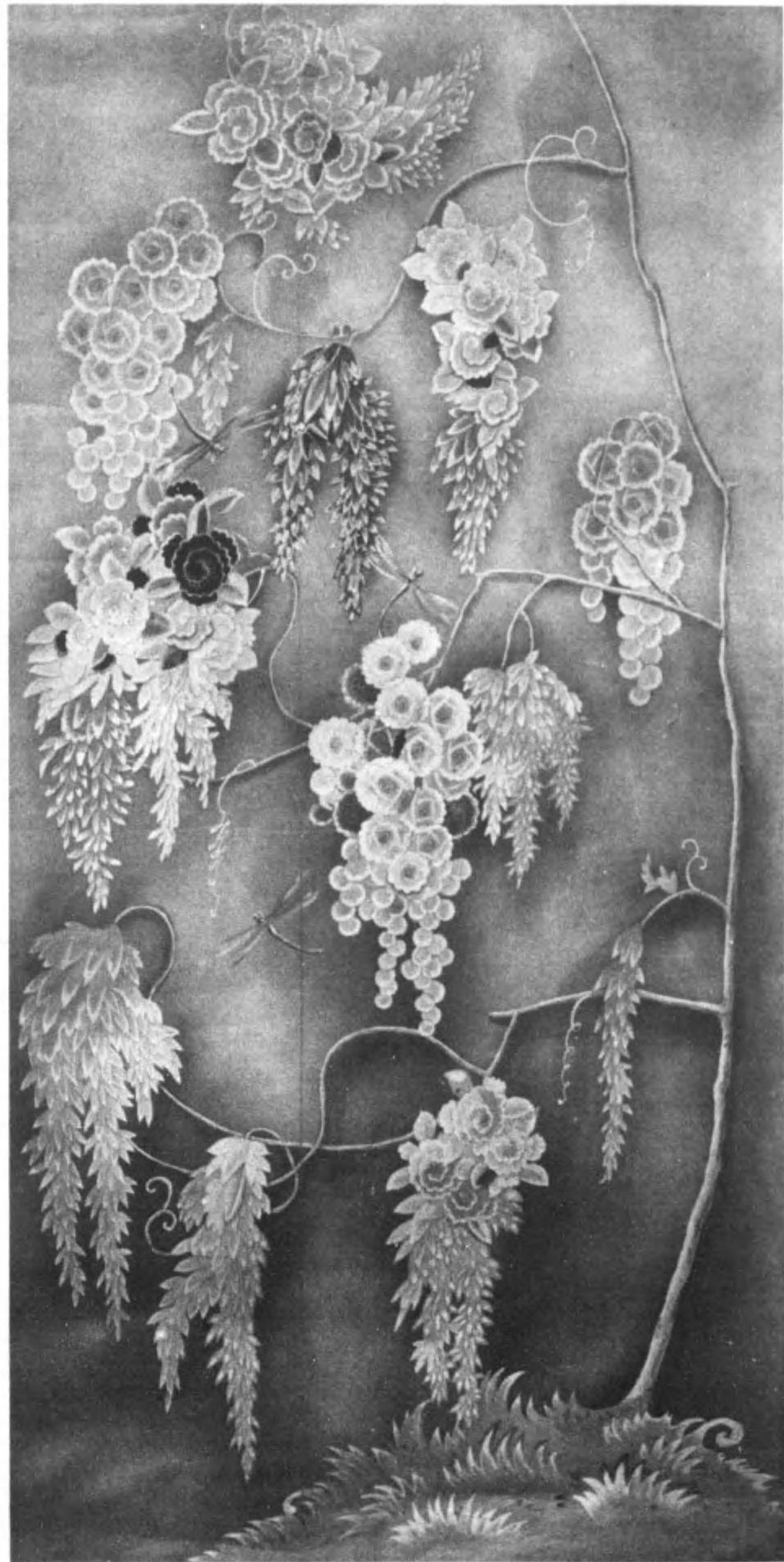


貳

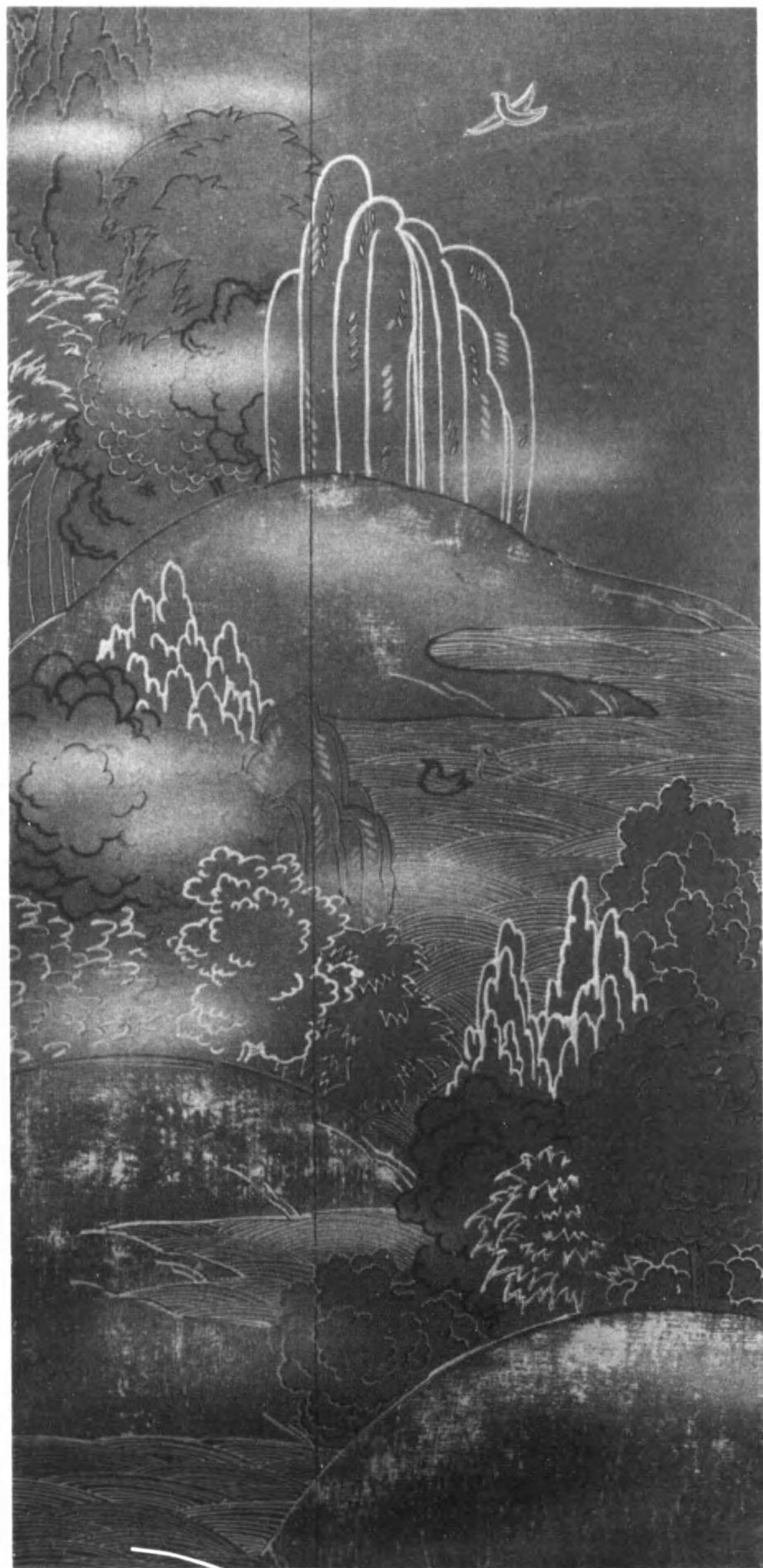


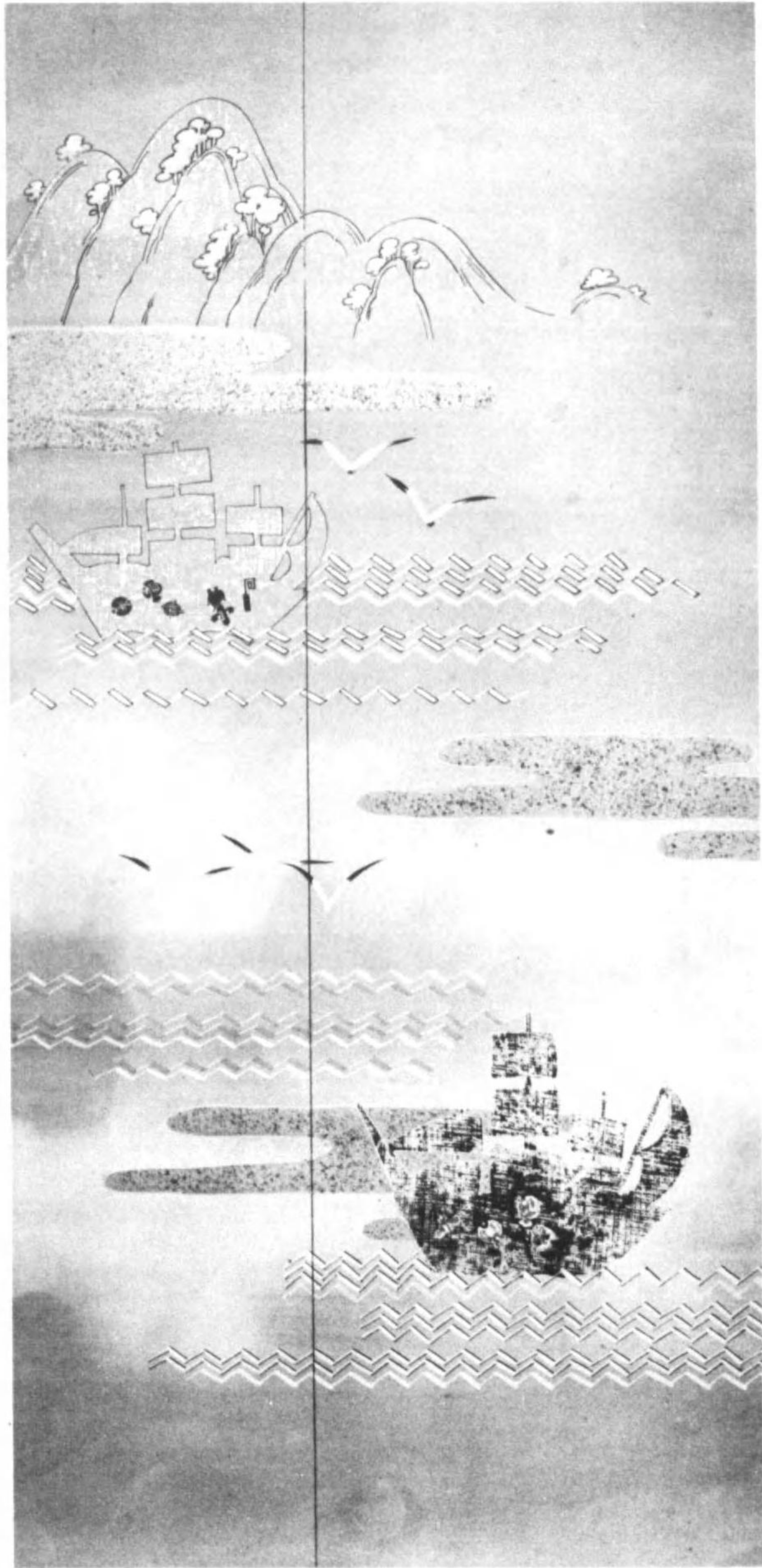
参





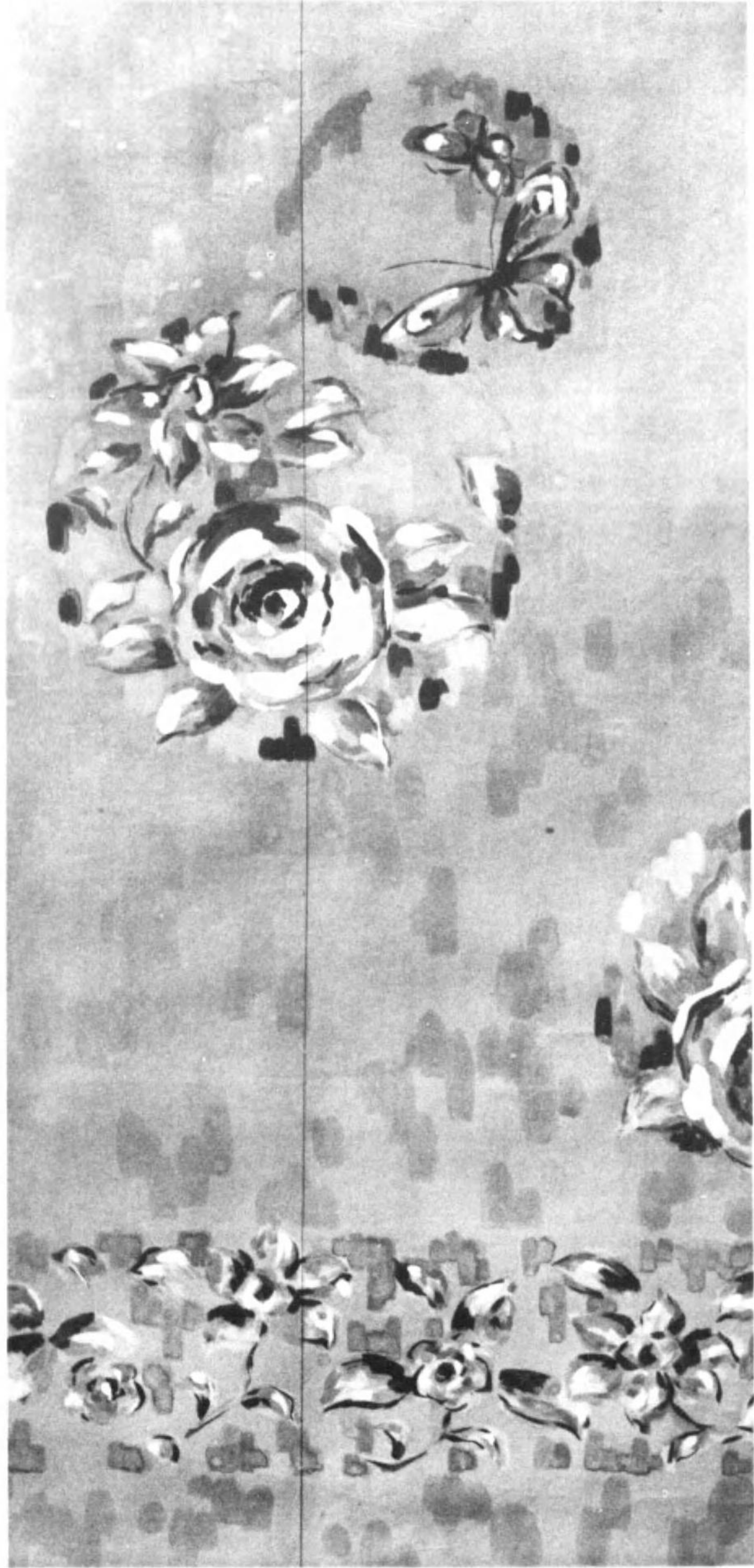
4

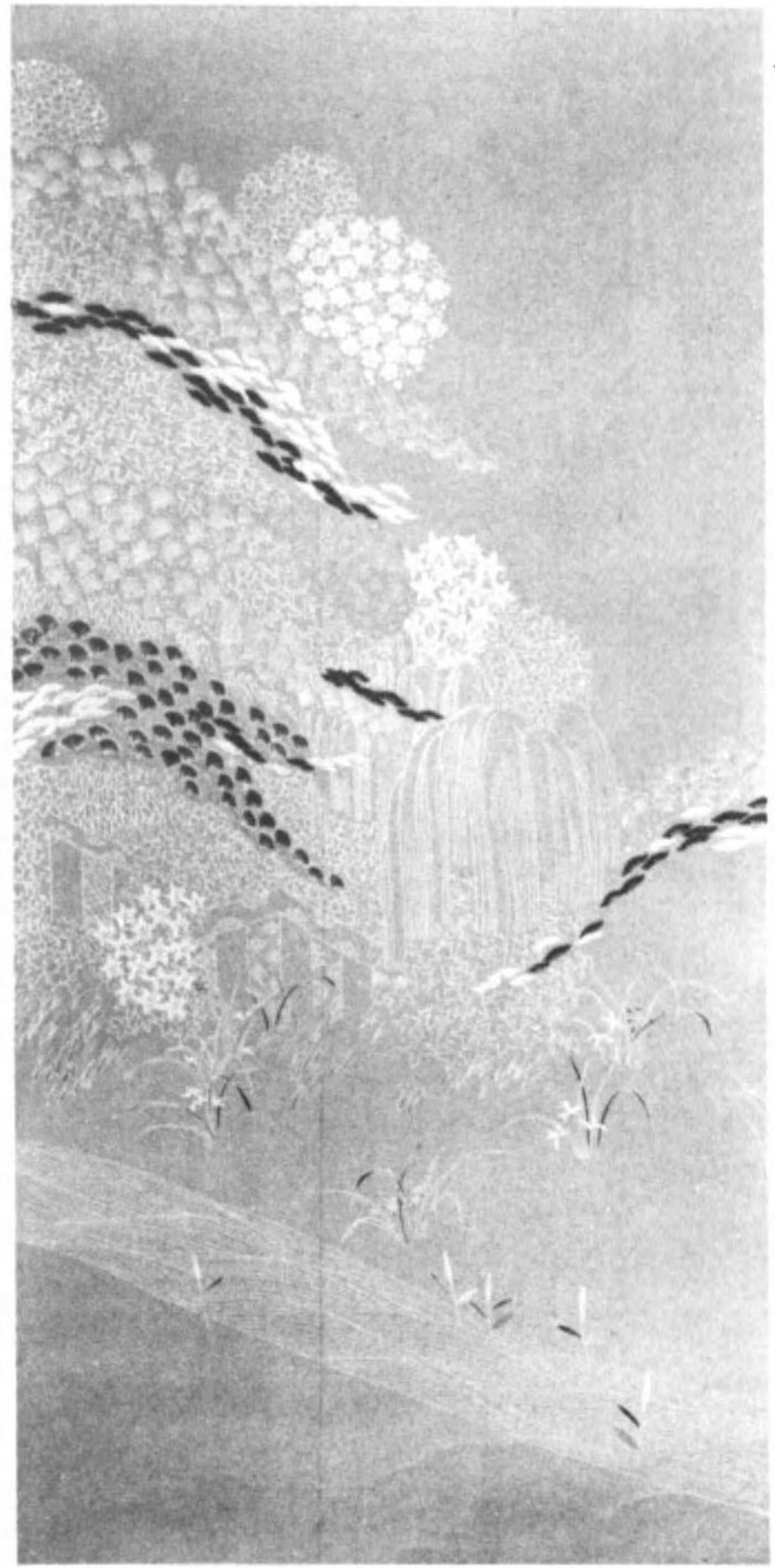




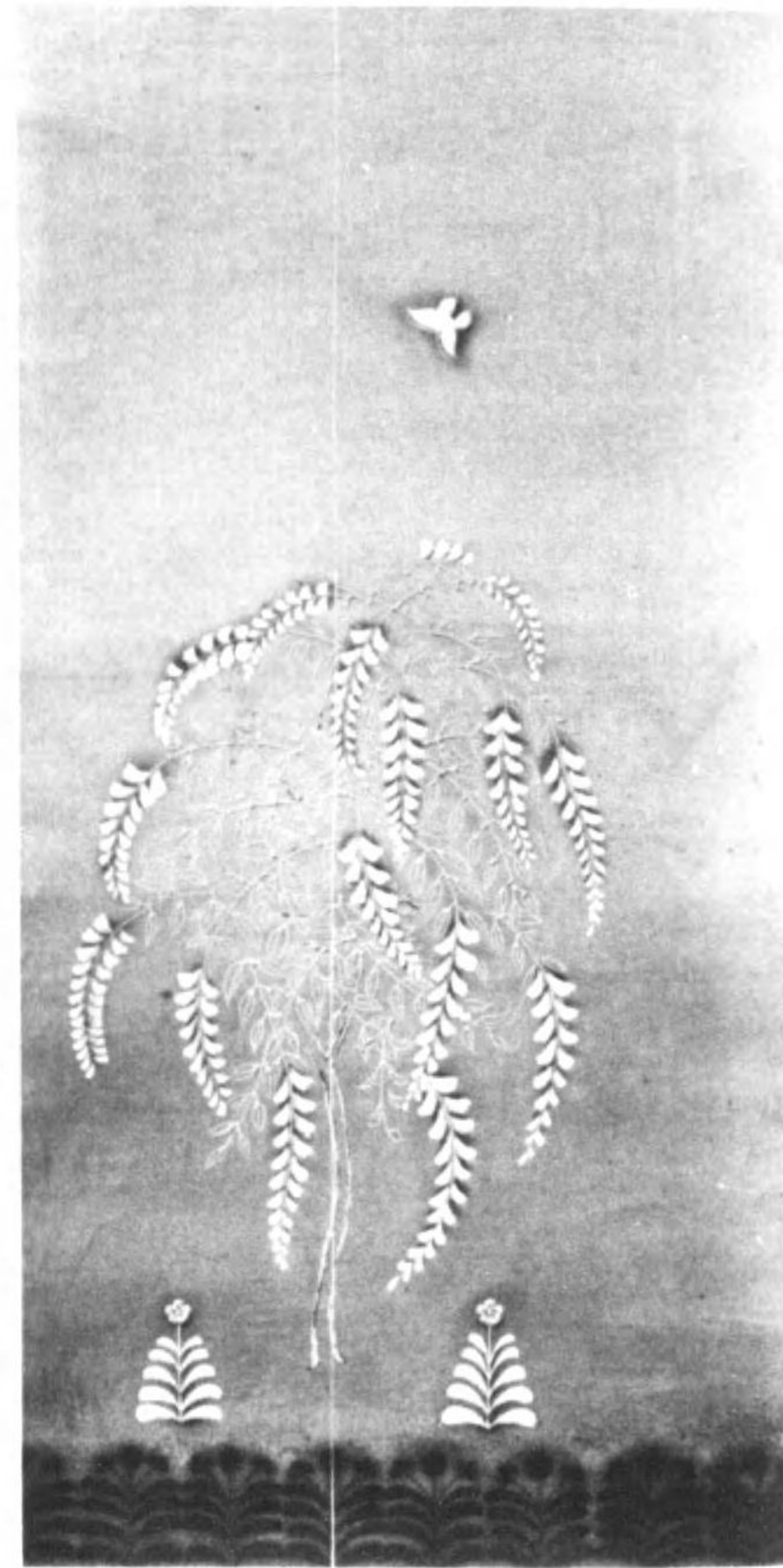


tr

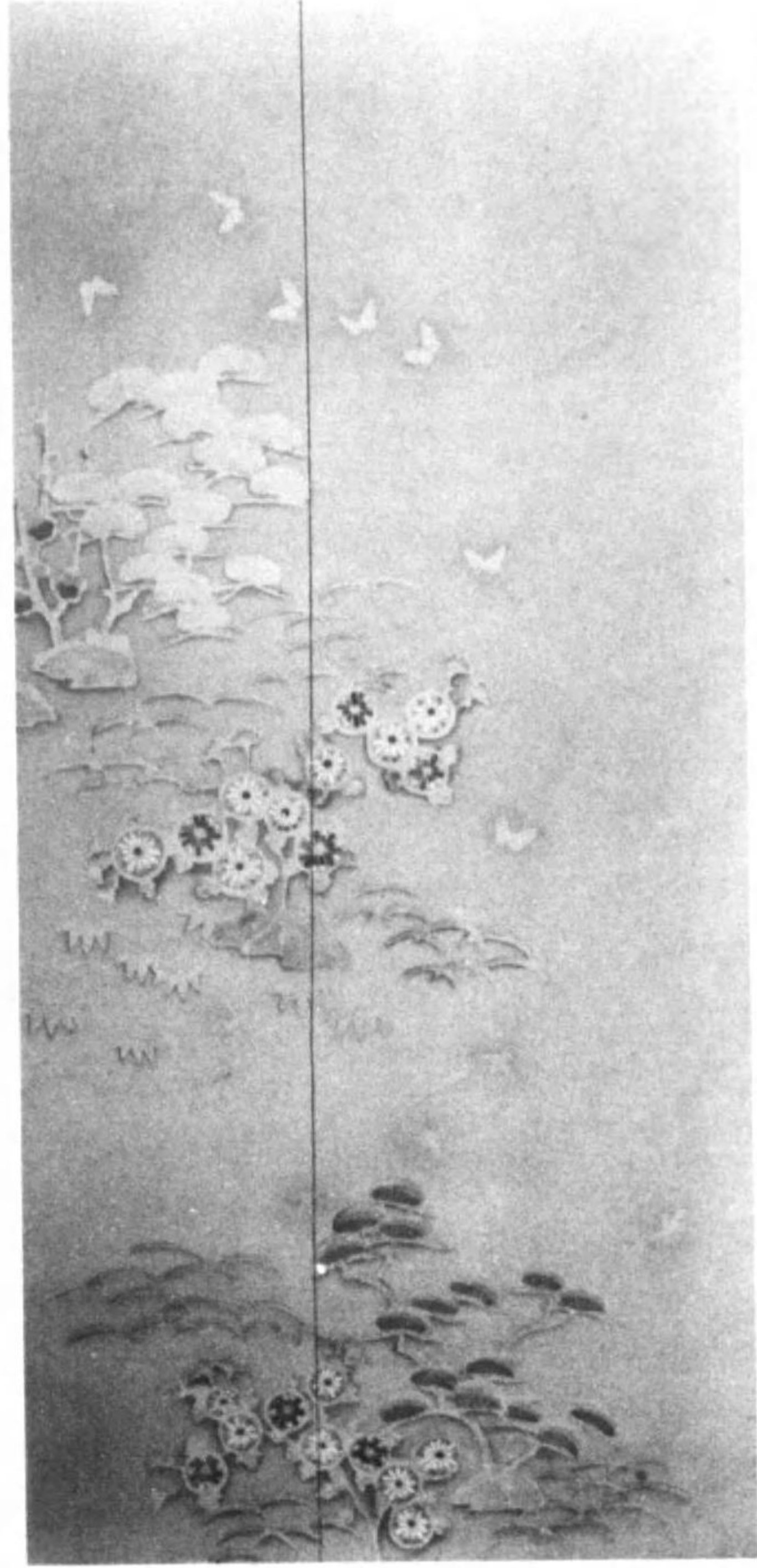




+



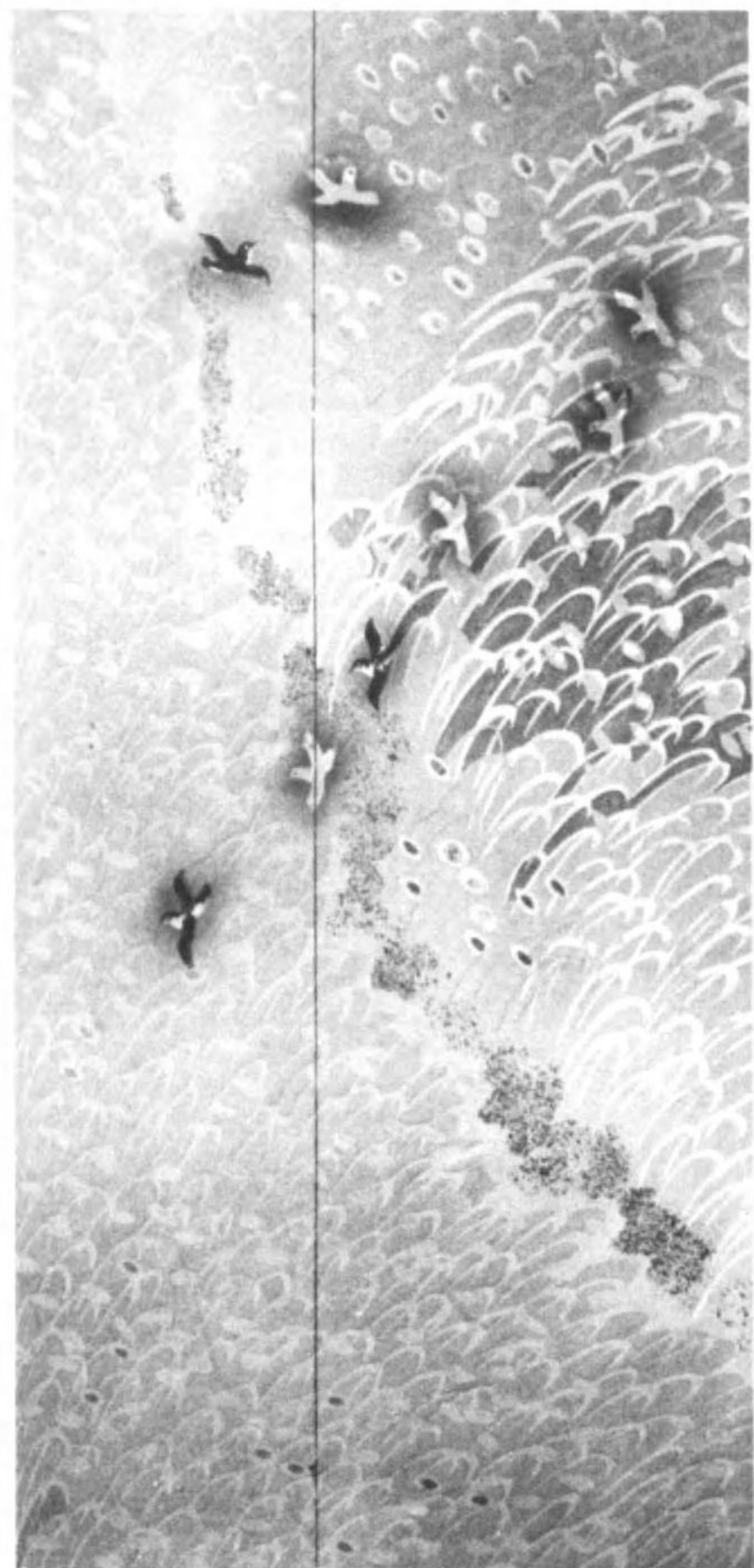
九



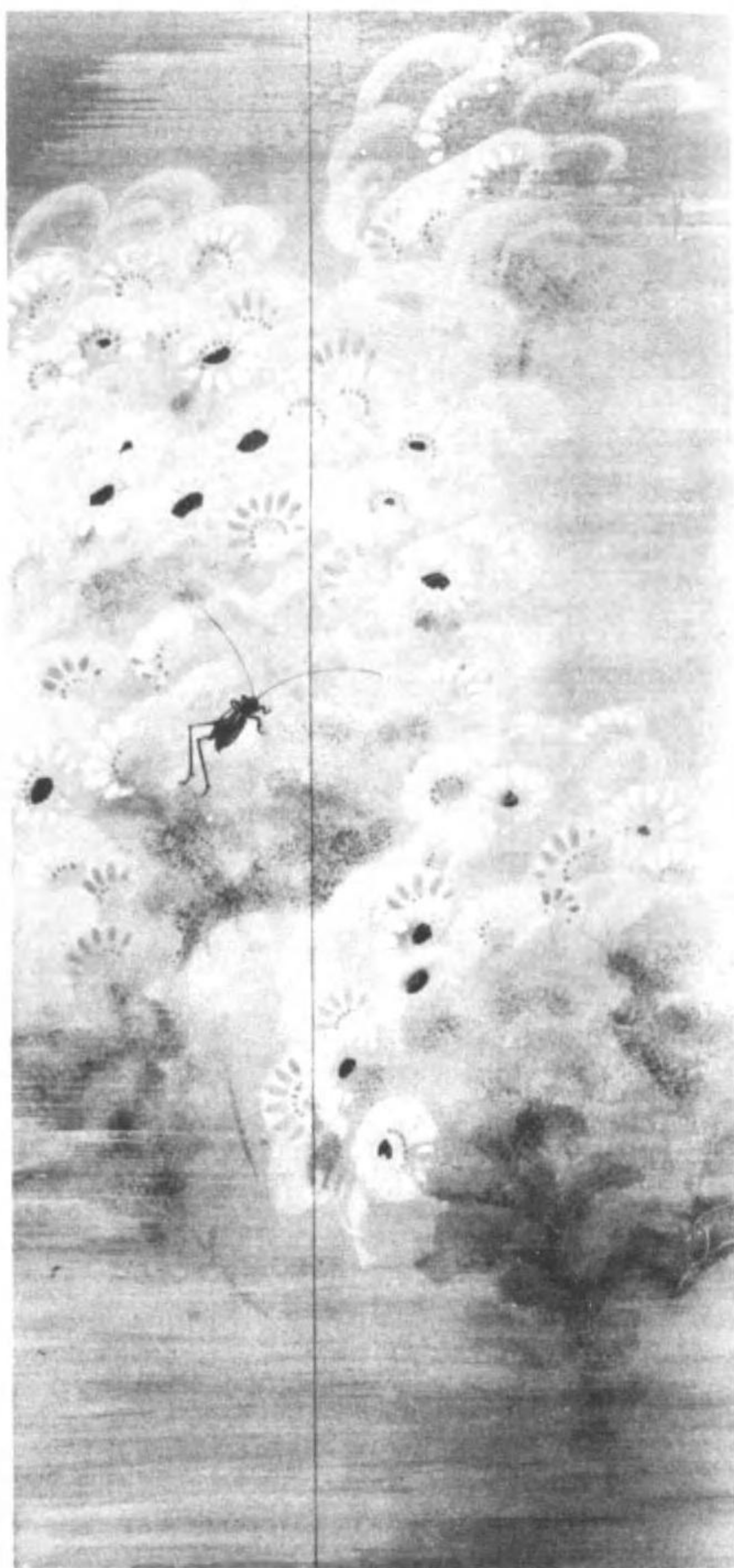
十二



十一



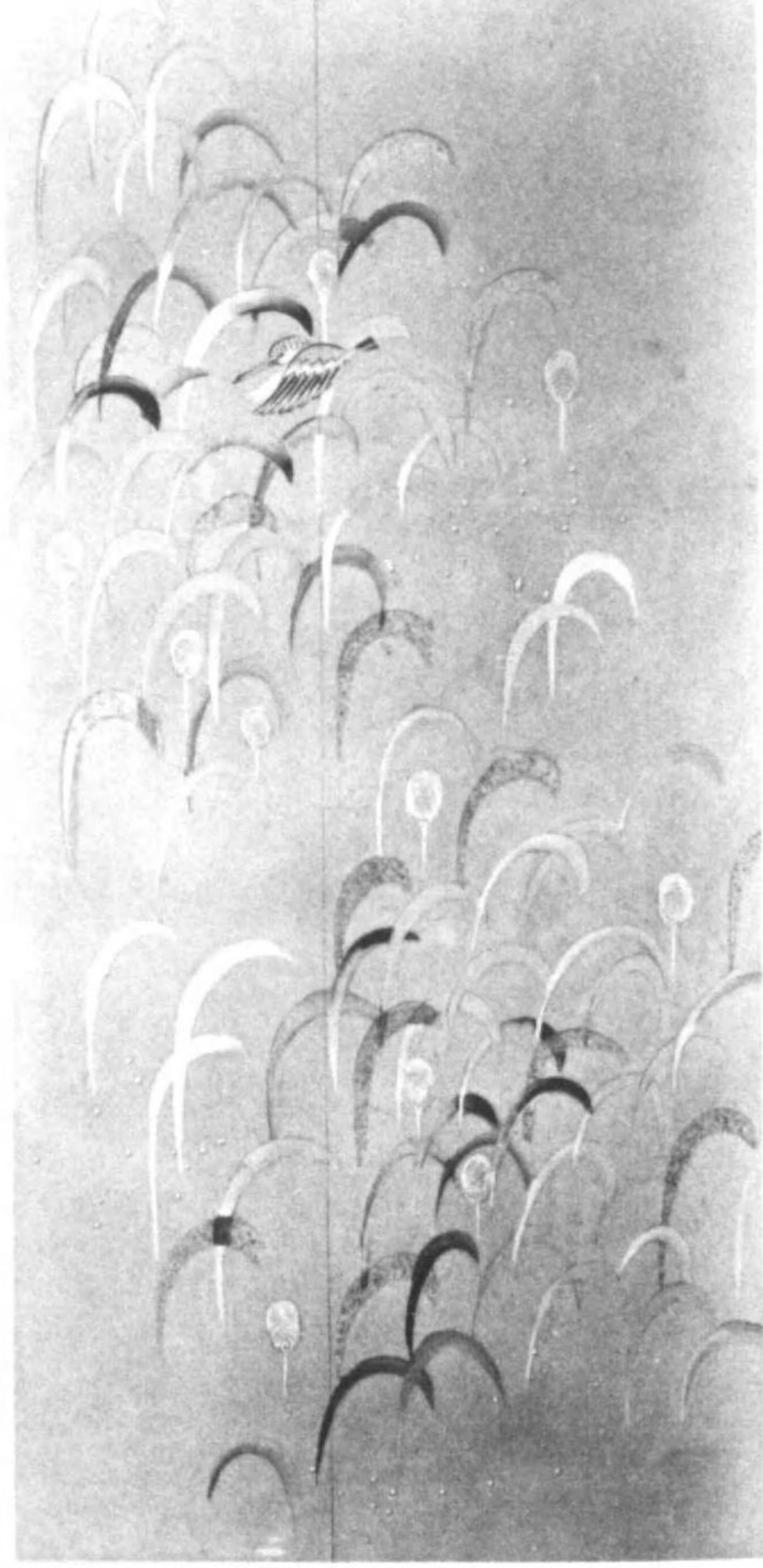
十四



十三



十六



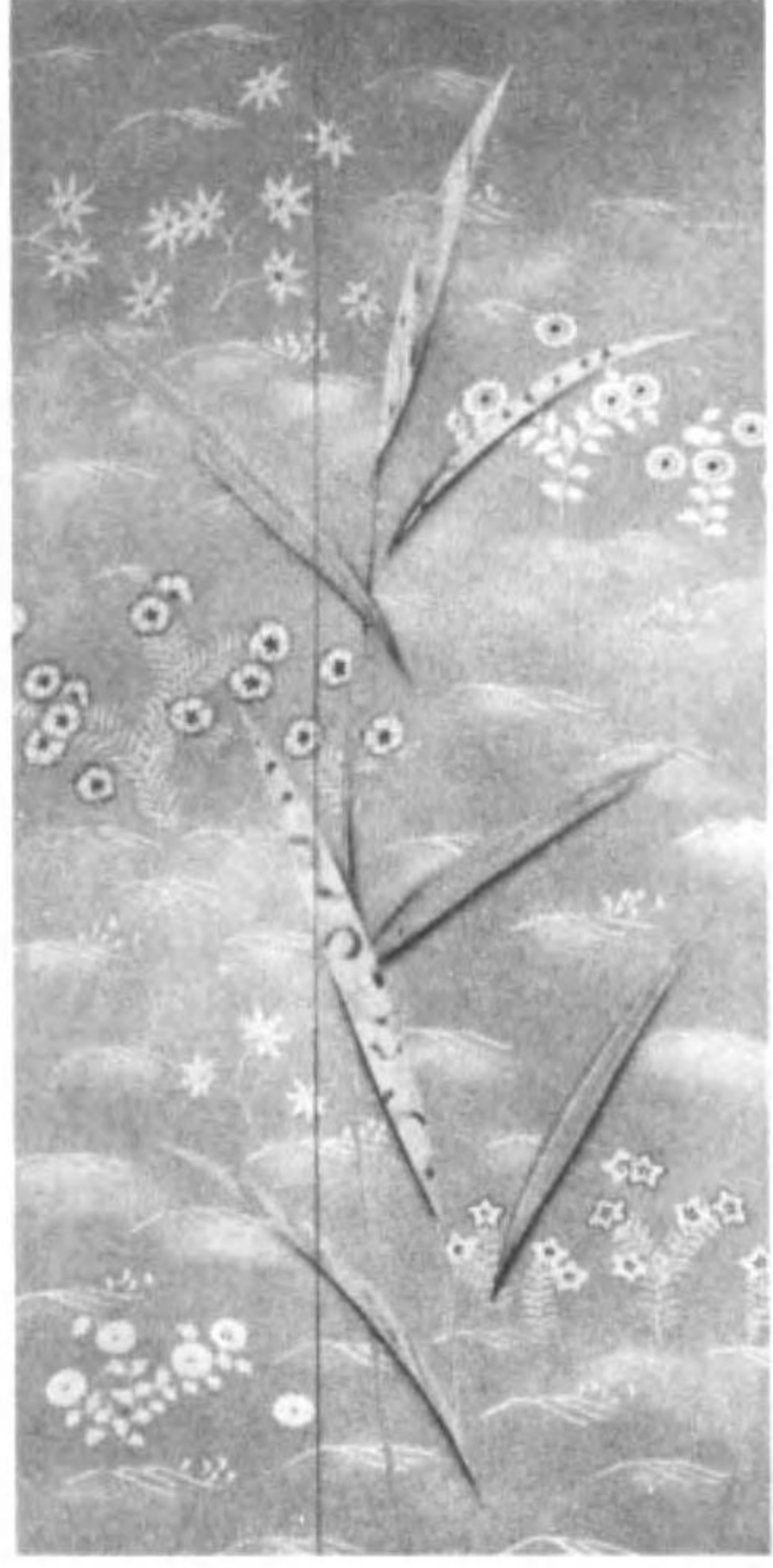
十五



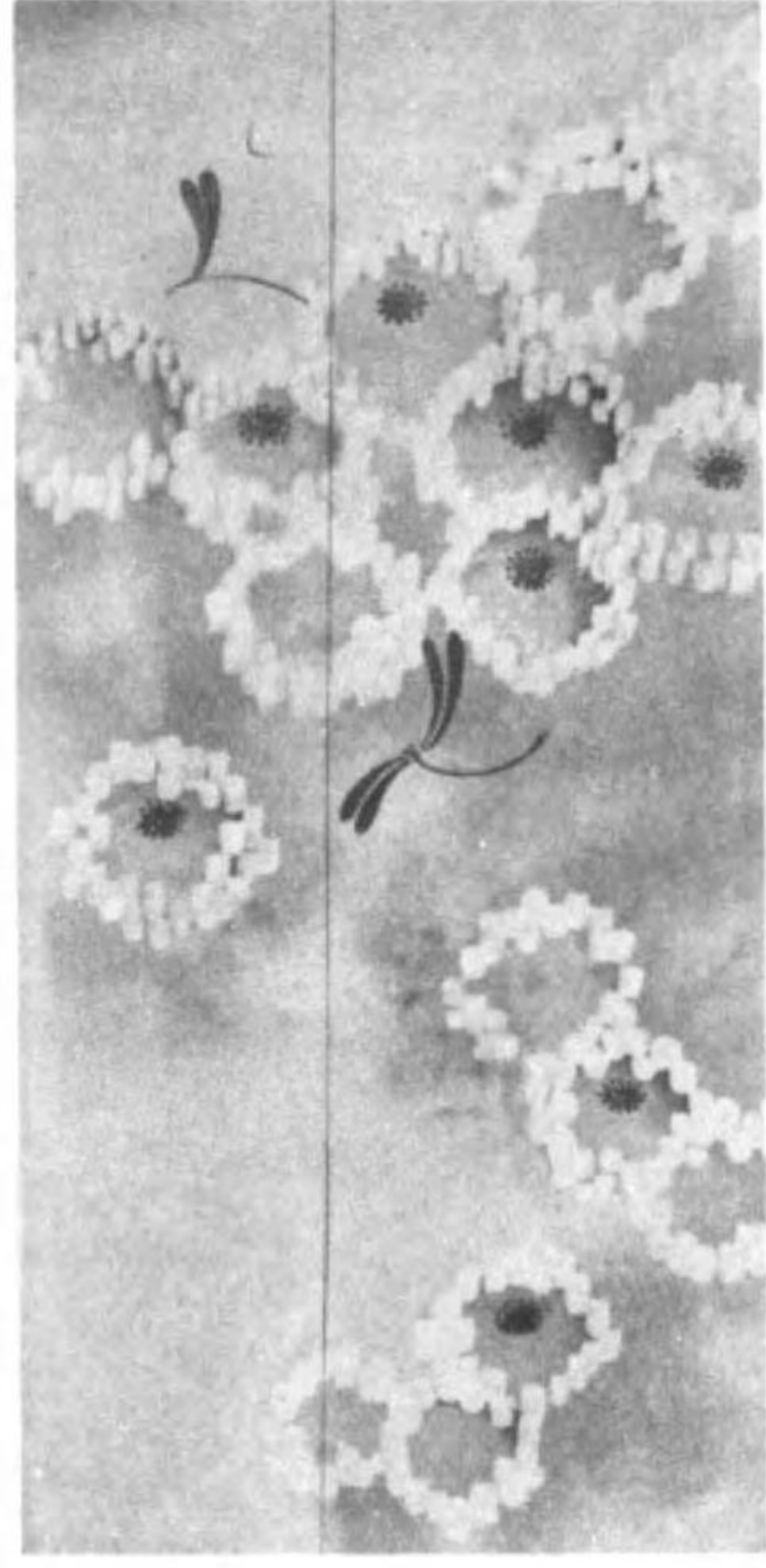
十八



十七



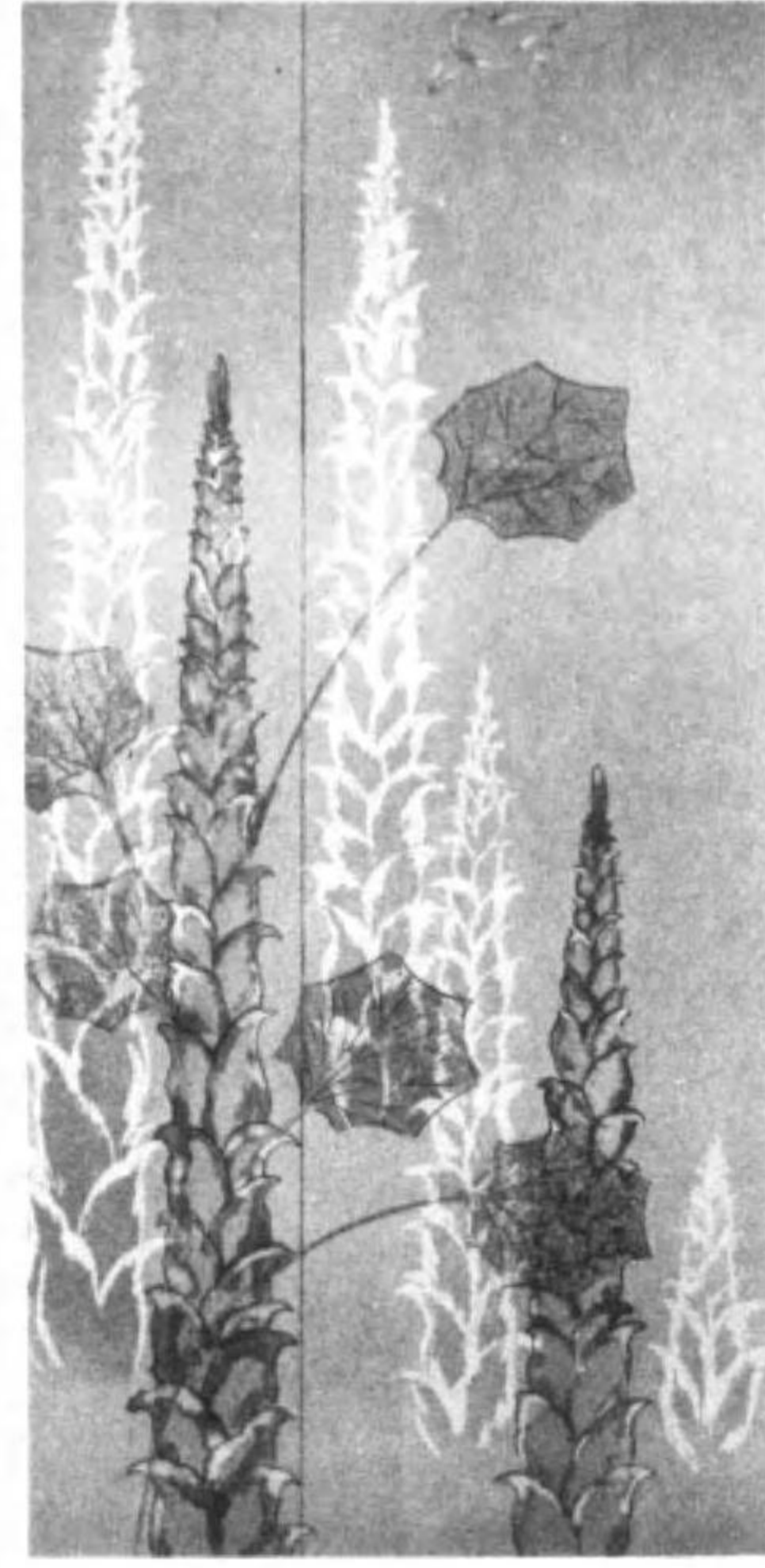
三十一



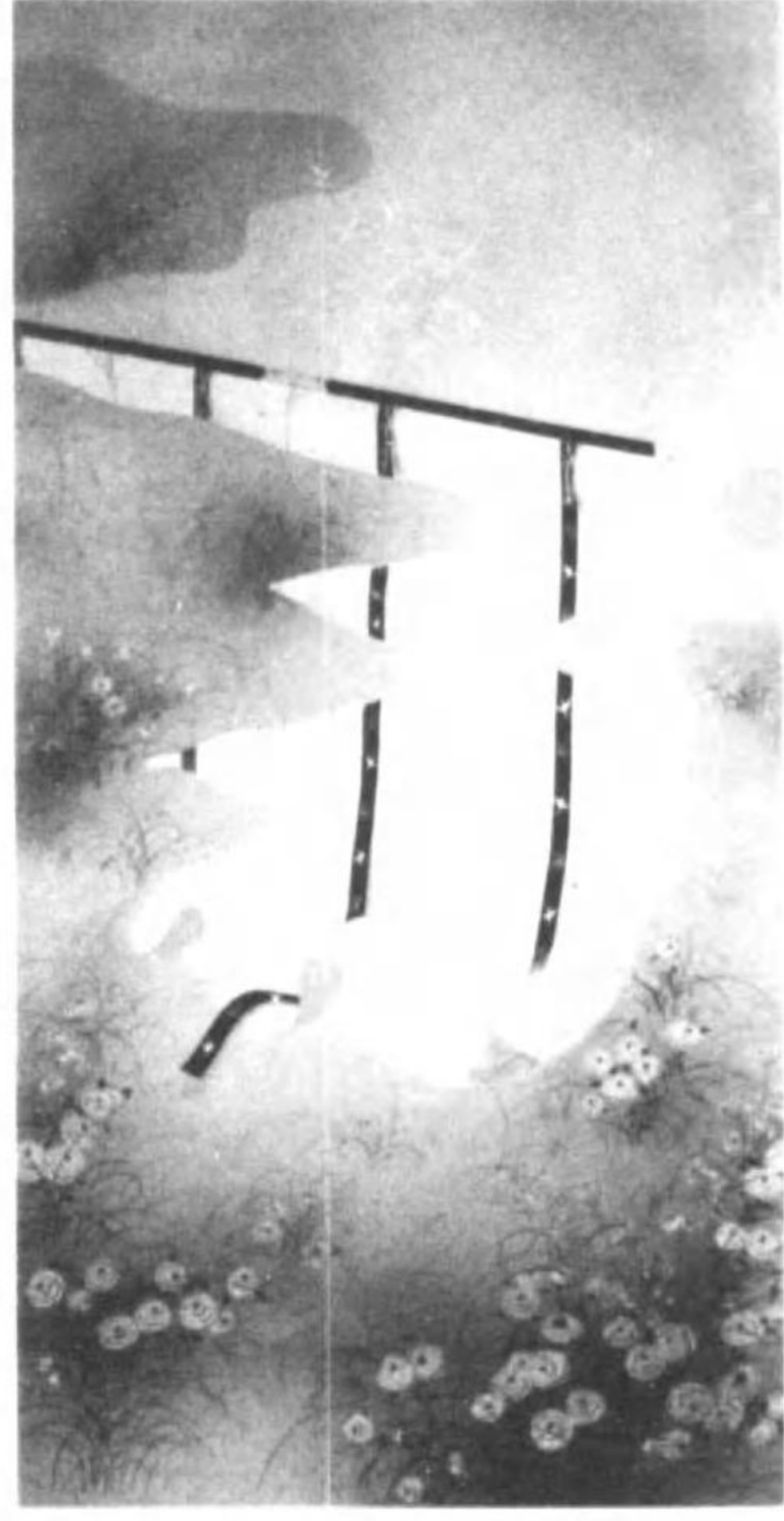
十九



三十二



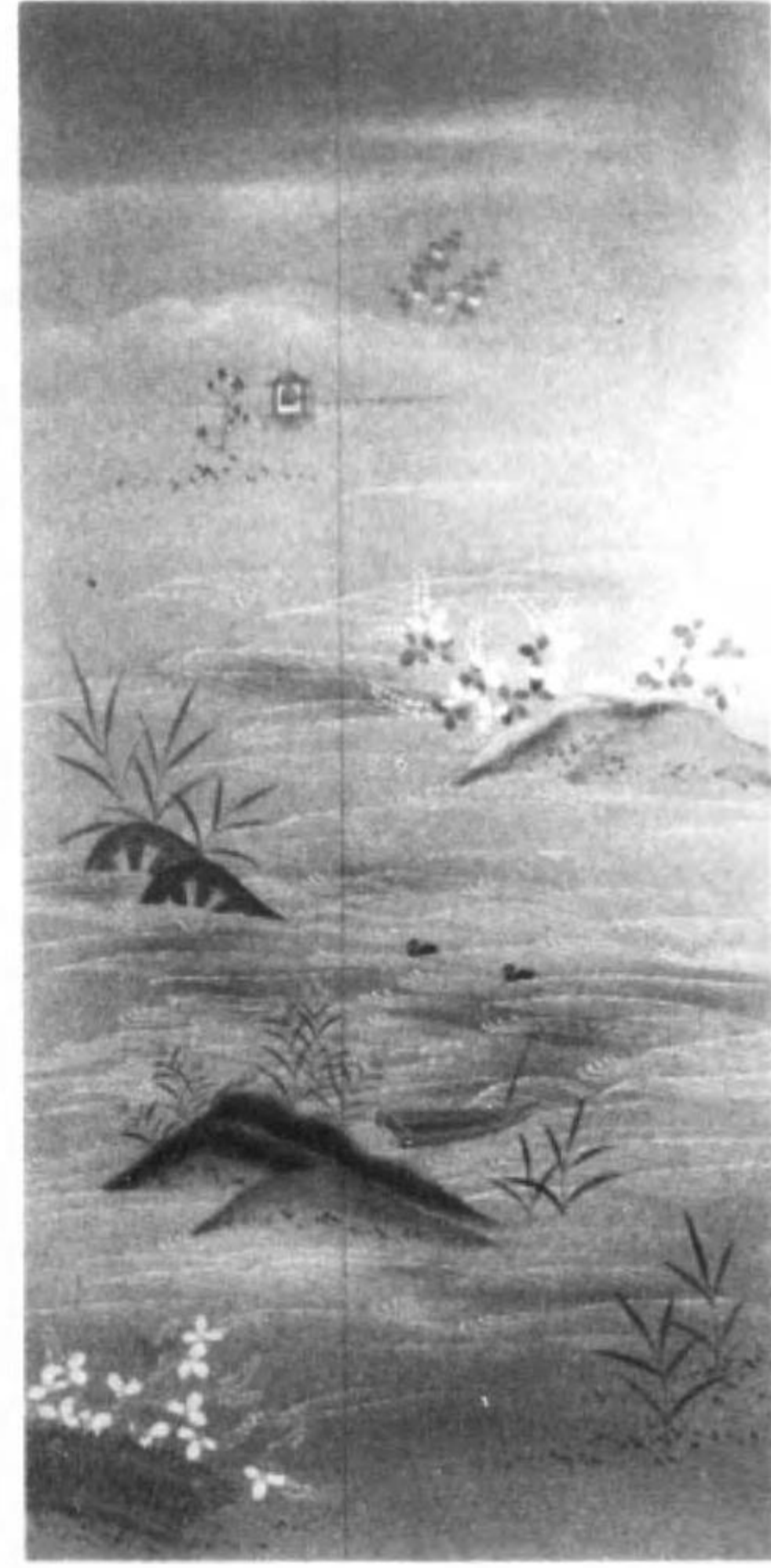
二十



二十五



二十三



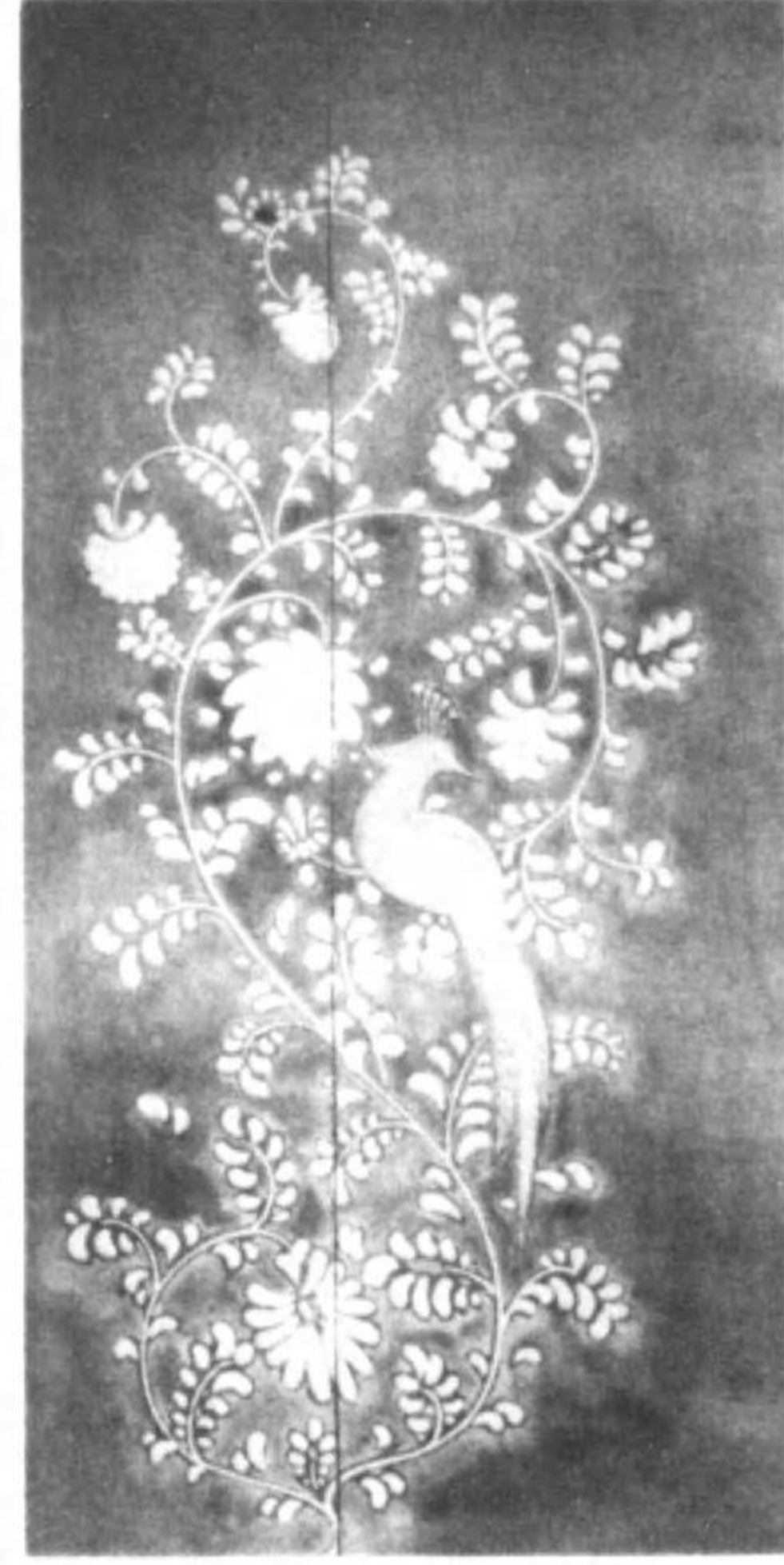
二十六



二十四



二十九



二十七



三十



二十八



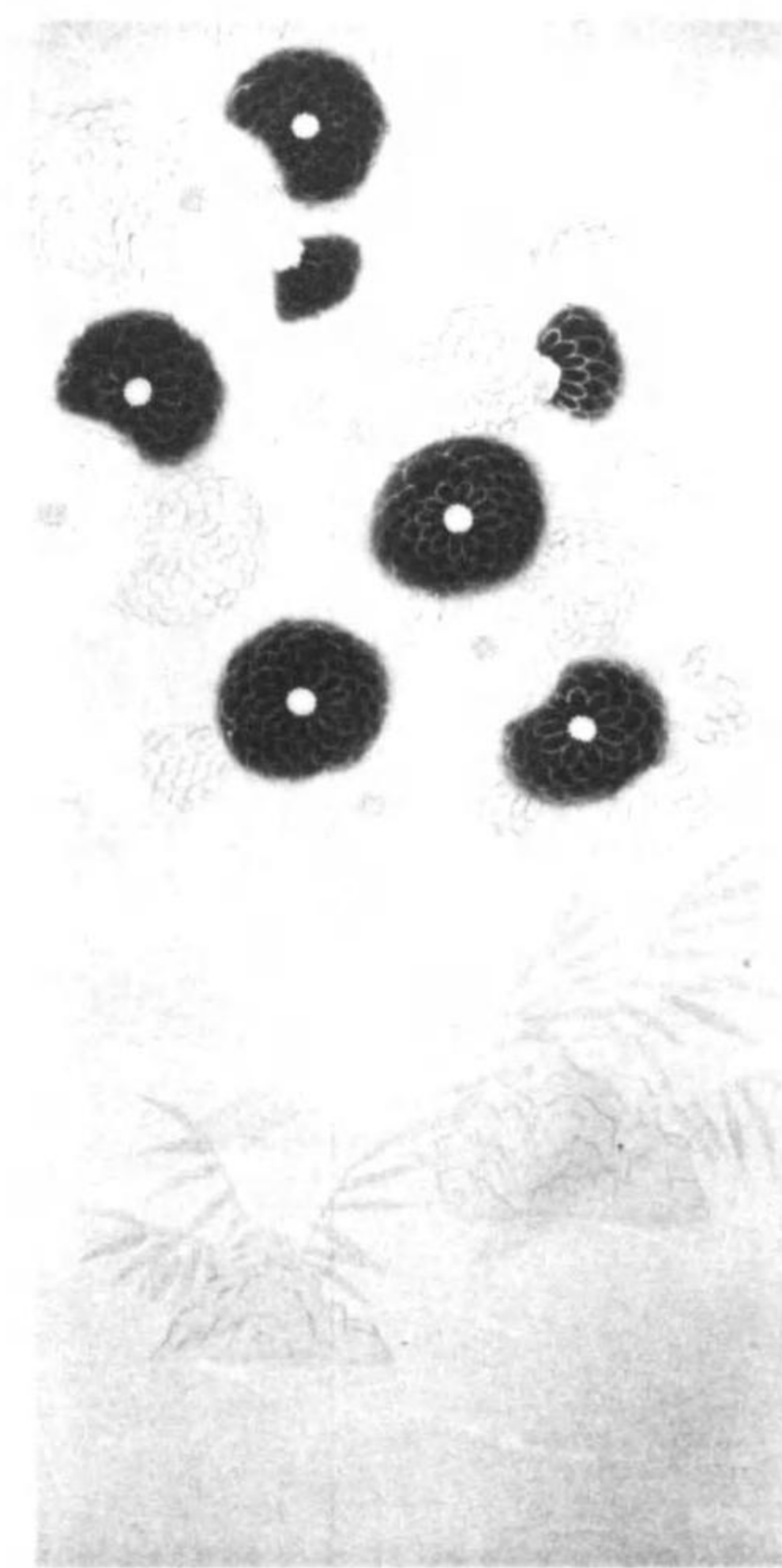
三十三



三十三



三十四



三十四



三十七



三十五



三十八



三十六



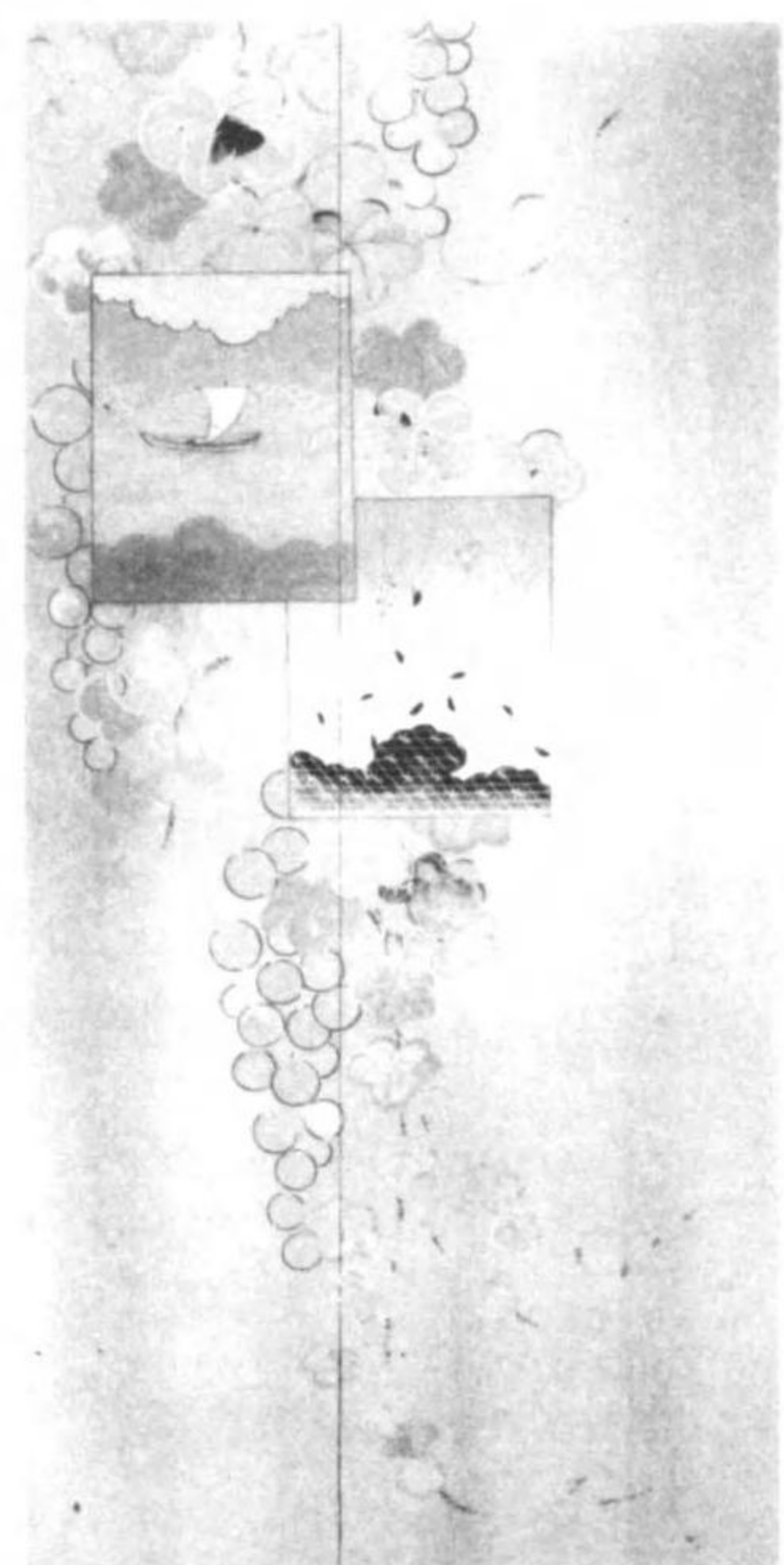
三十九



四十



四十一



四十二



四十五



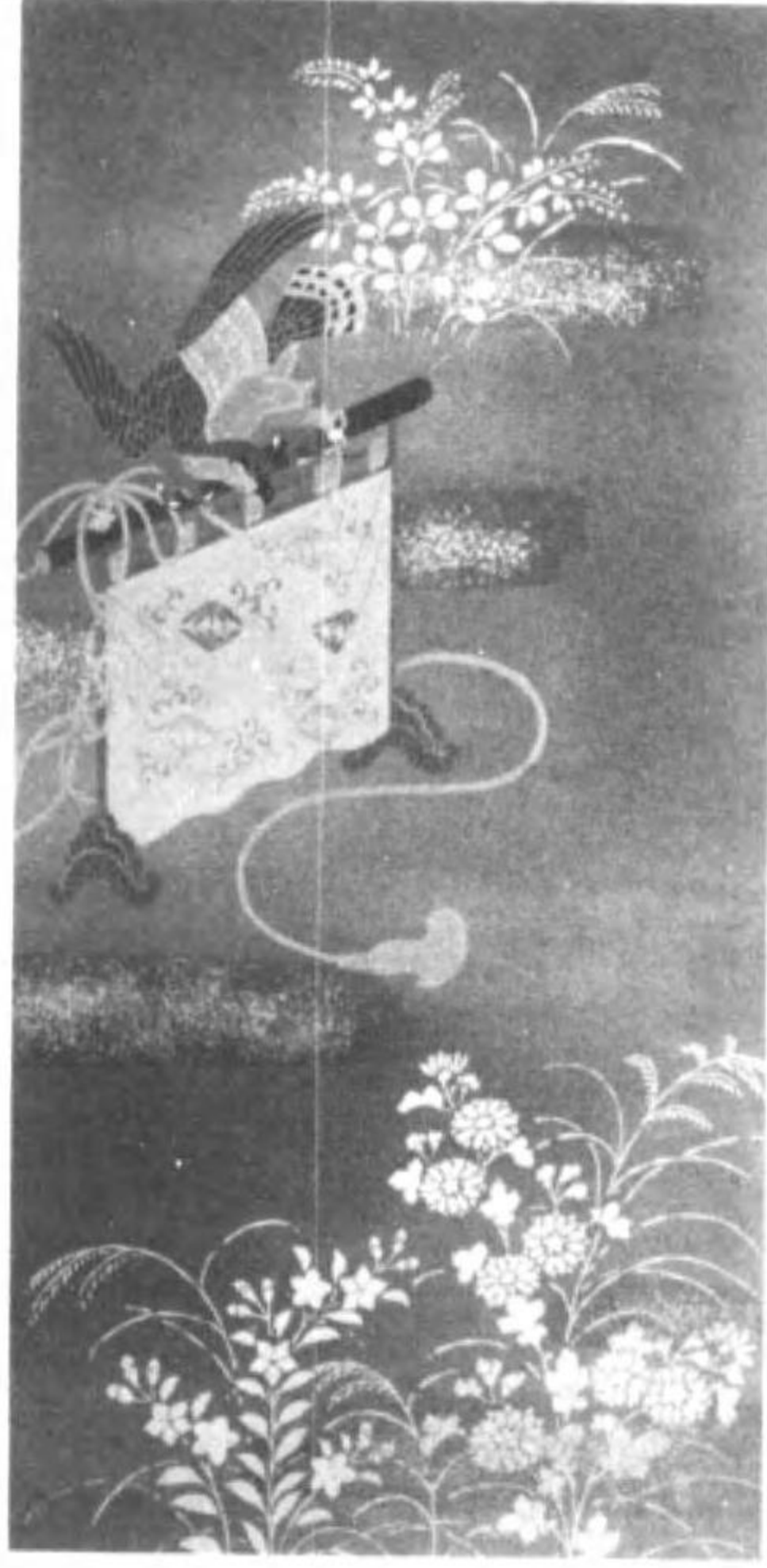
四十三



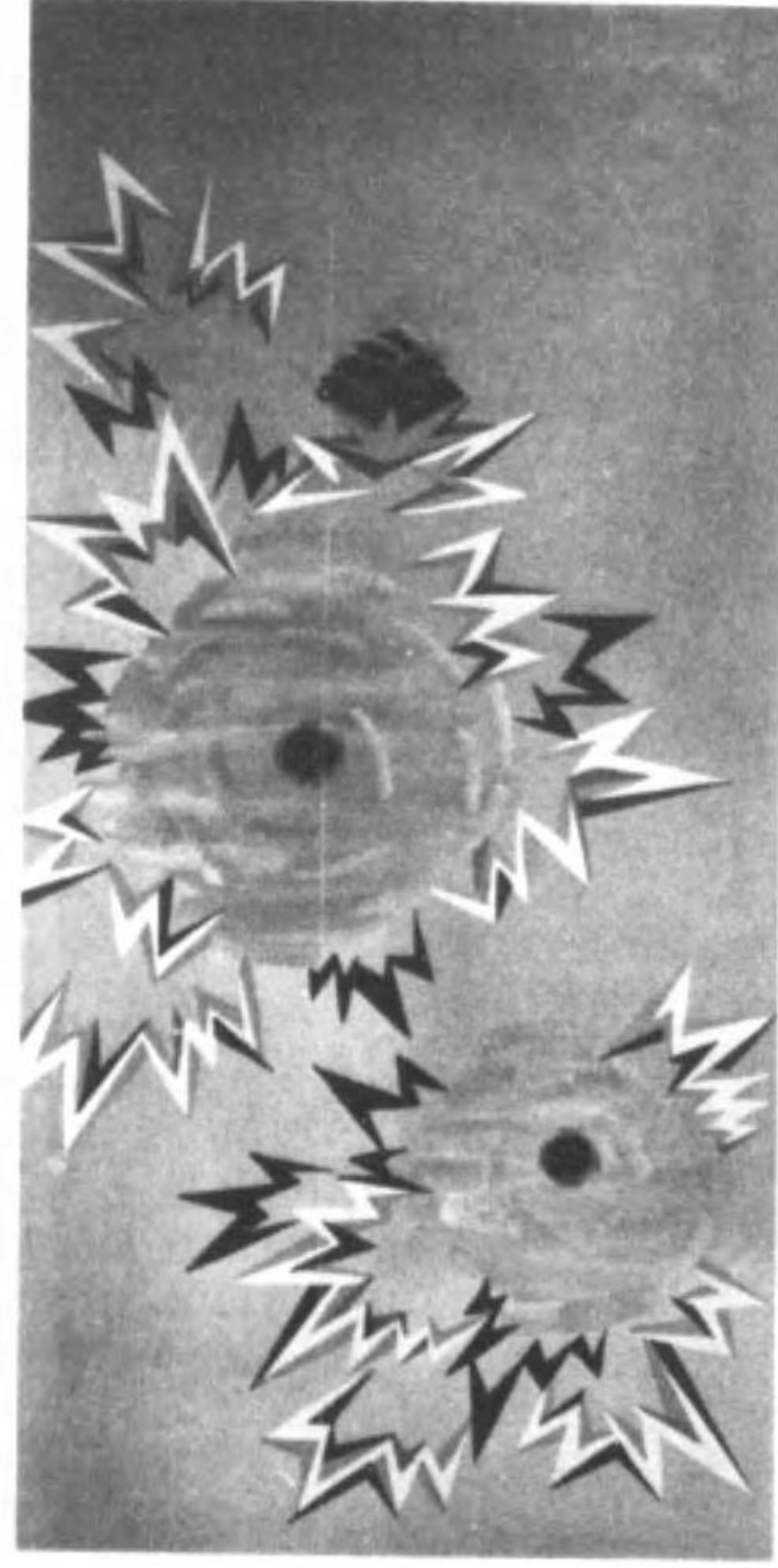
四十六



四十四



四十九



四十七



五十

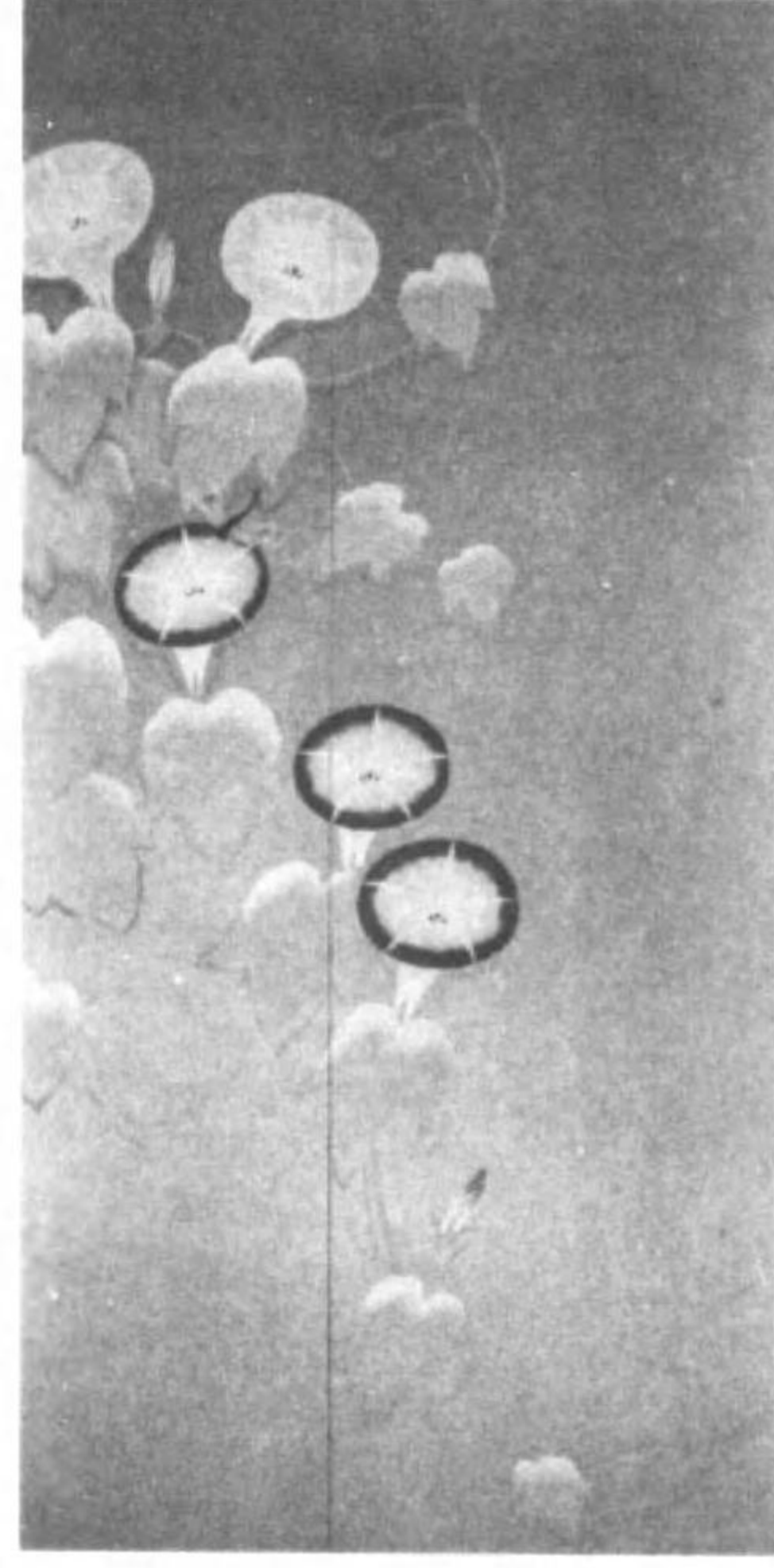


四十八

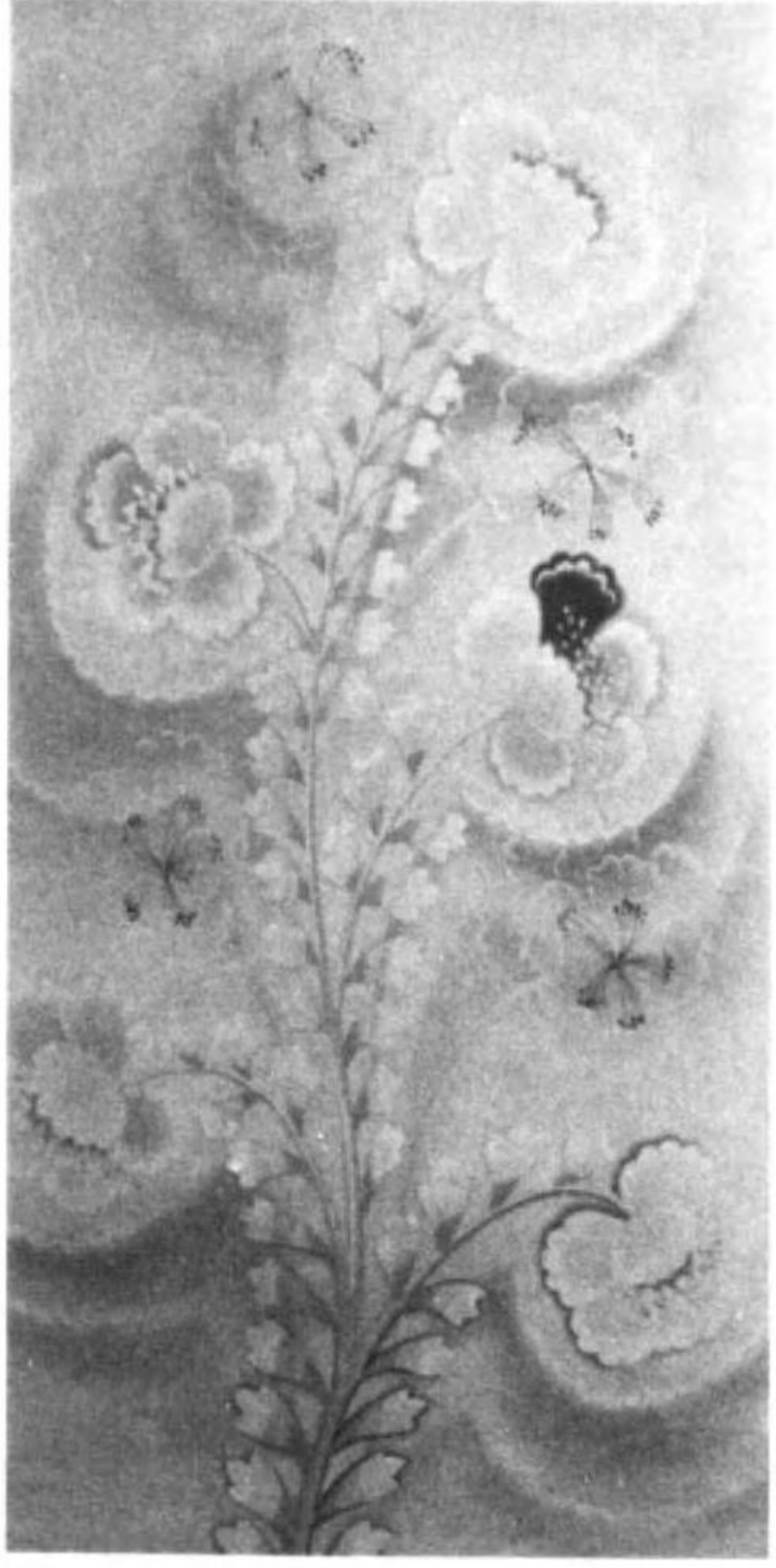




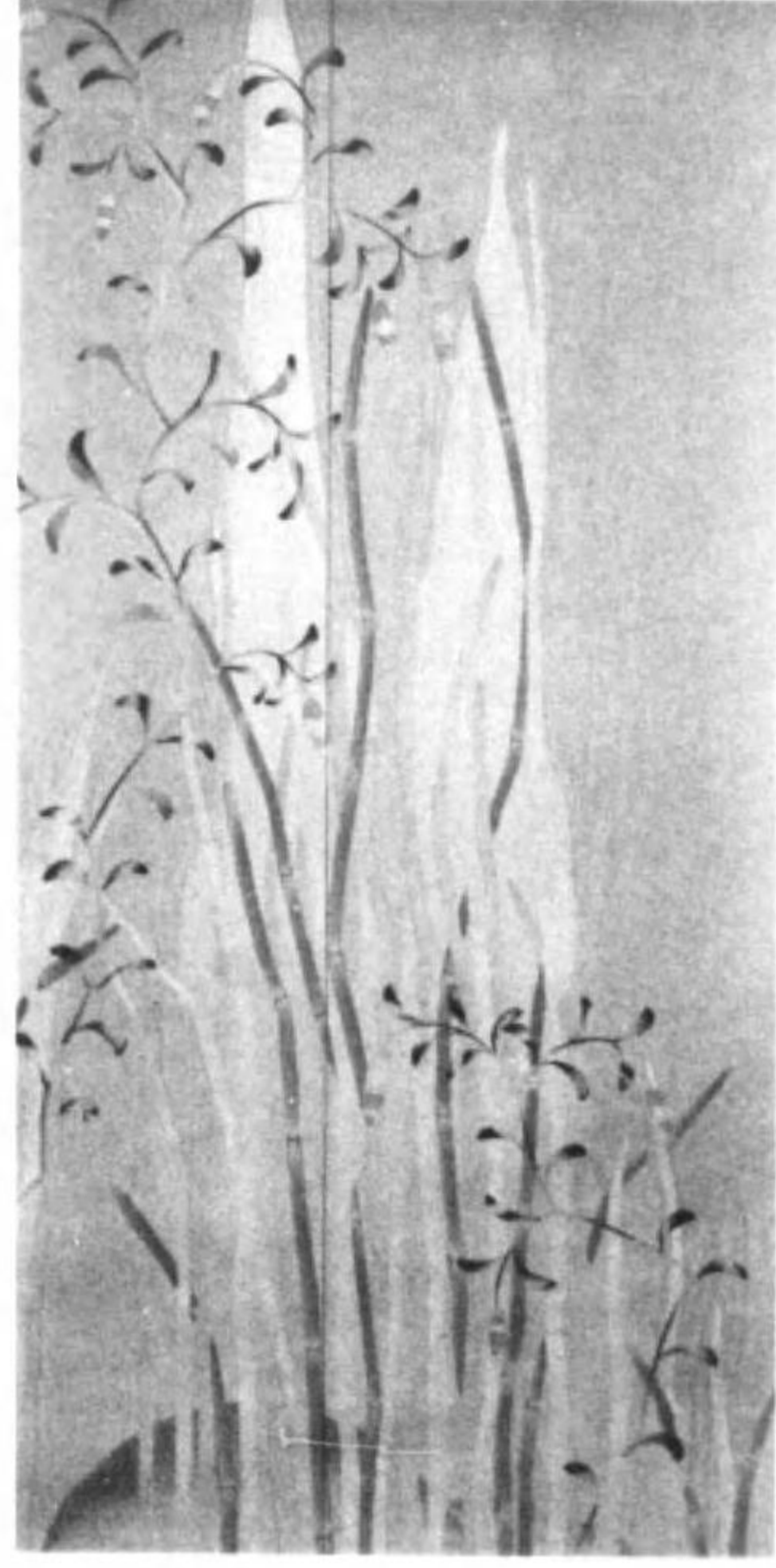
五十三



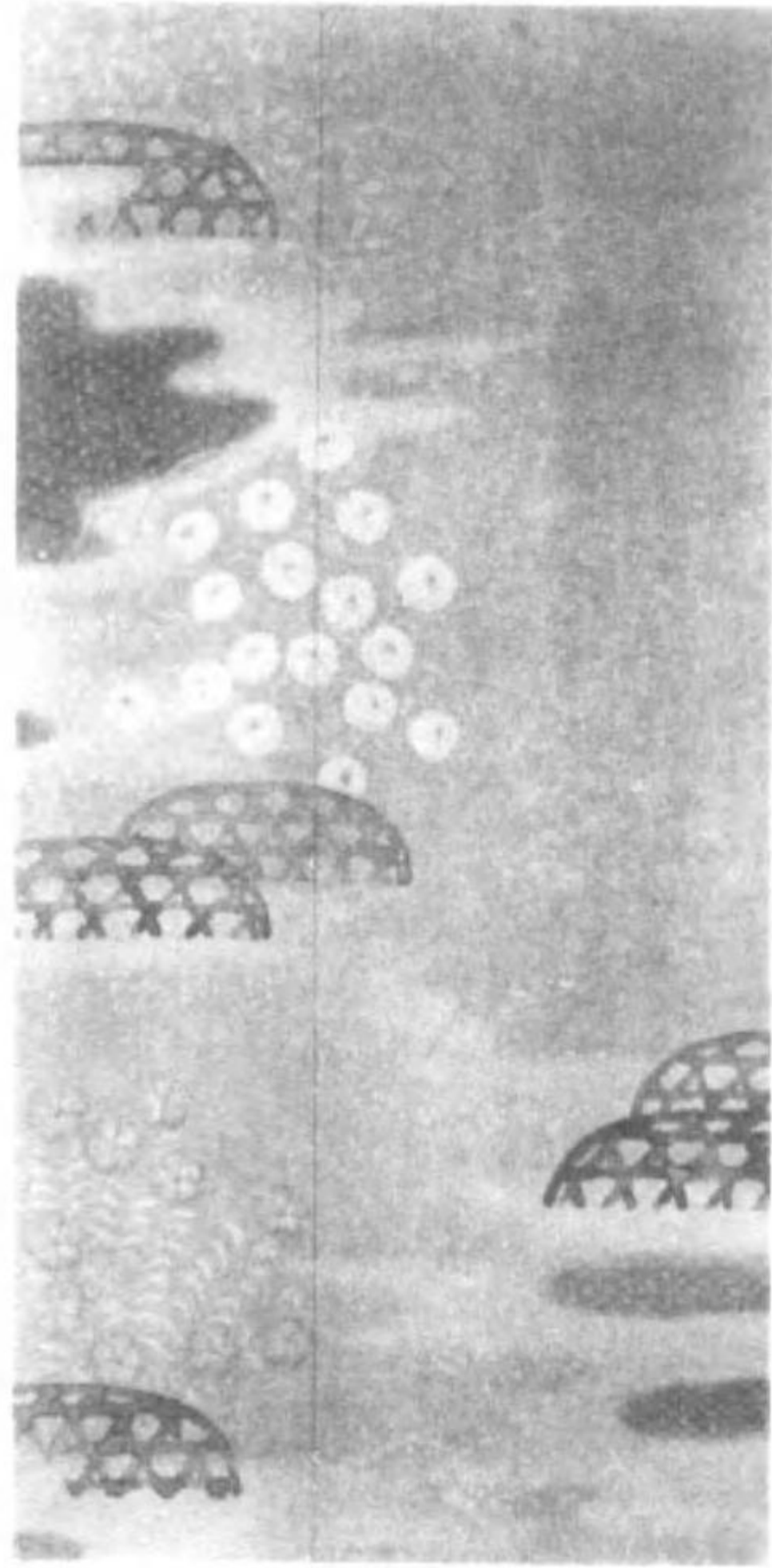
五十一



五十四



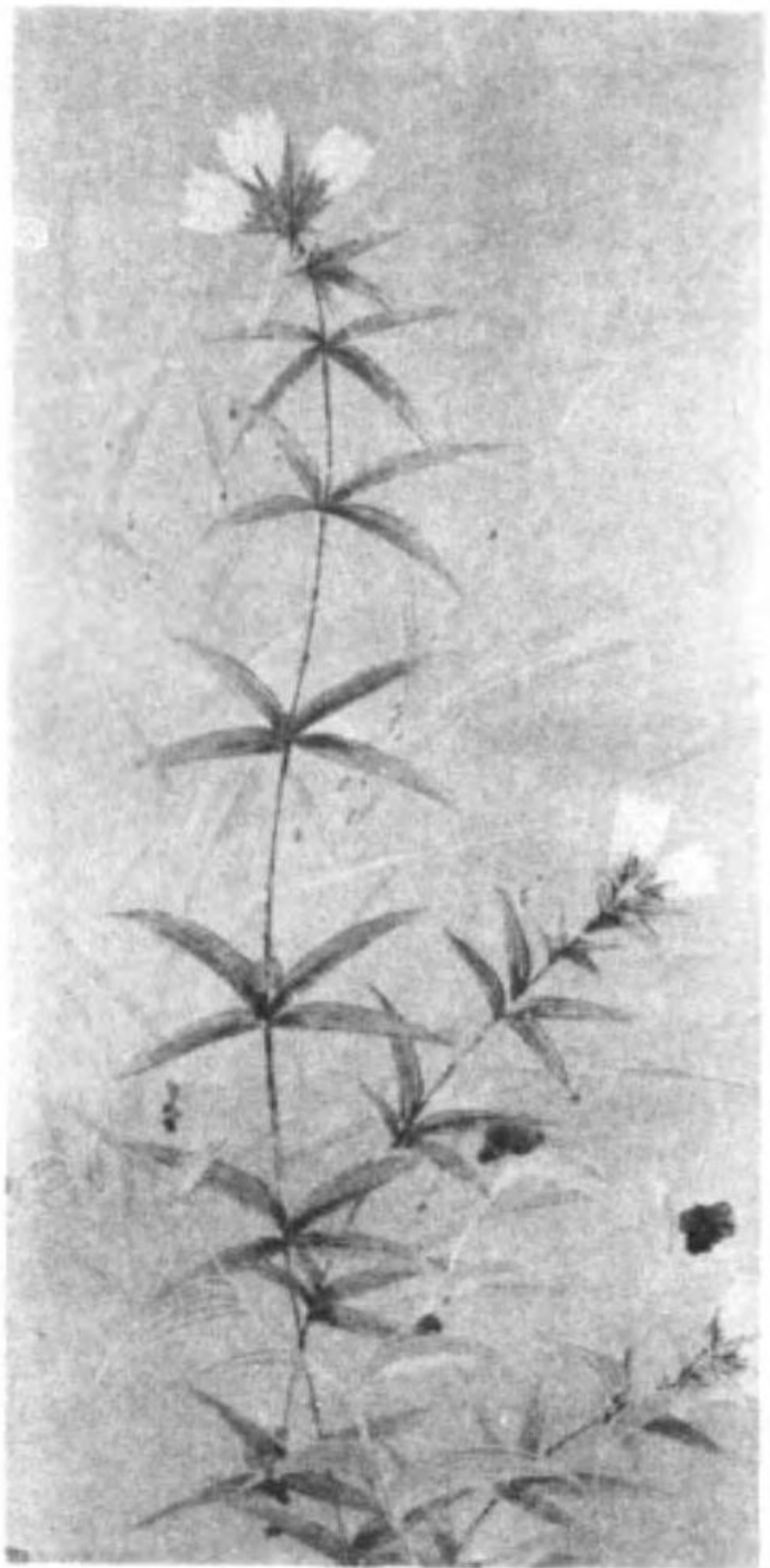
五十二



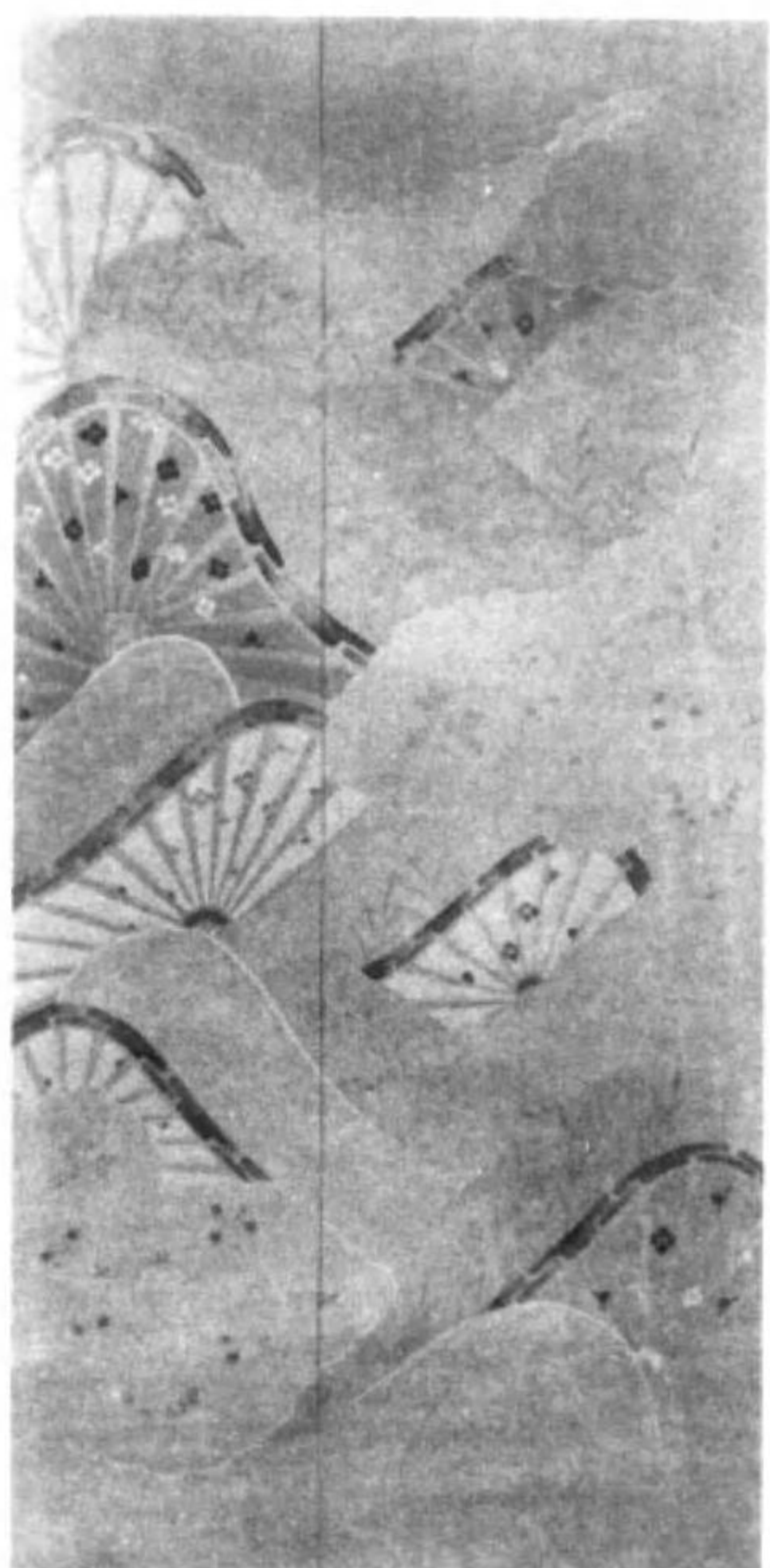
五十七



五十五



五十八



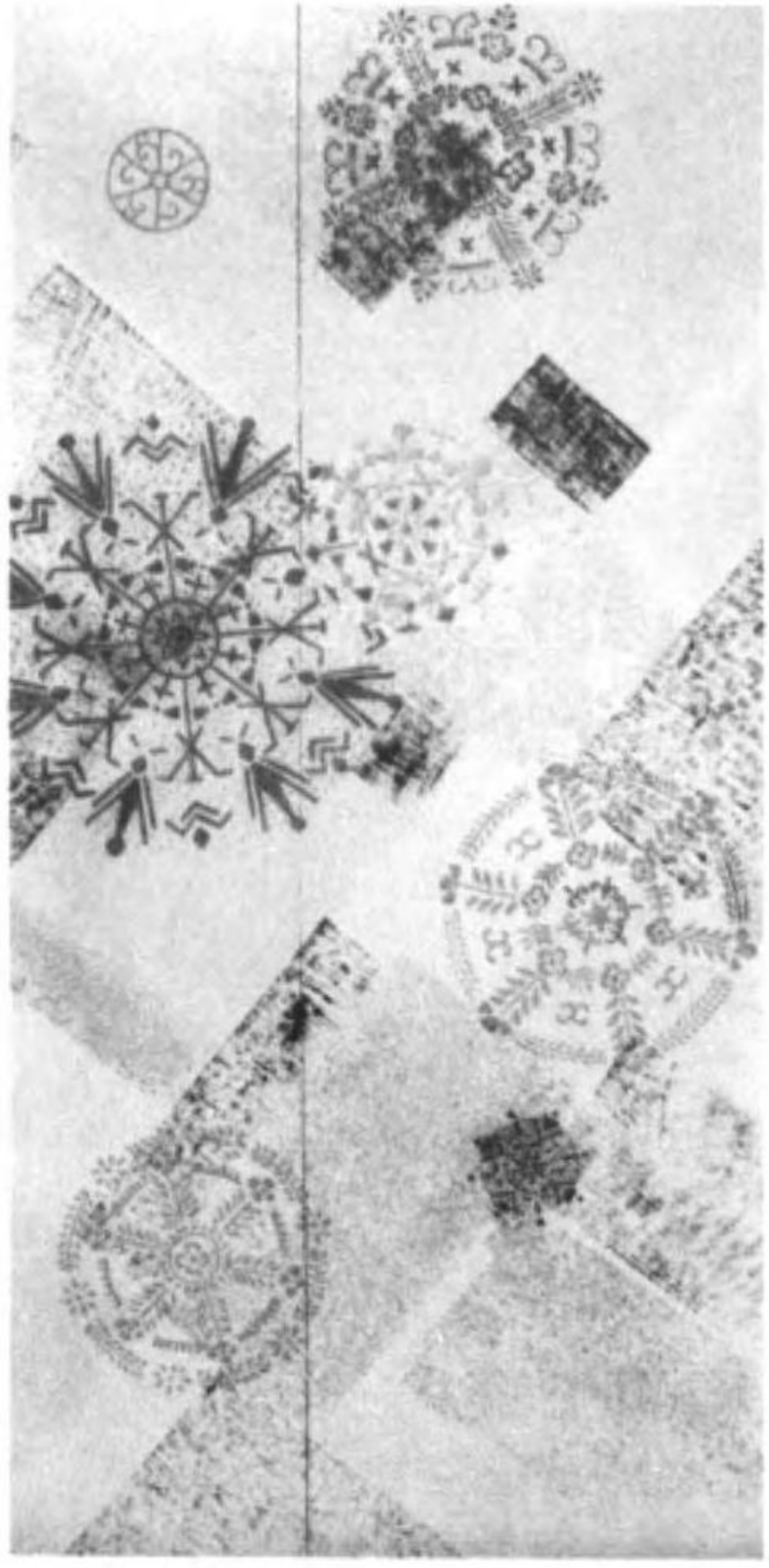
五十六



六十一



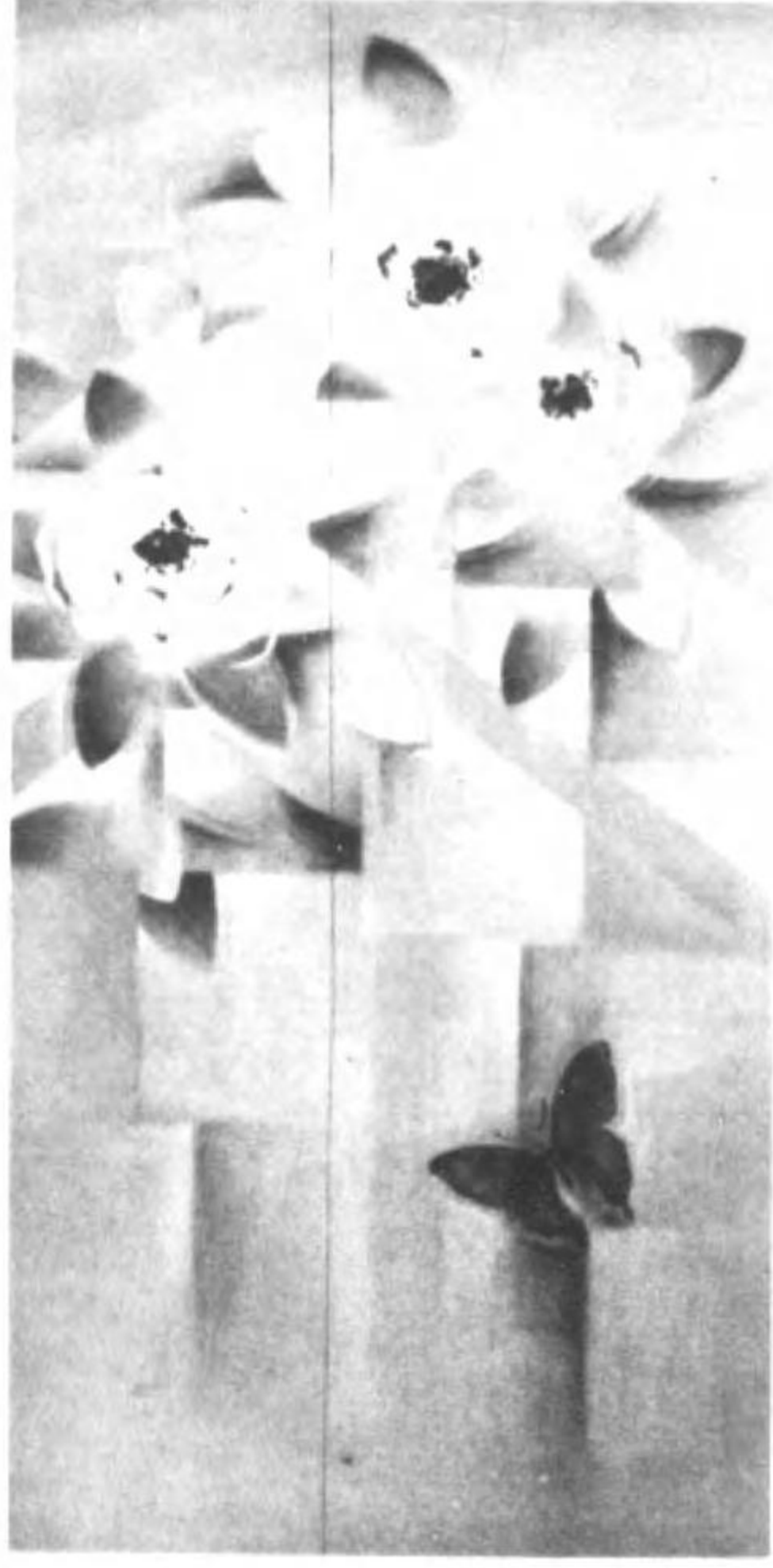
五十九



六十二



六十



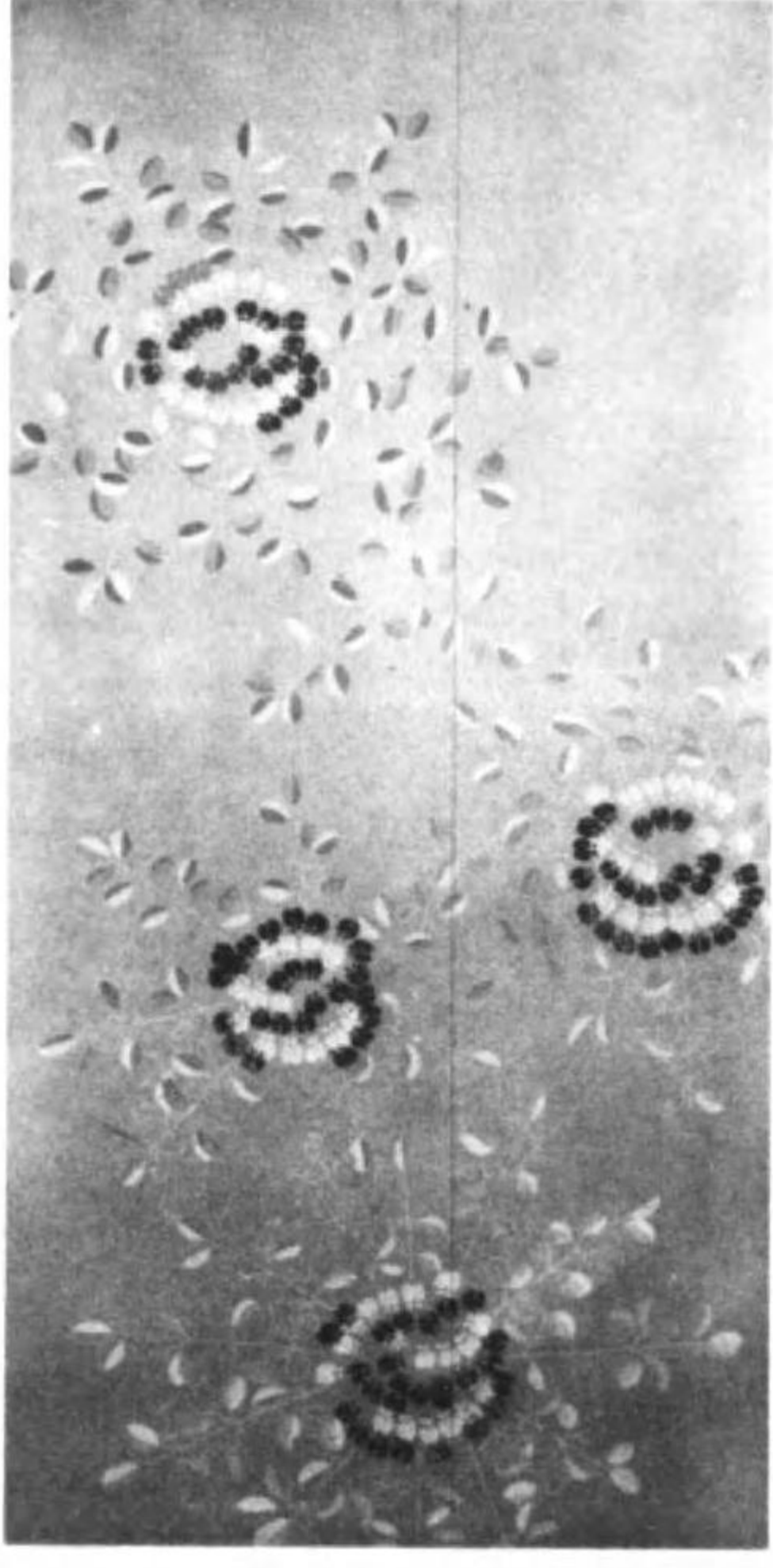
六十五



六十三



六十六



六十四



六十九



六十七



七十



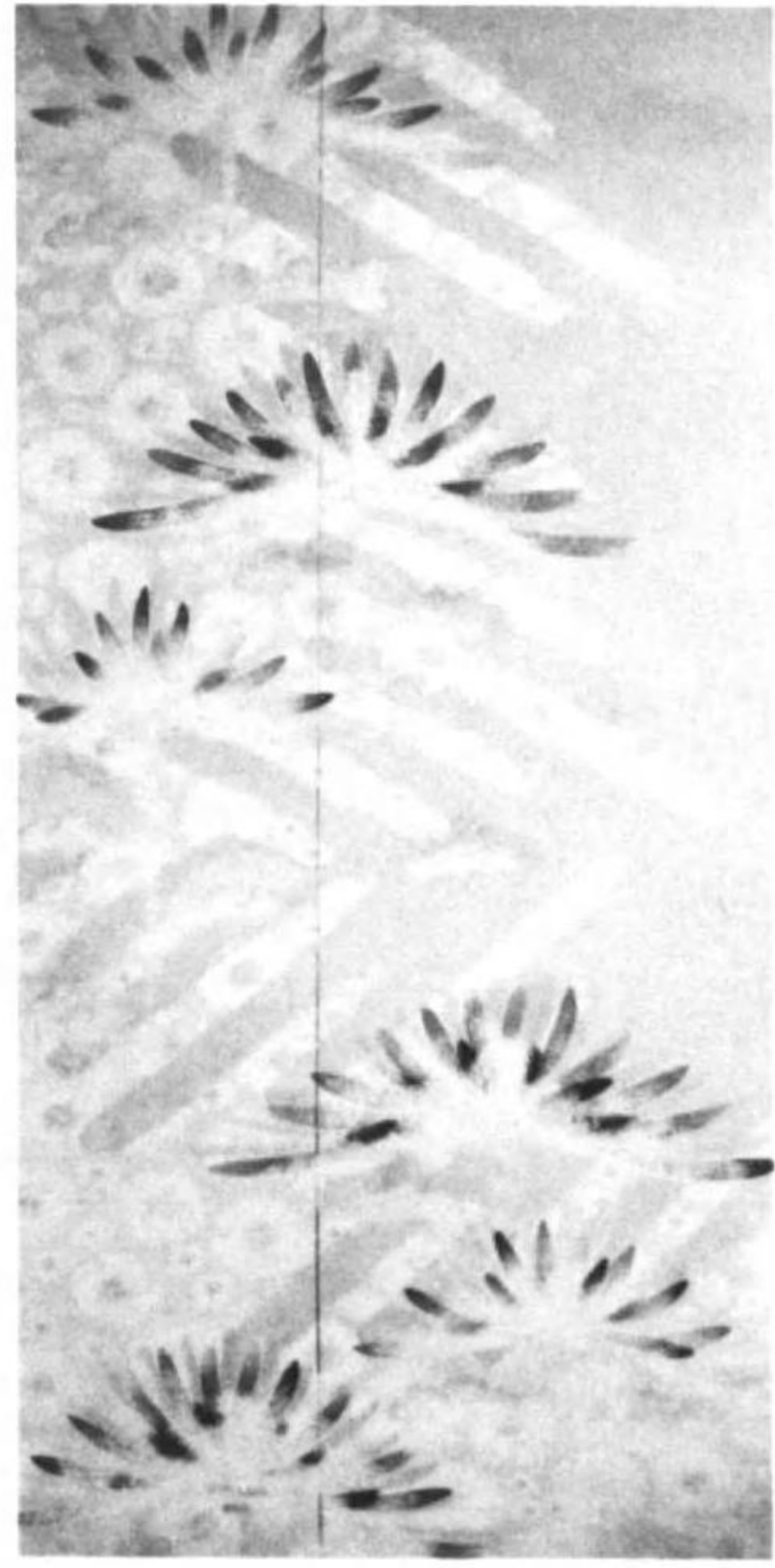
六十八



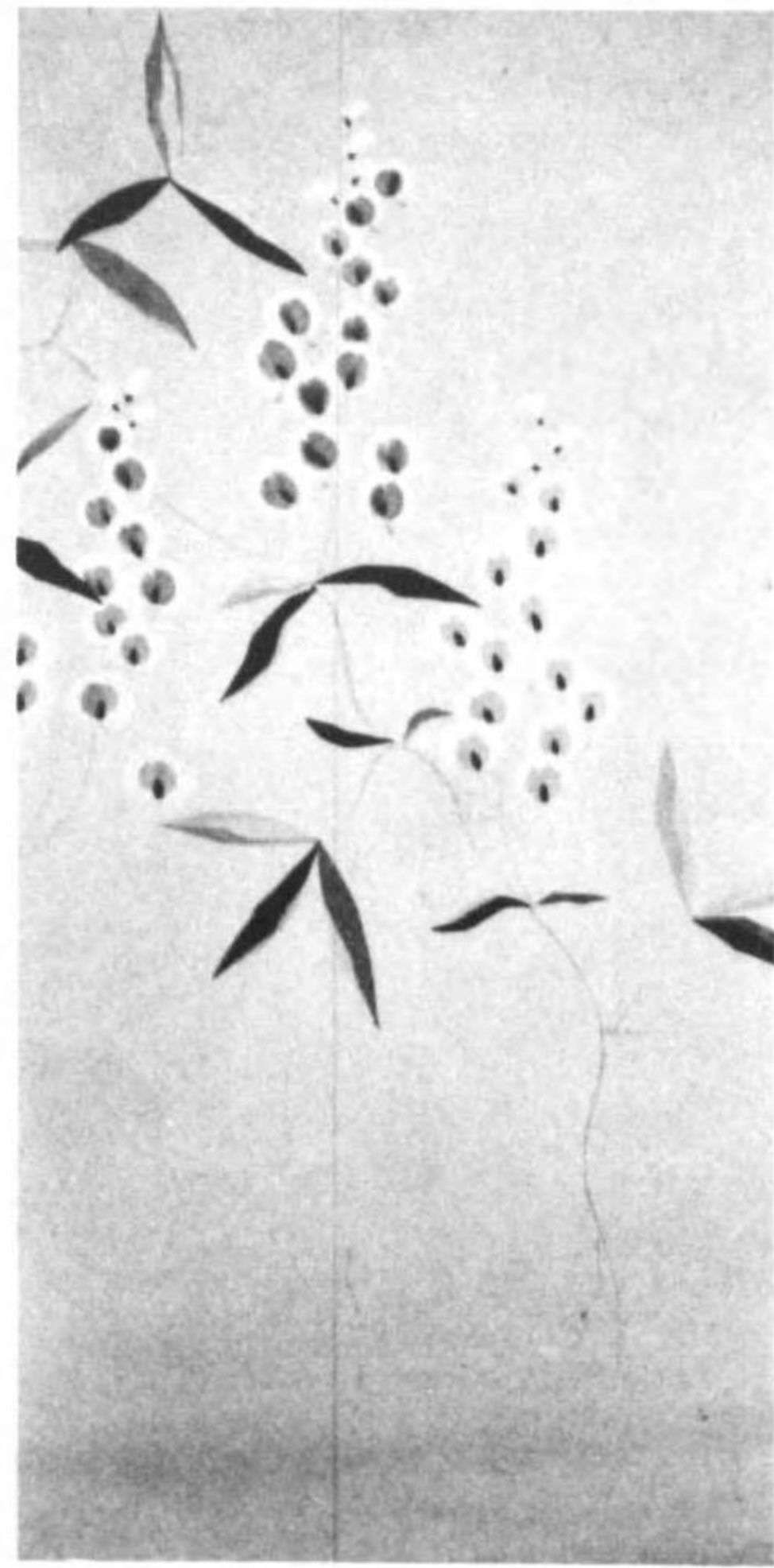
三十一



三十二



三十三



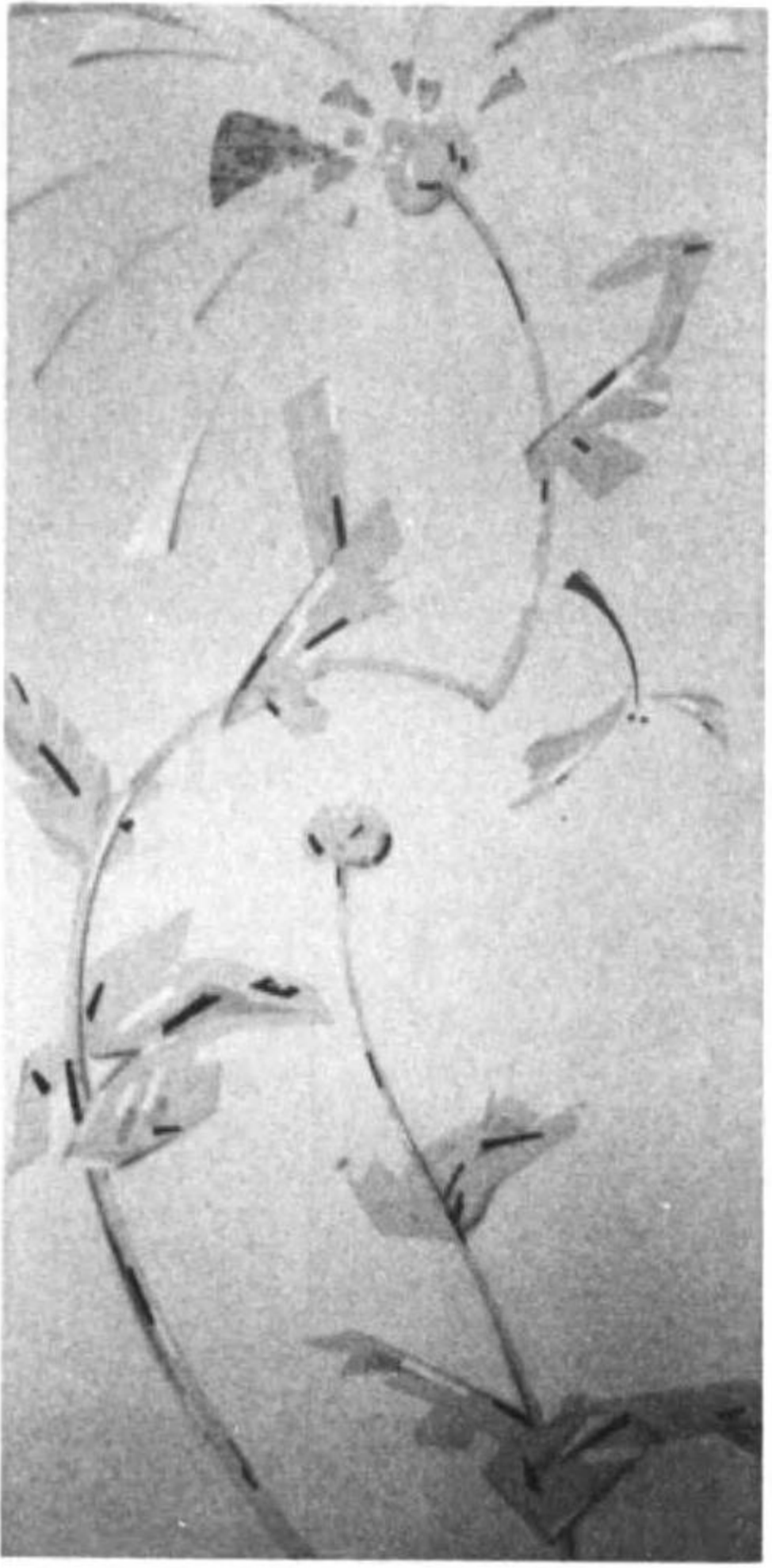
三十四



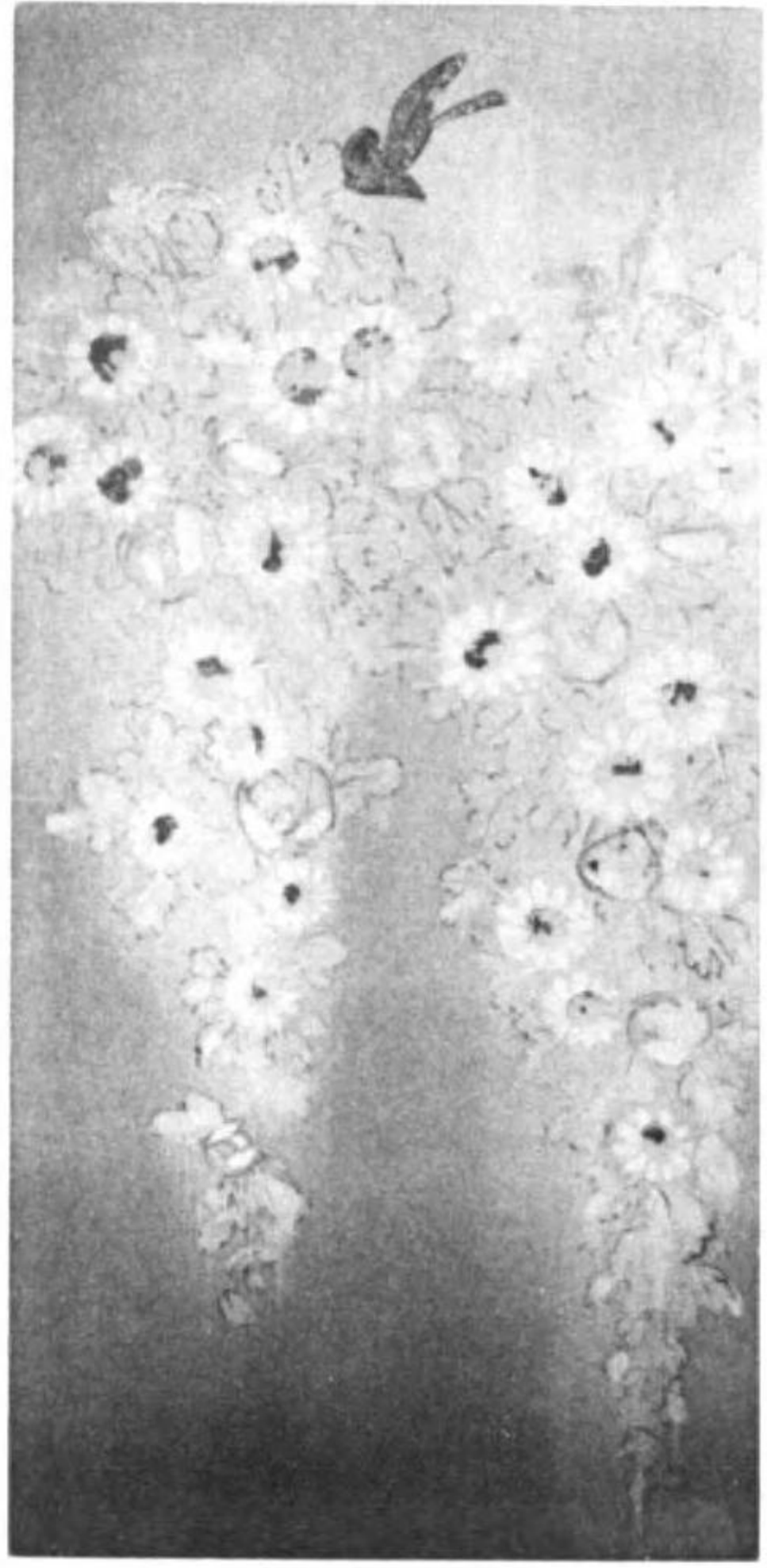
七十七



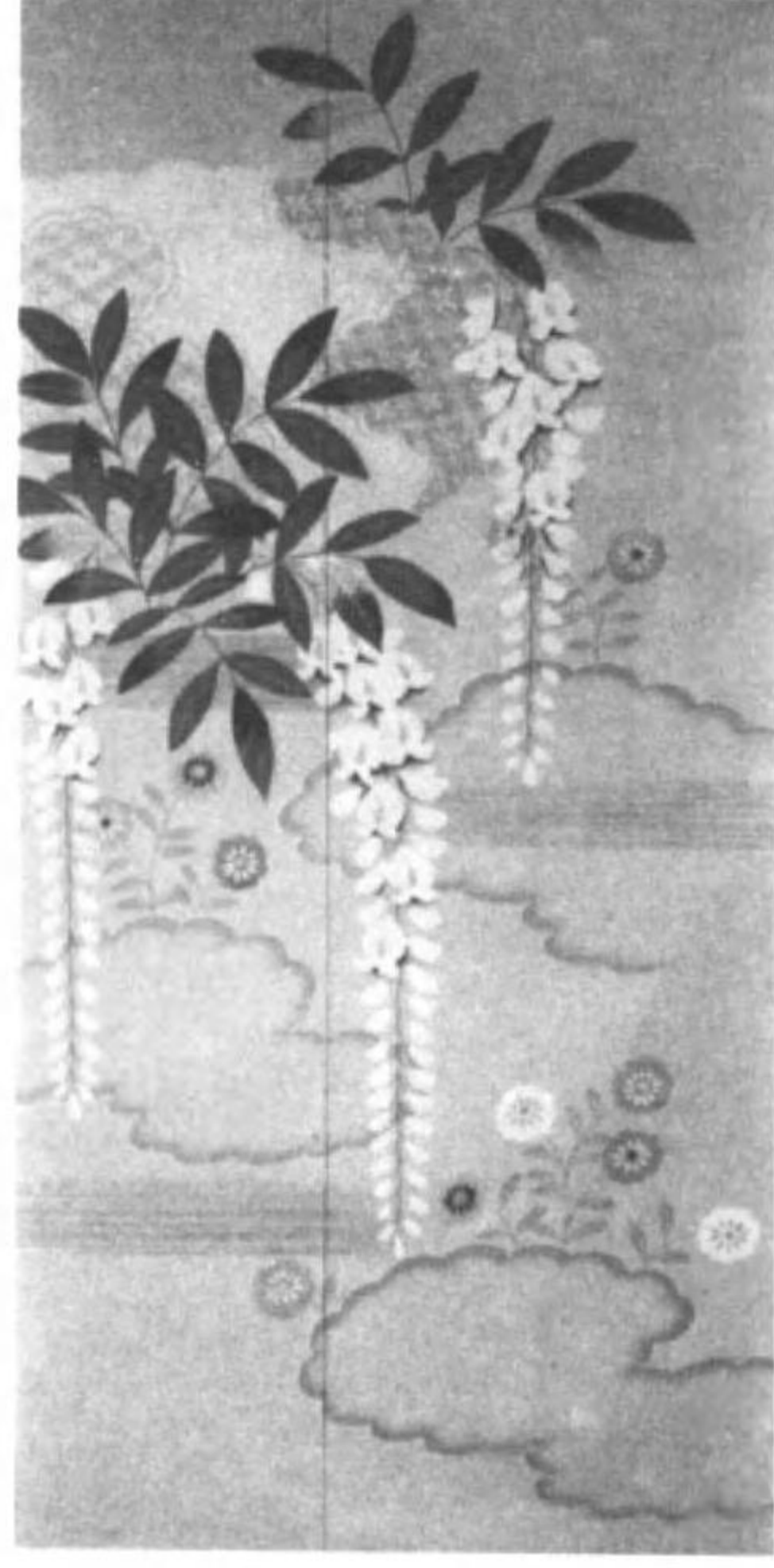
七十五



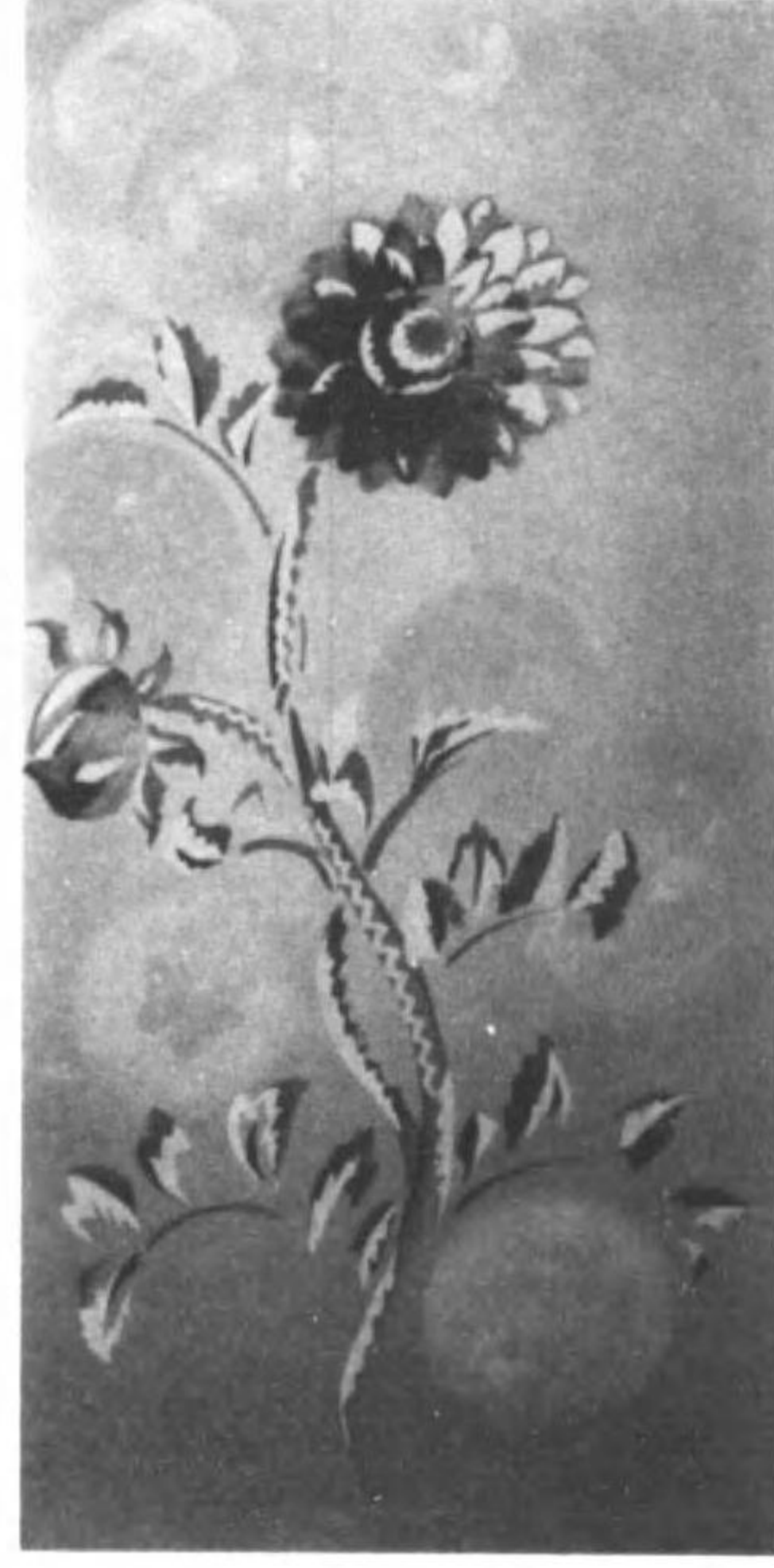
七十八



七十六



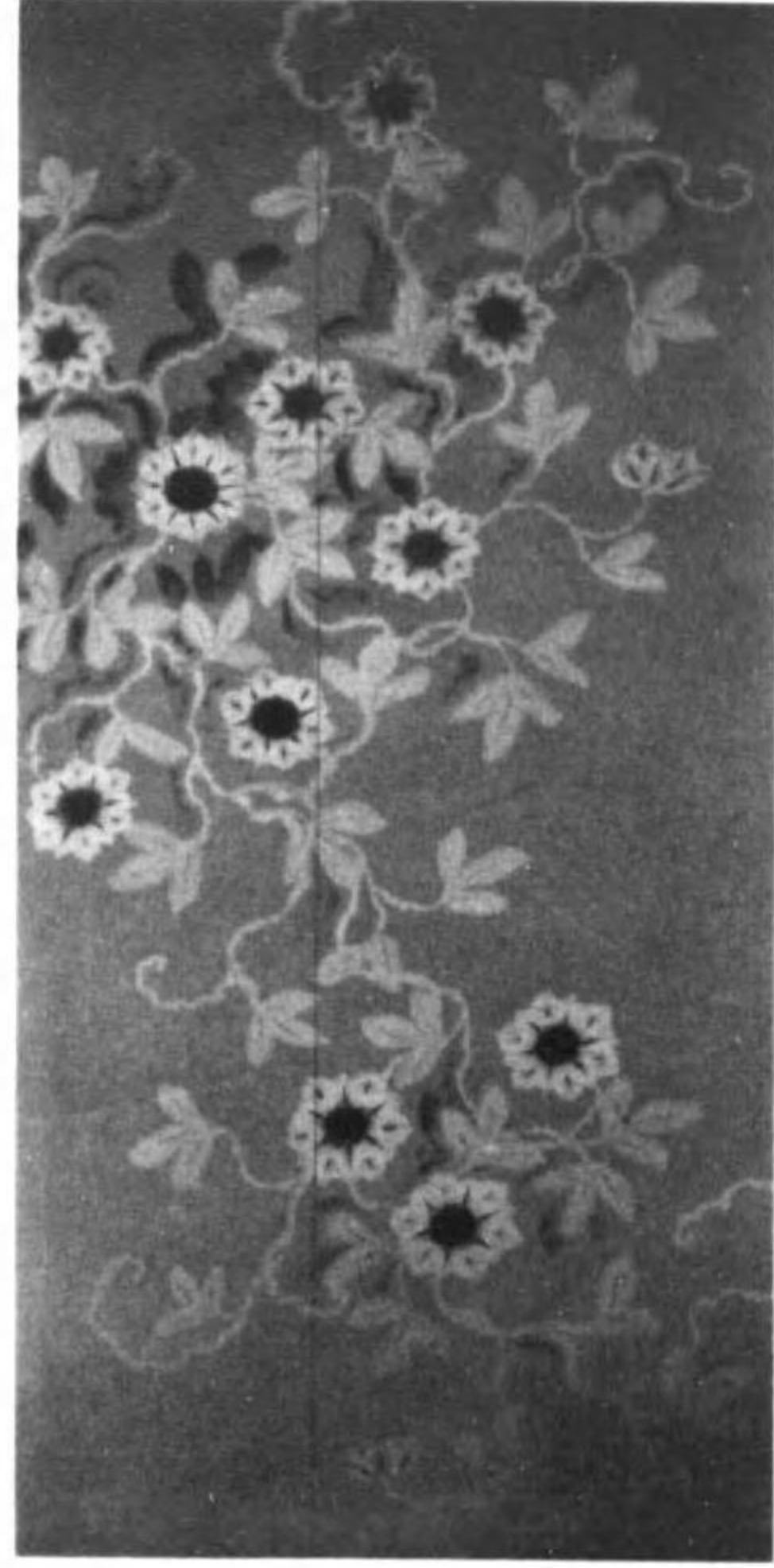
八十一



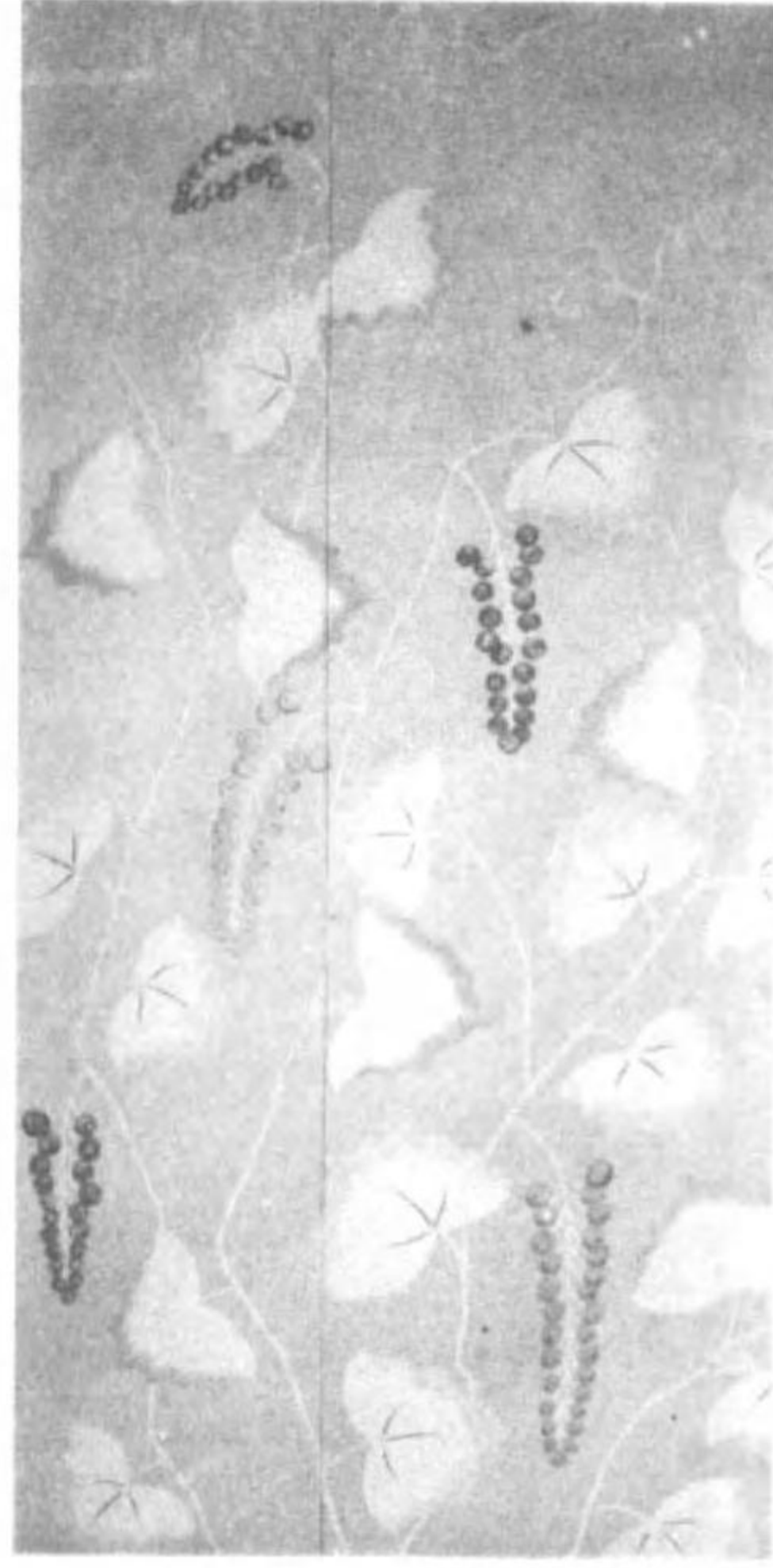
七十九



八十二



八十



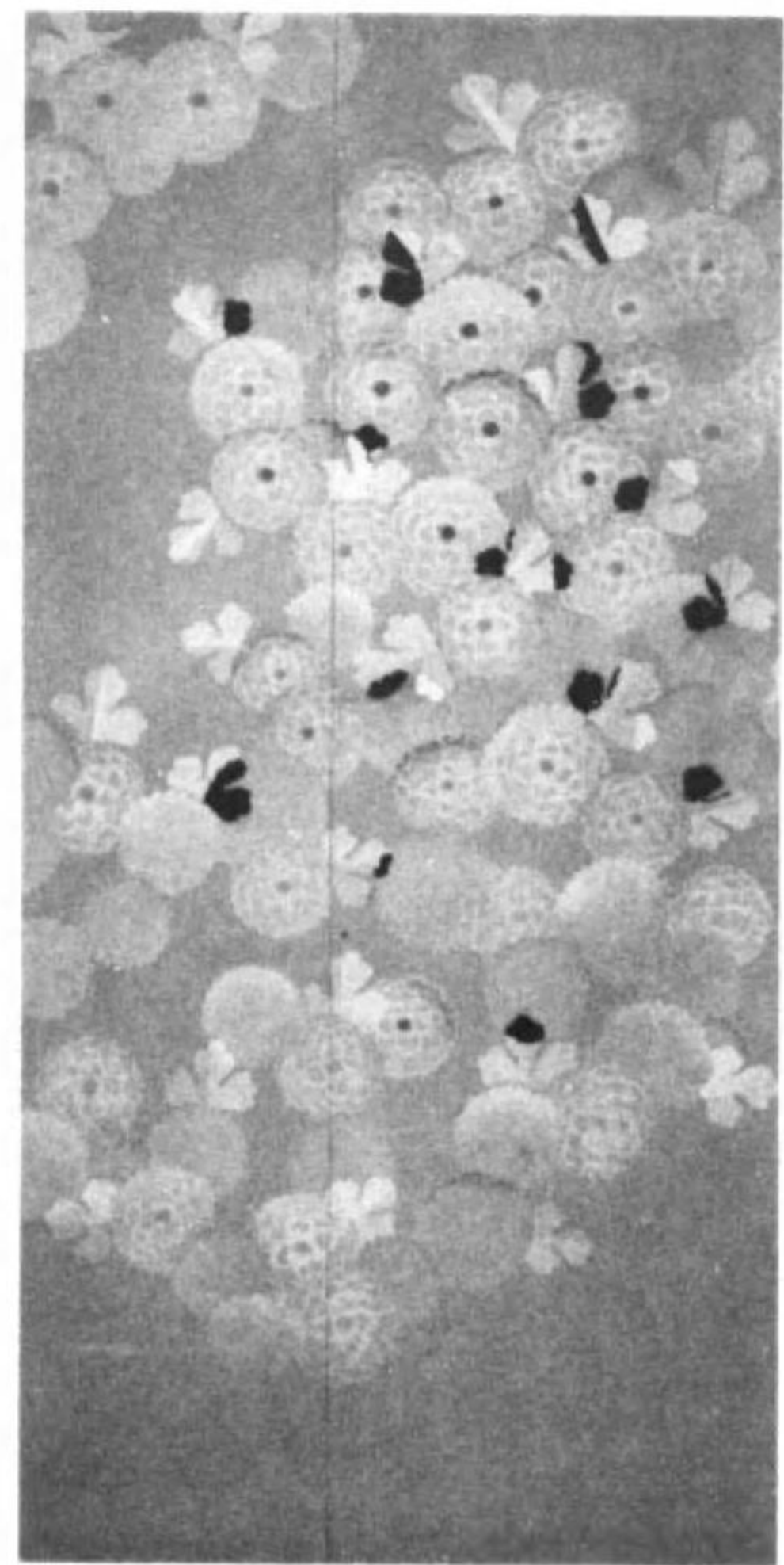
八十五



八十三



八十六



八十四

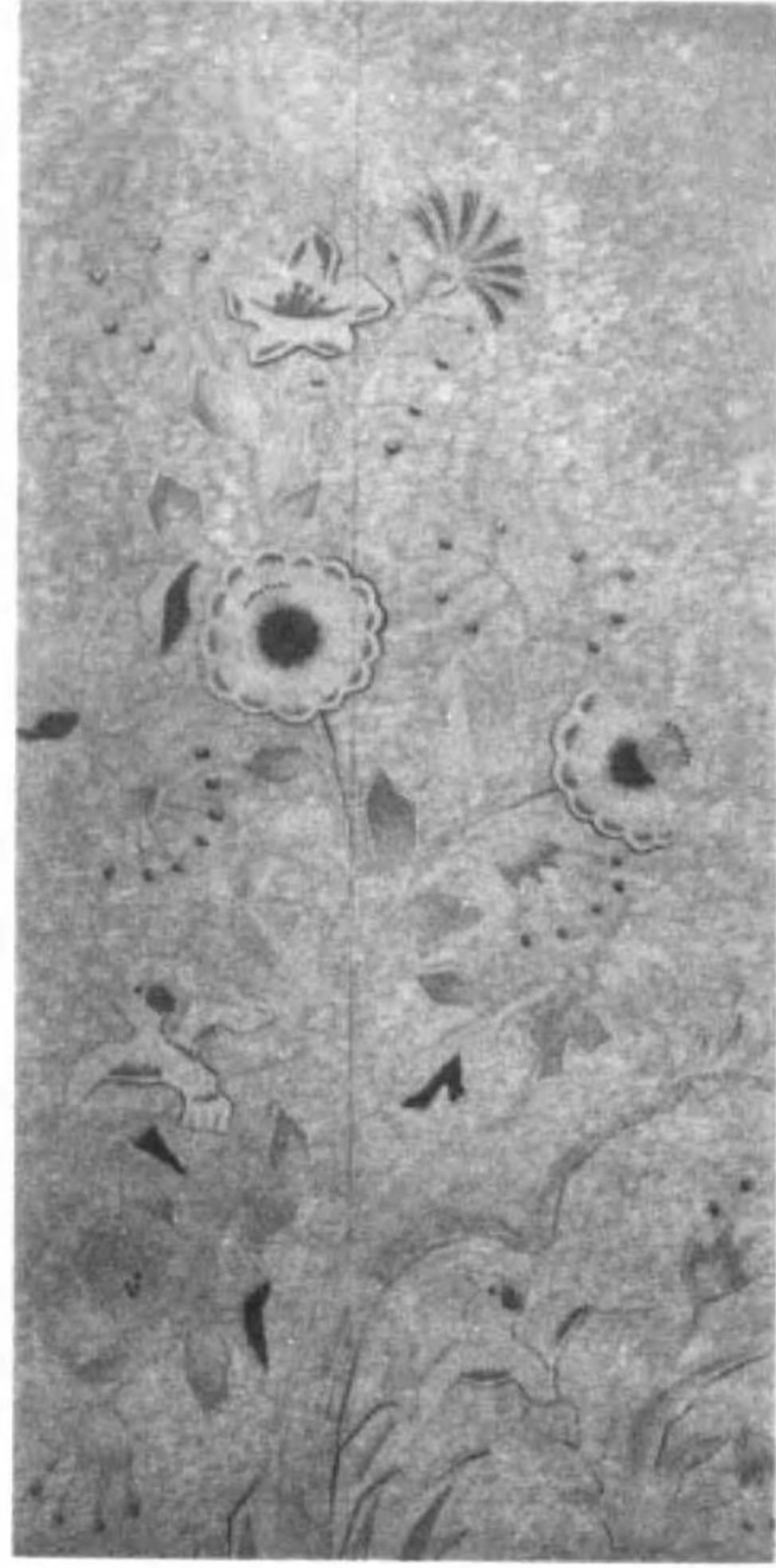




八十九



八十七



九十



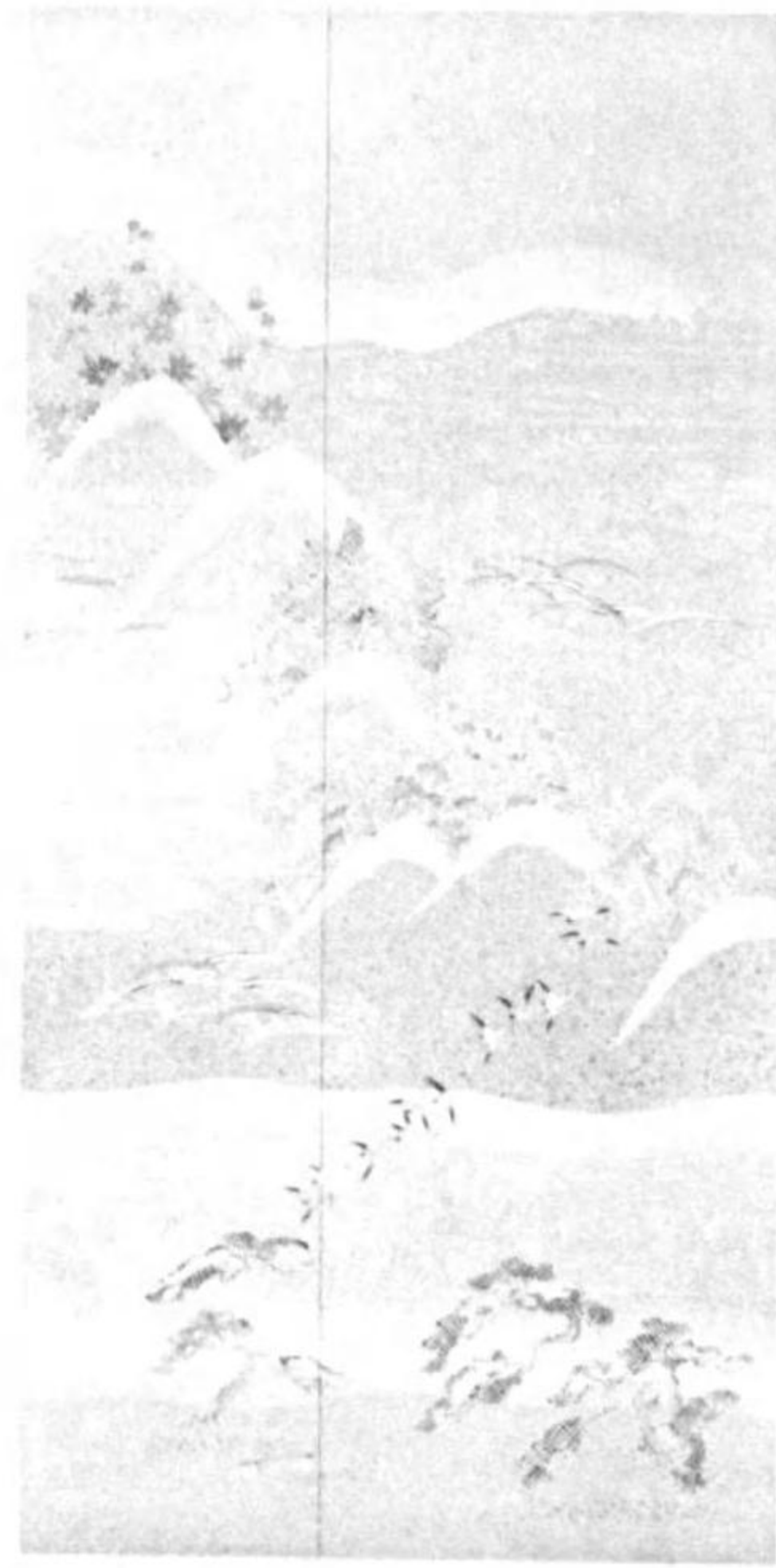
八十八



九十三



九十一



九十四



九十二



九十七



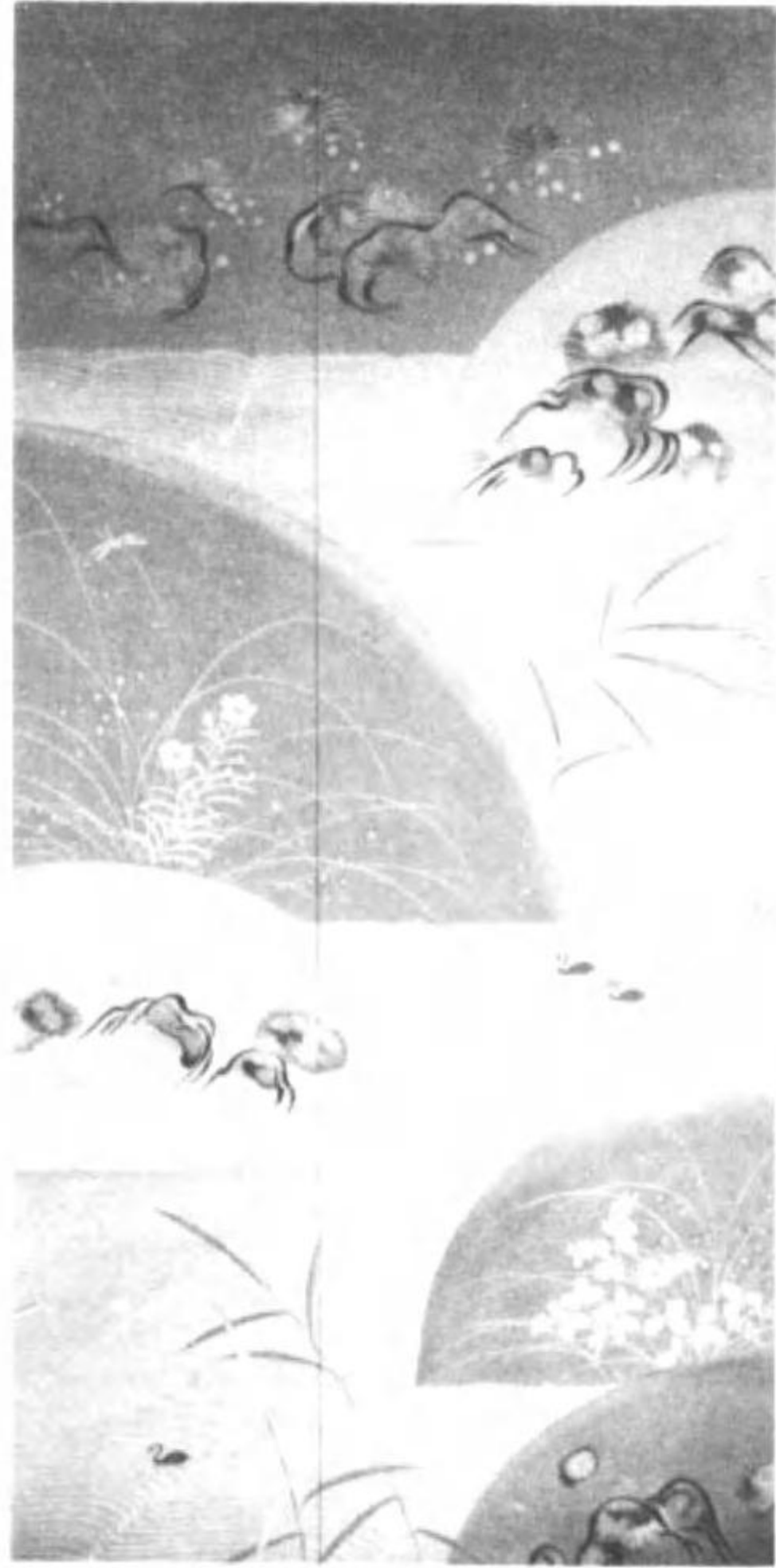
九十五



九十八



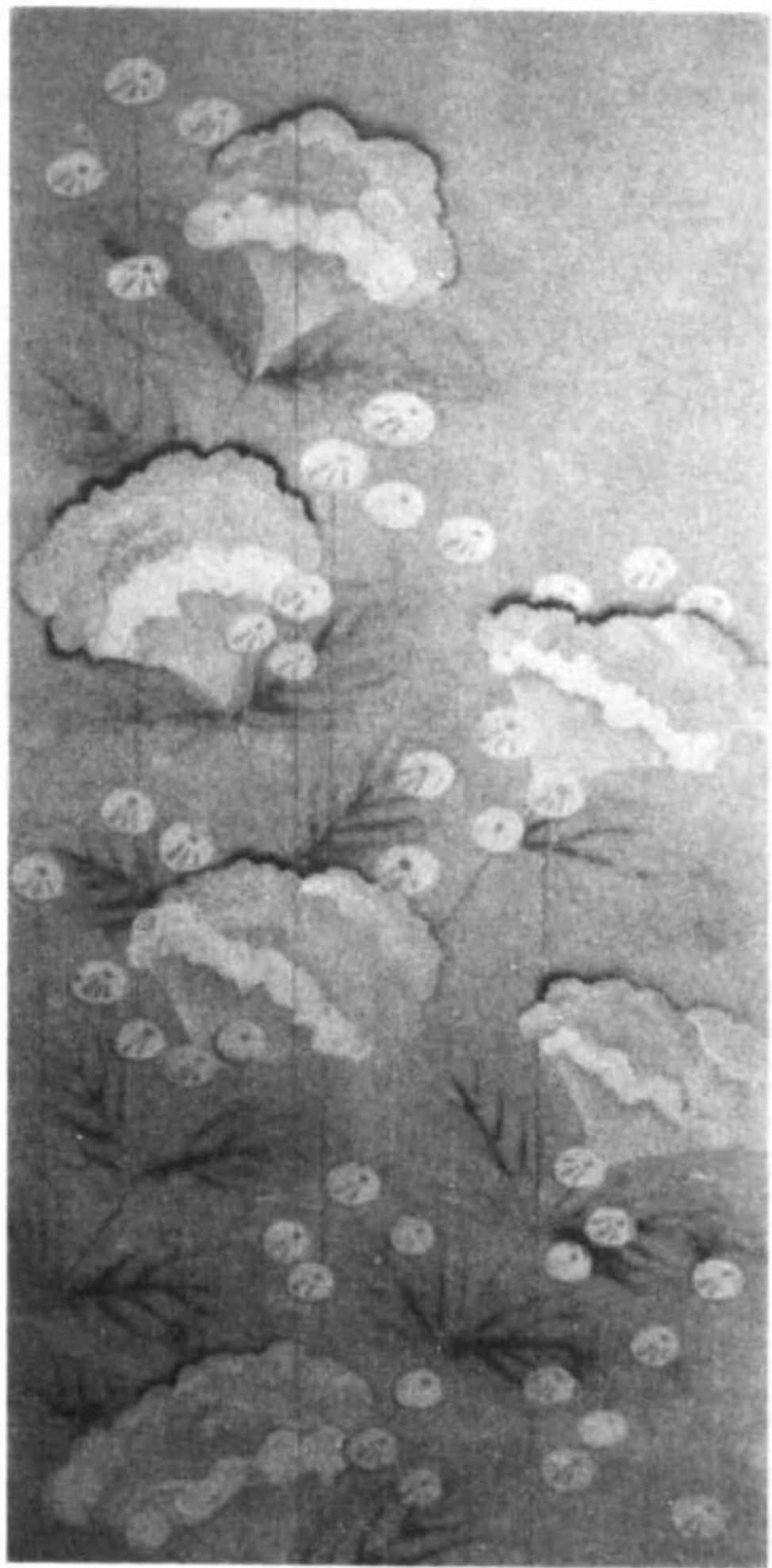
九十六



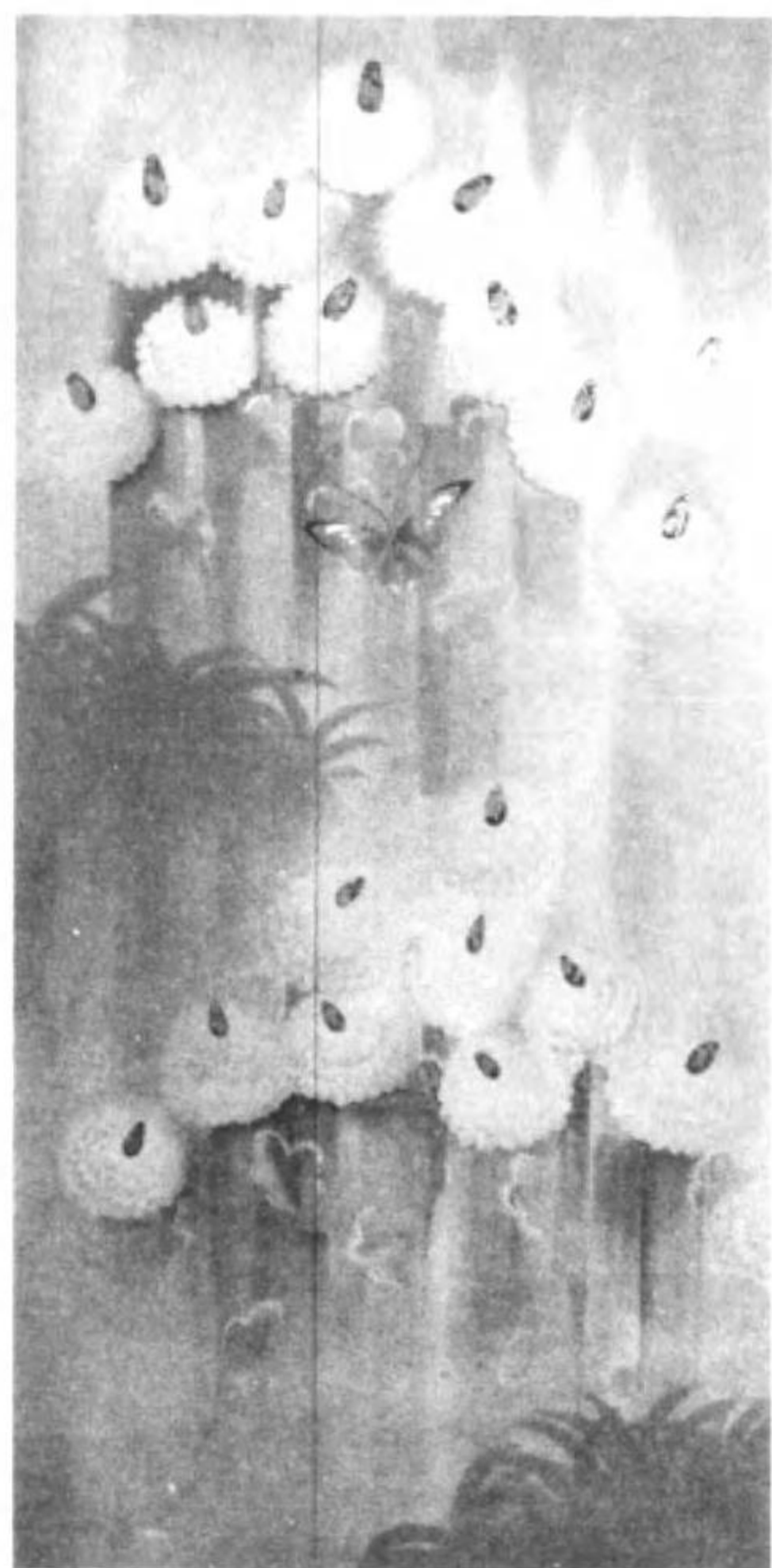
百



九十九



百



百



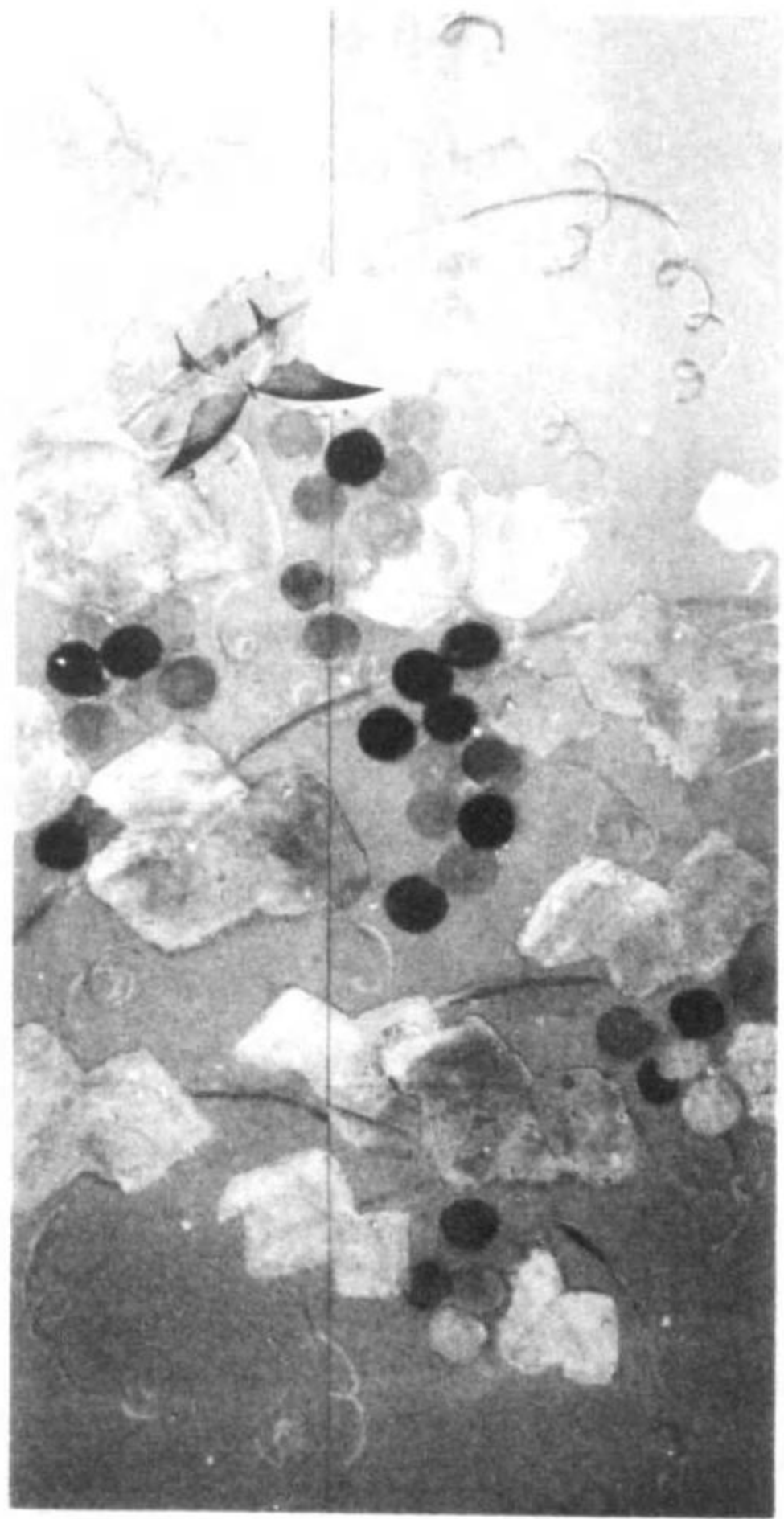
百五



百四



百六



百四

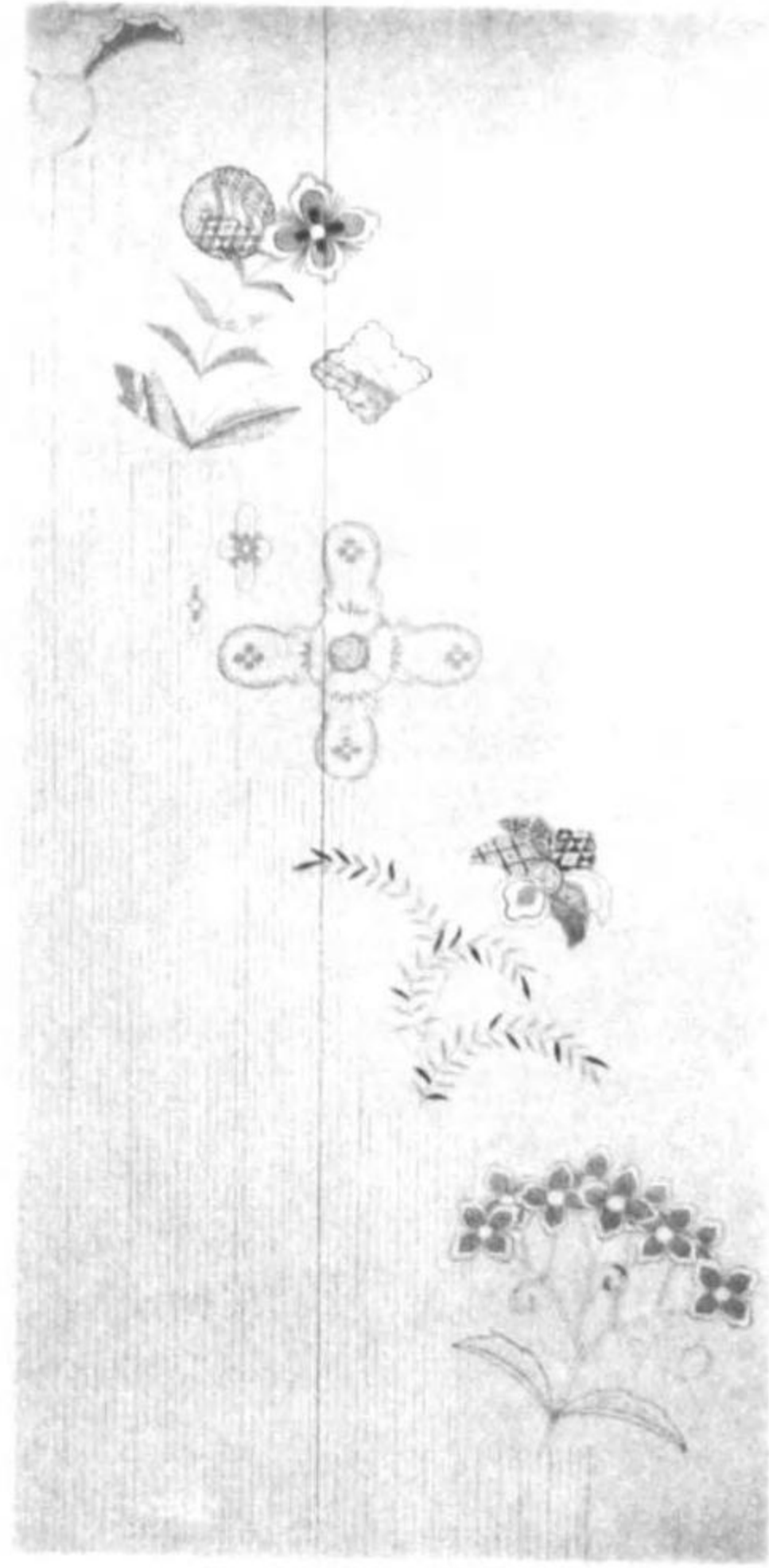




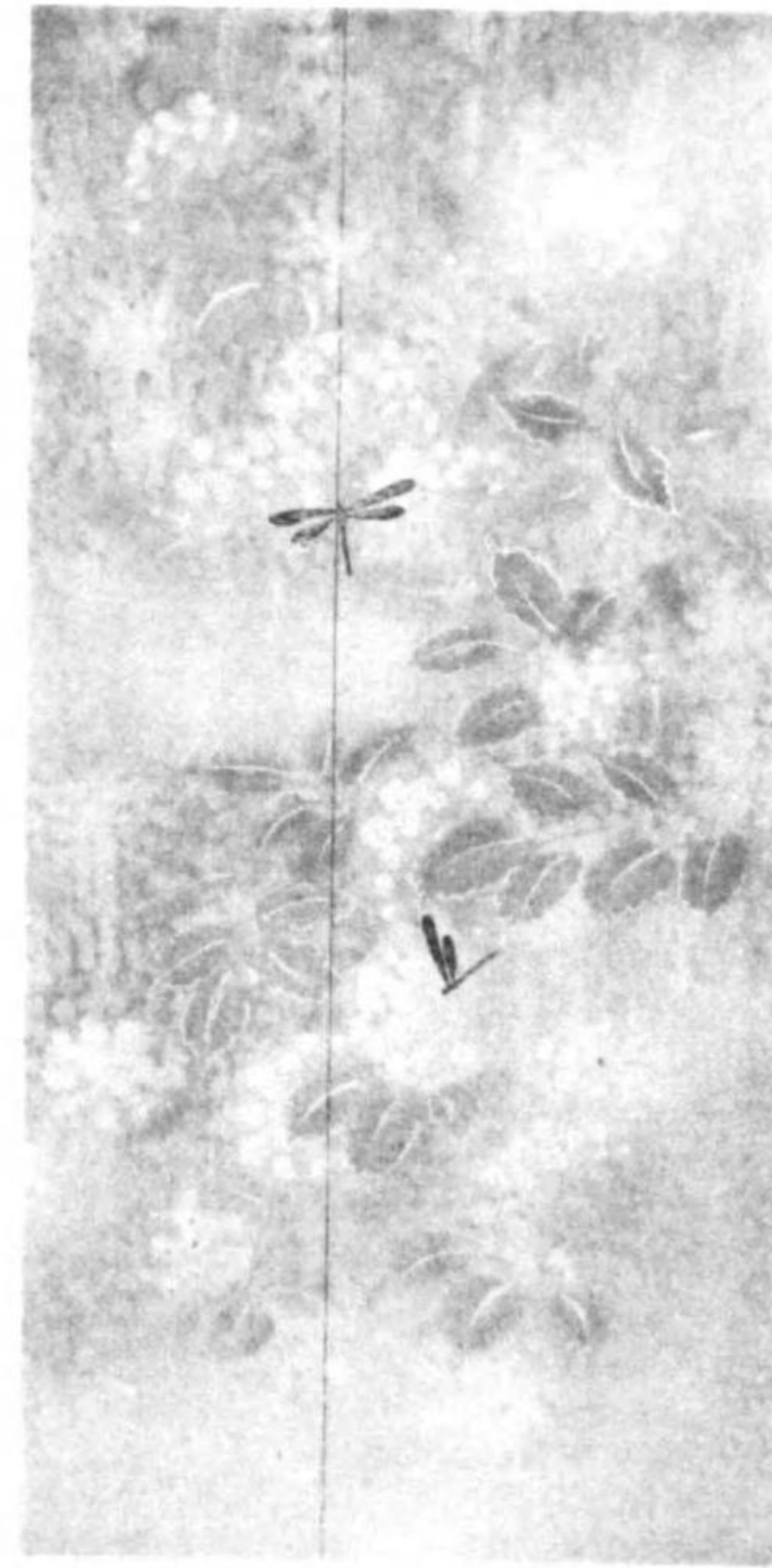
百九



百七



百十



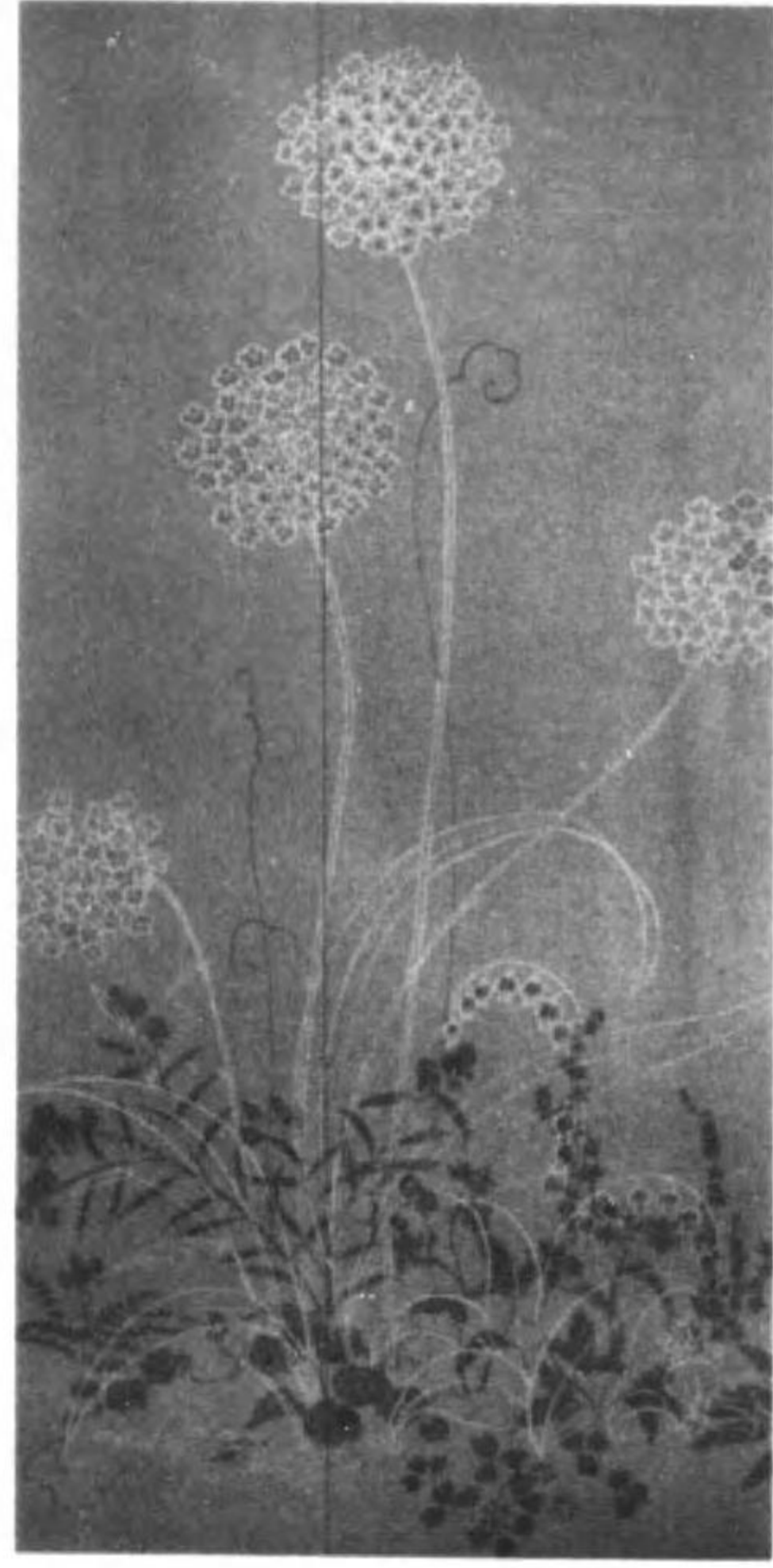
百八



百十三



百十一



百十四



百十二



百十七



百十五



百十八



百十六



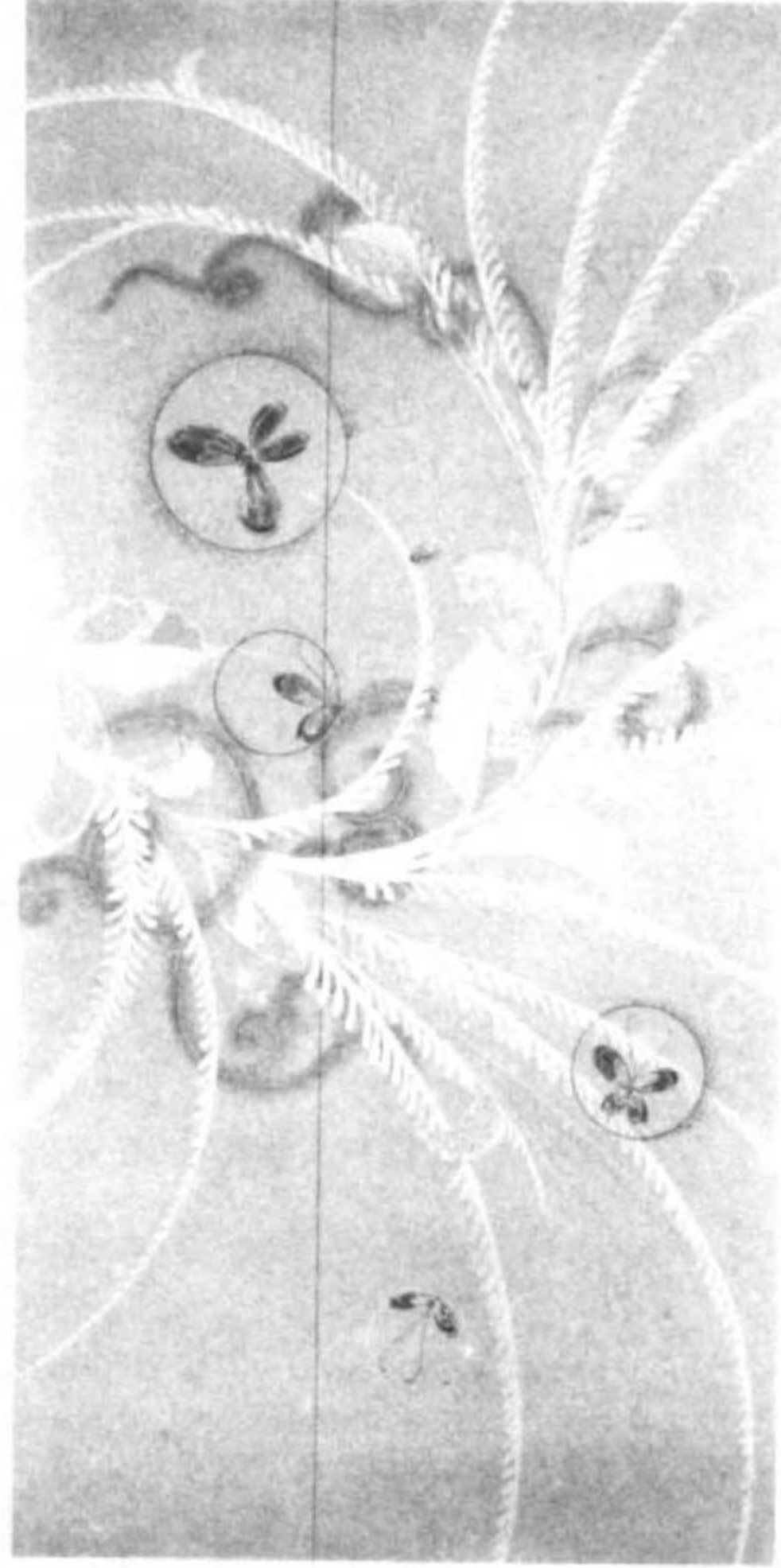
百二十一



百十九



百二十二



百二十



百二十五



百二十三



百二十六

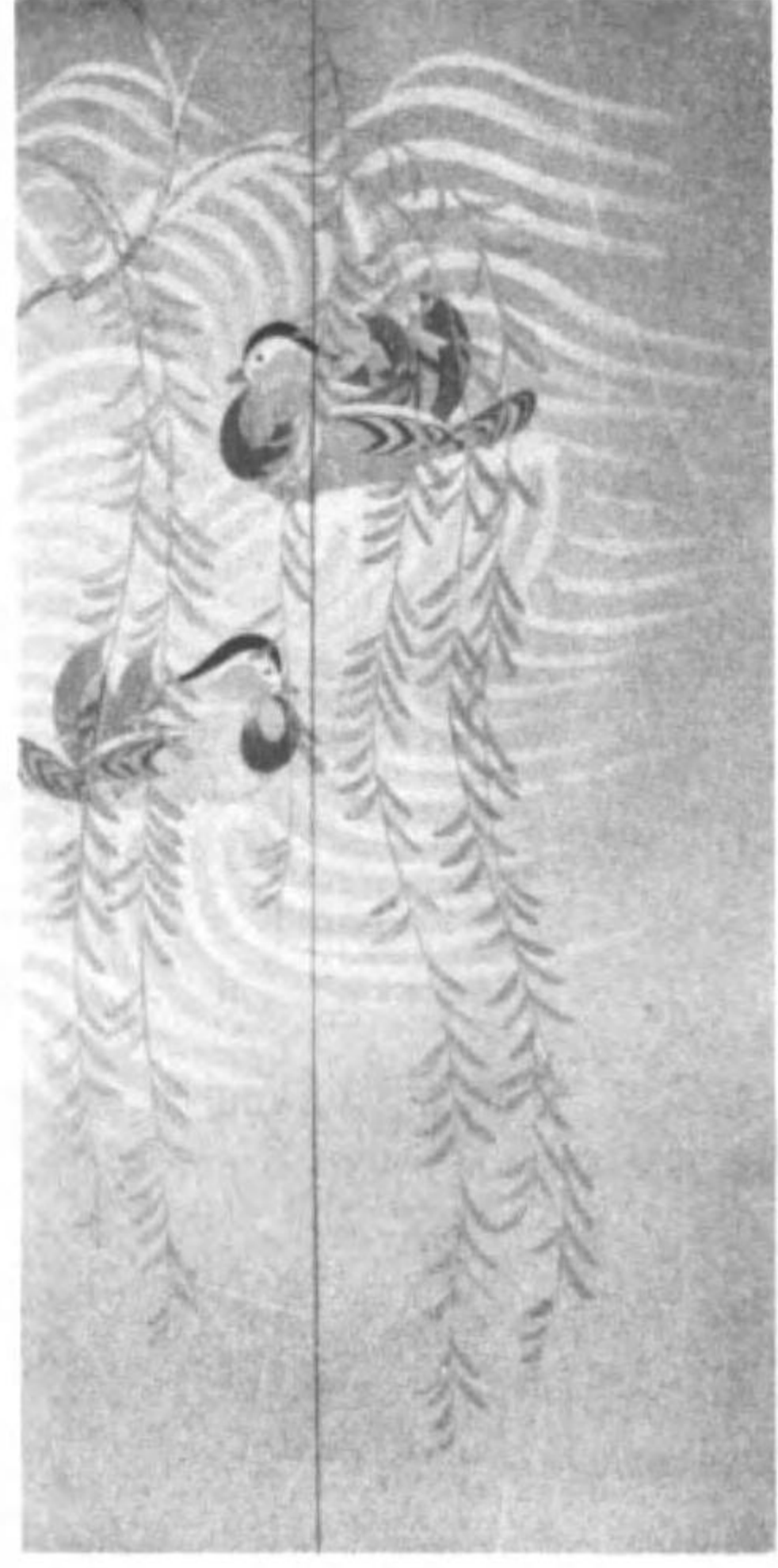


百二十四





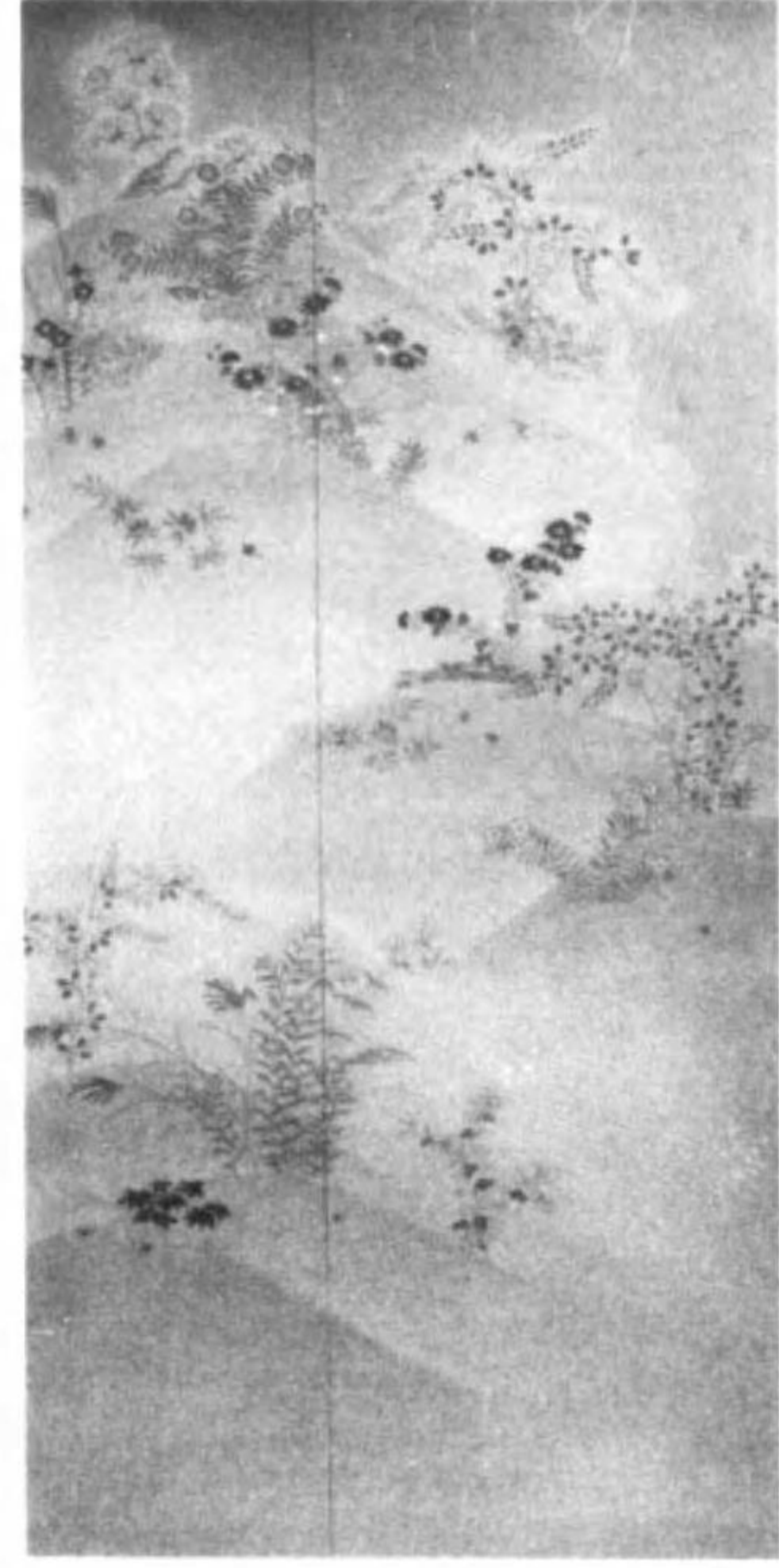
百二十九



百二十七



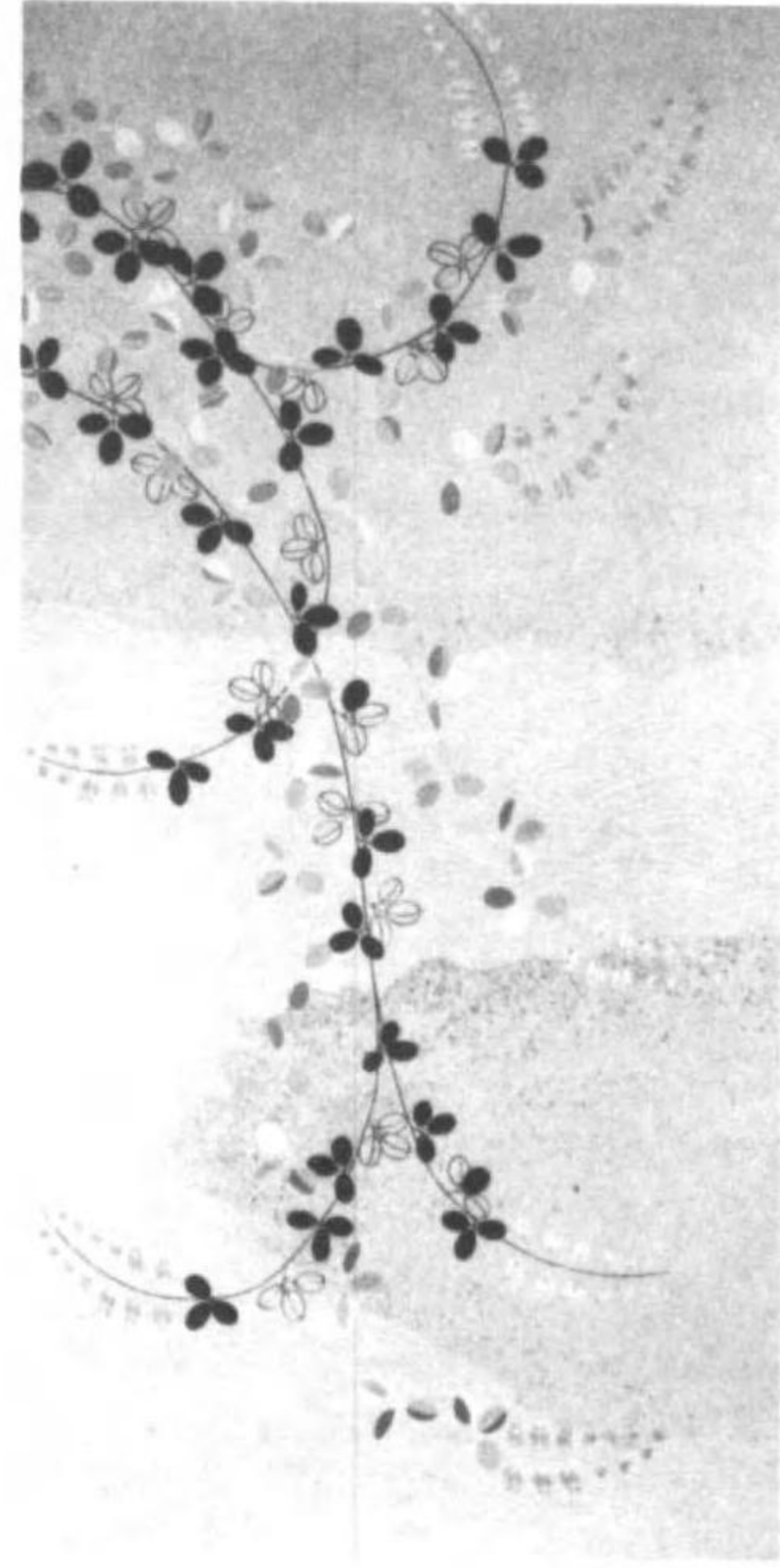
百三十



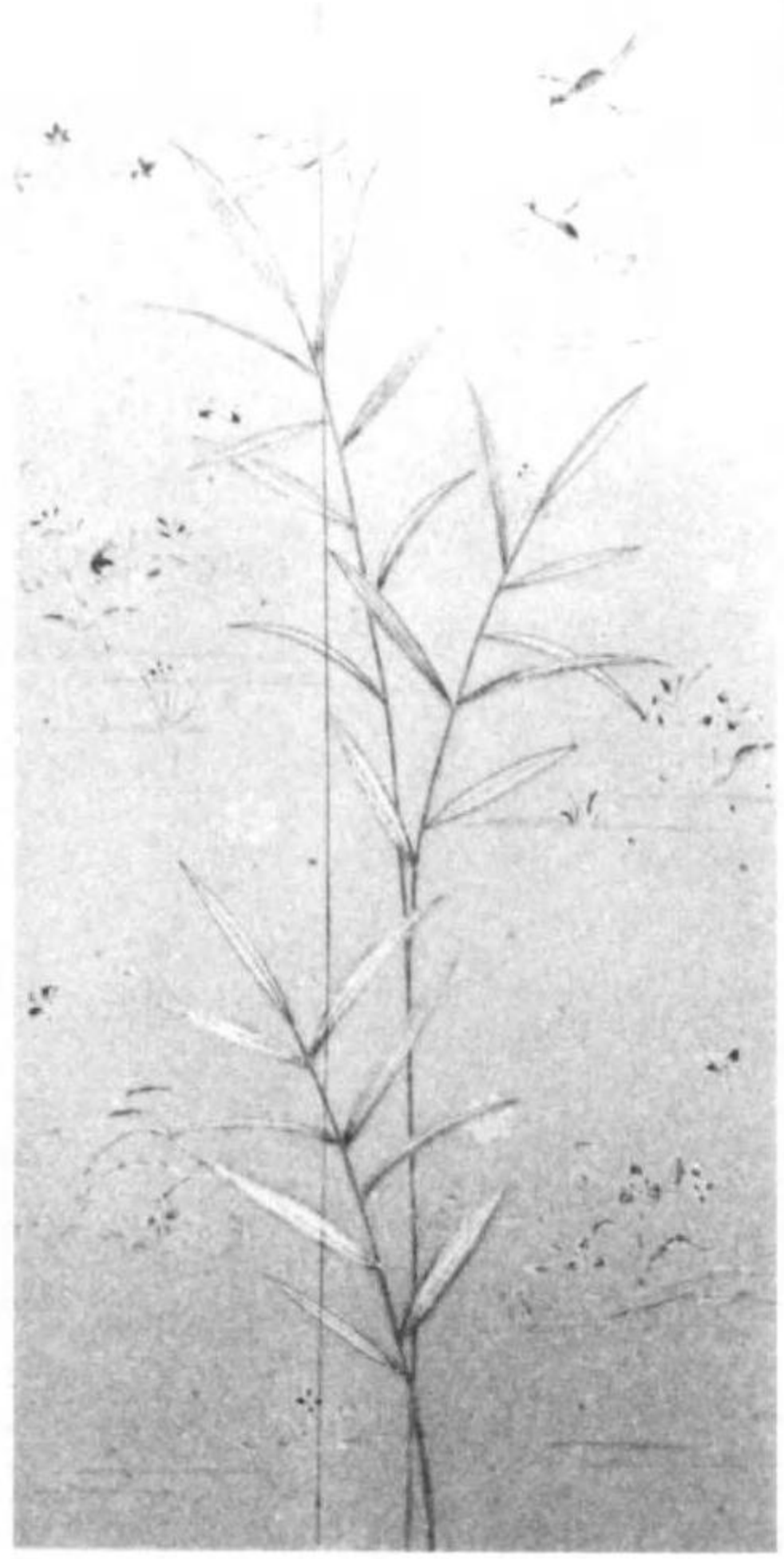
百三十八



图三十一



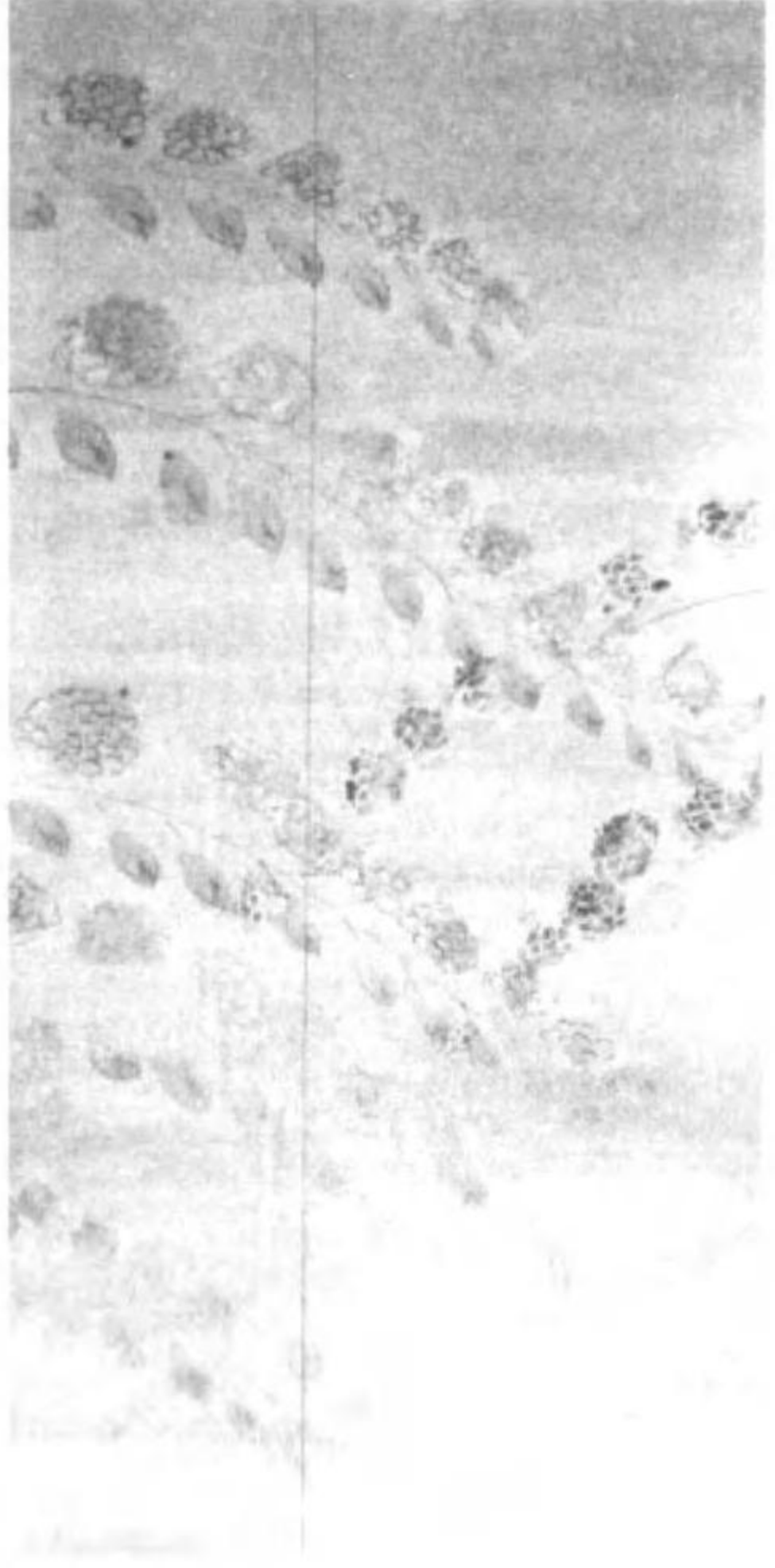
图三十一



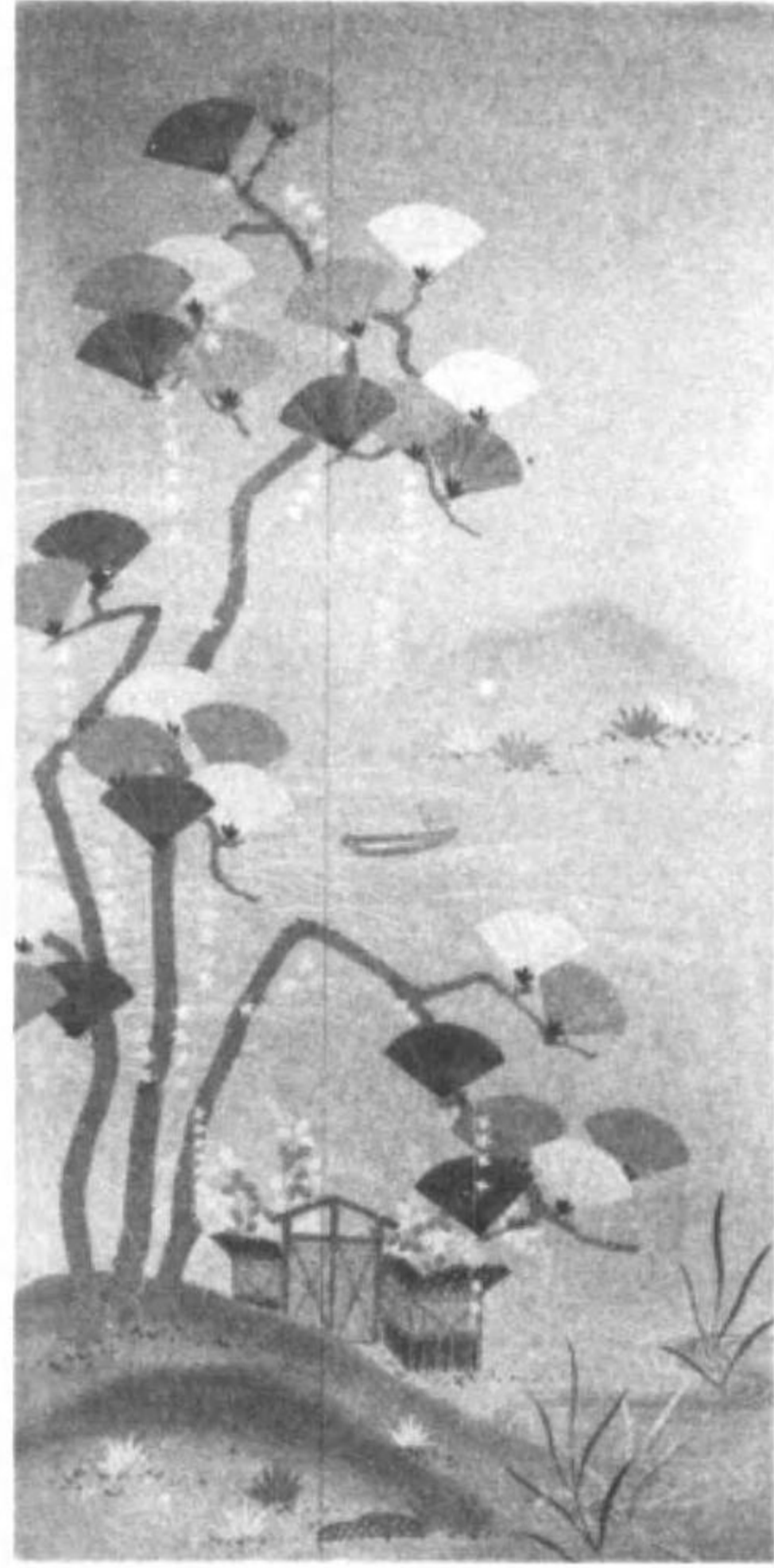
图三十一



图三十一



百三十七



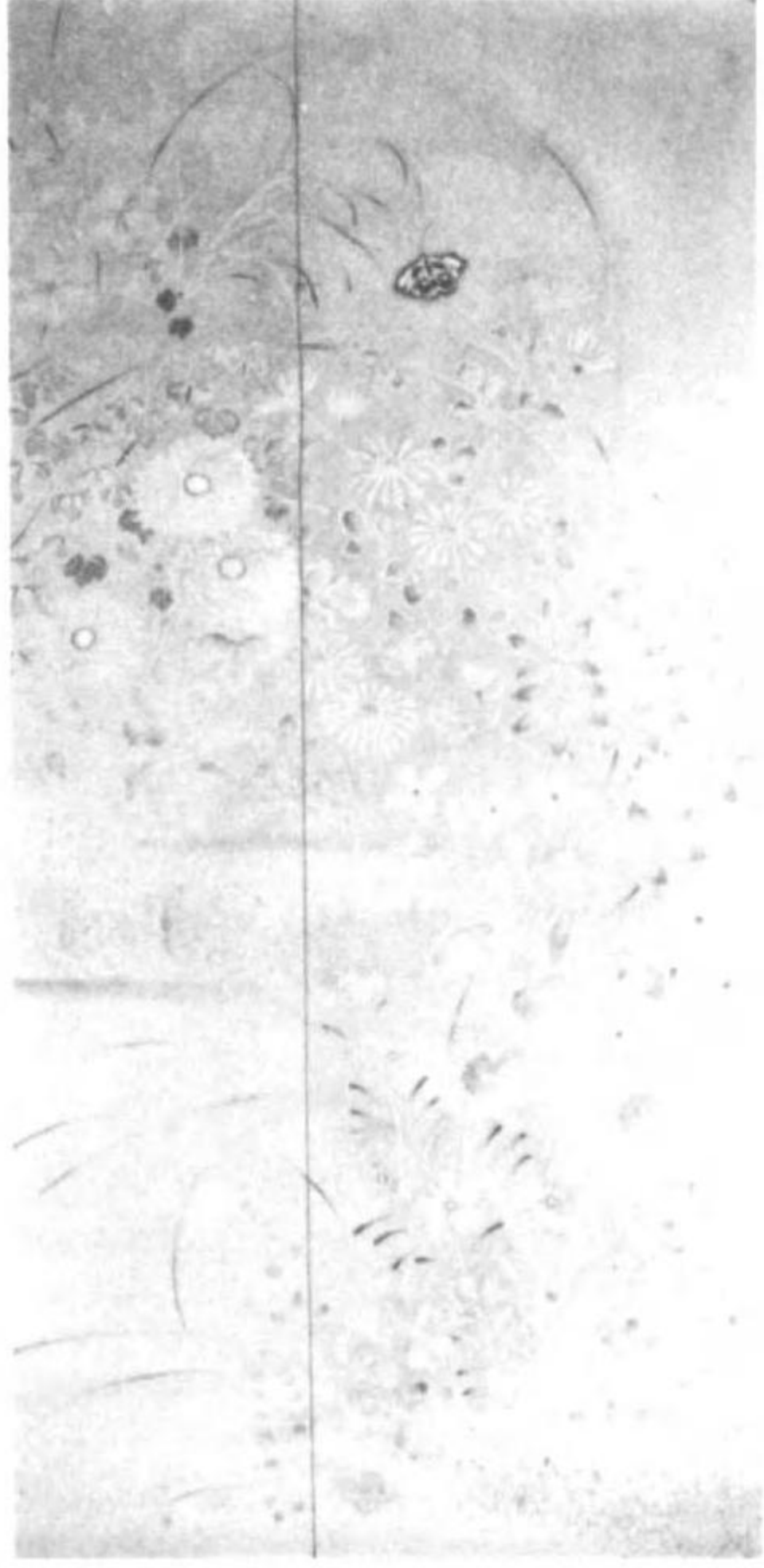
百三十五



百三十八



百三十六



百四十一



百三十九



百四十二



百四十



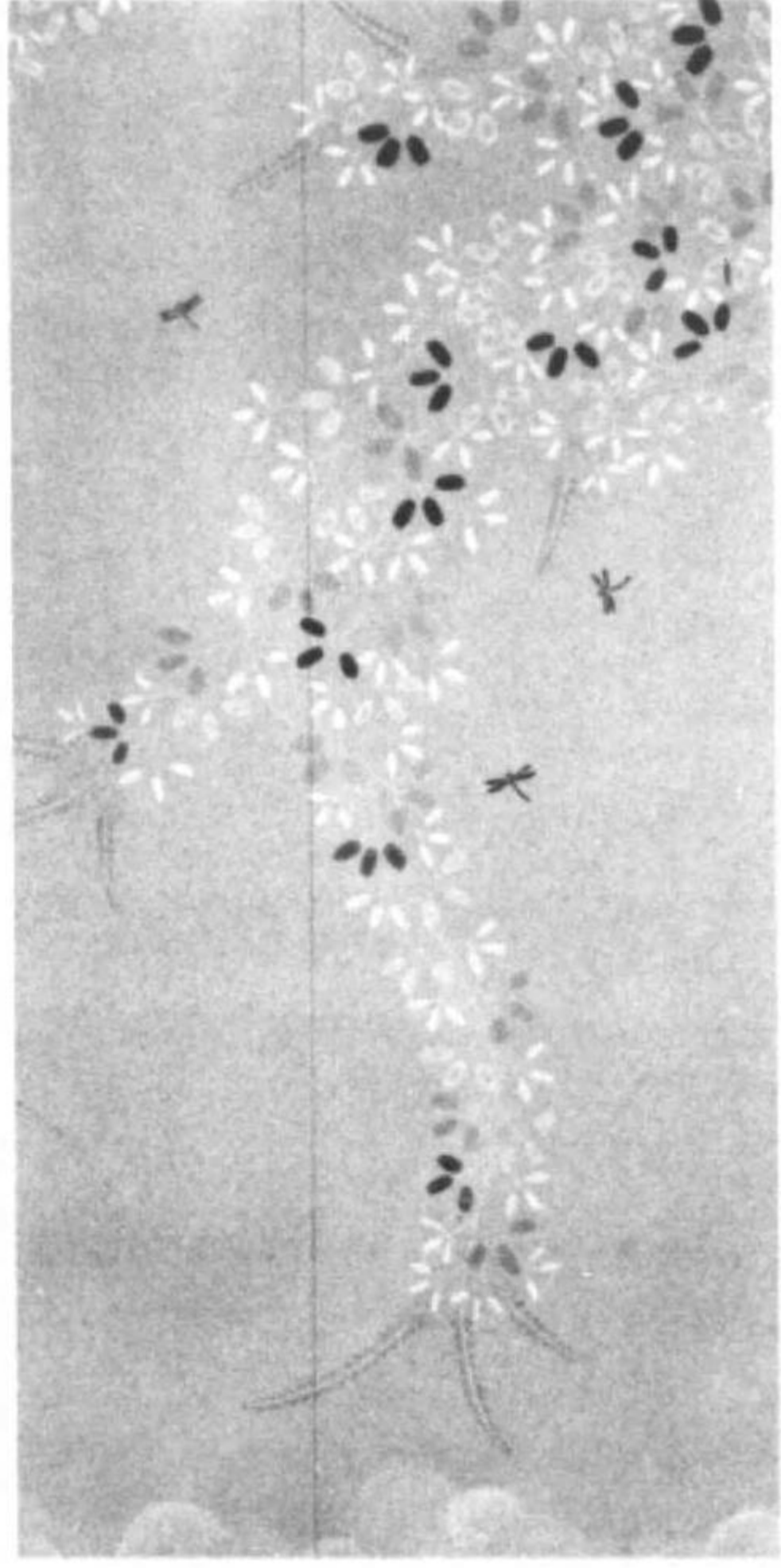
百四十五



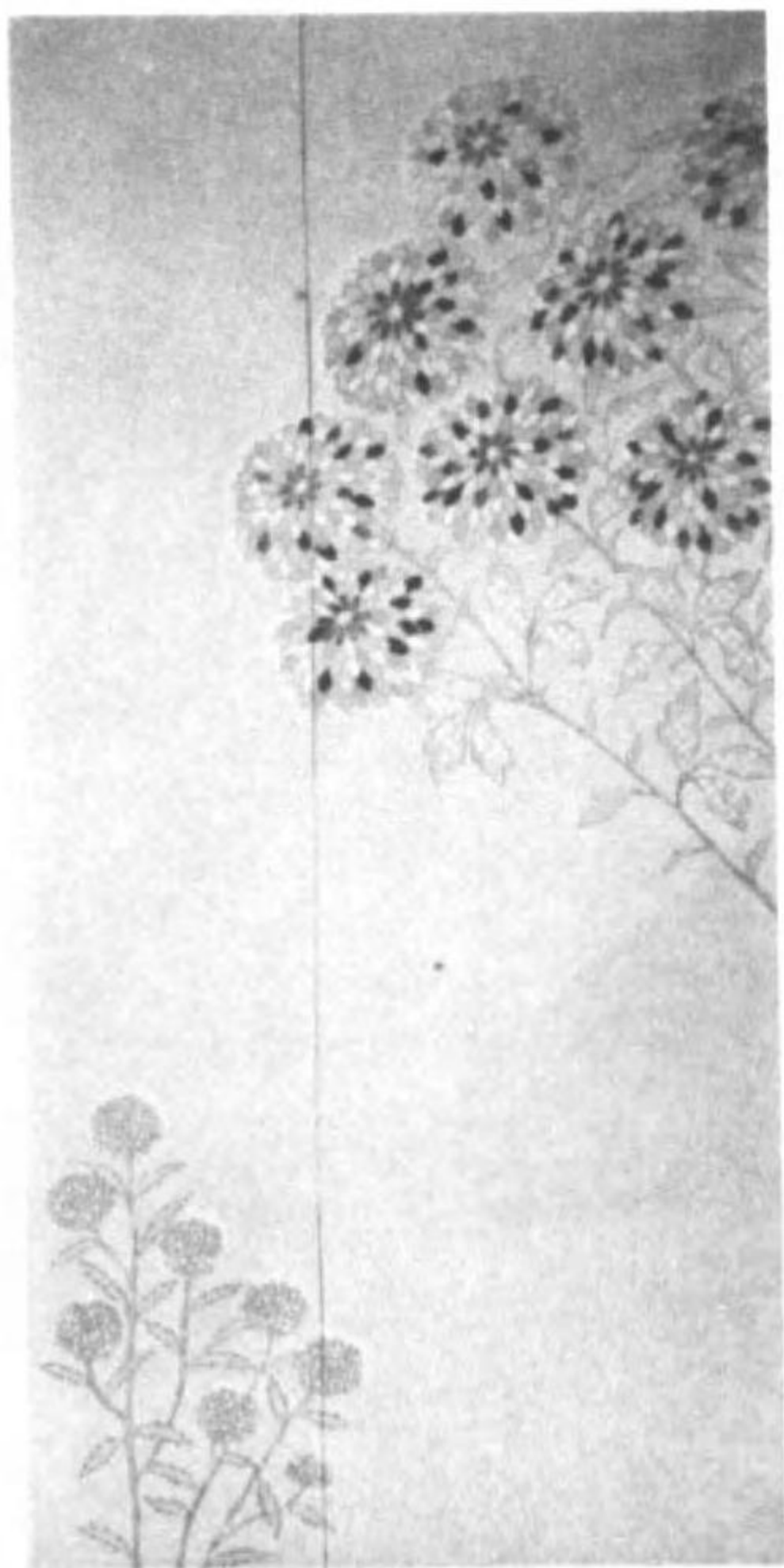
百四十三



百四十六



百四十四



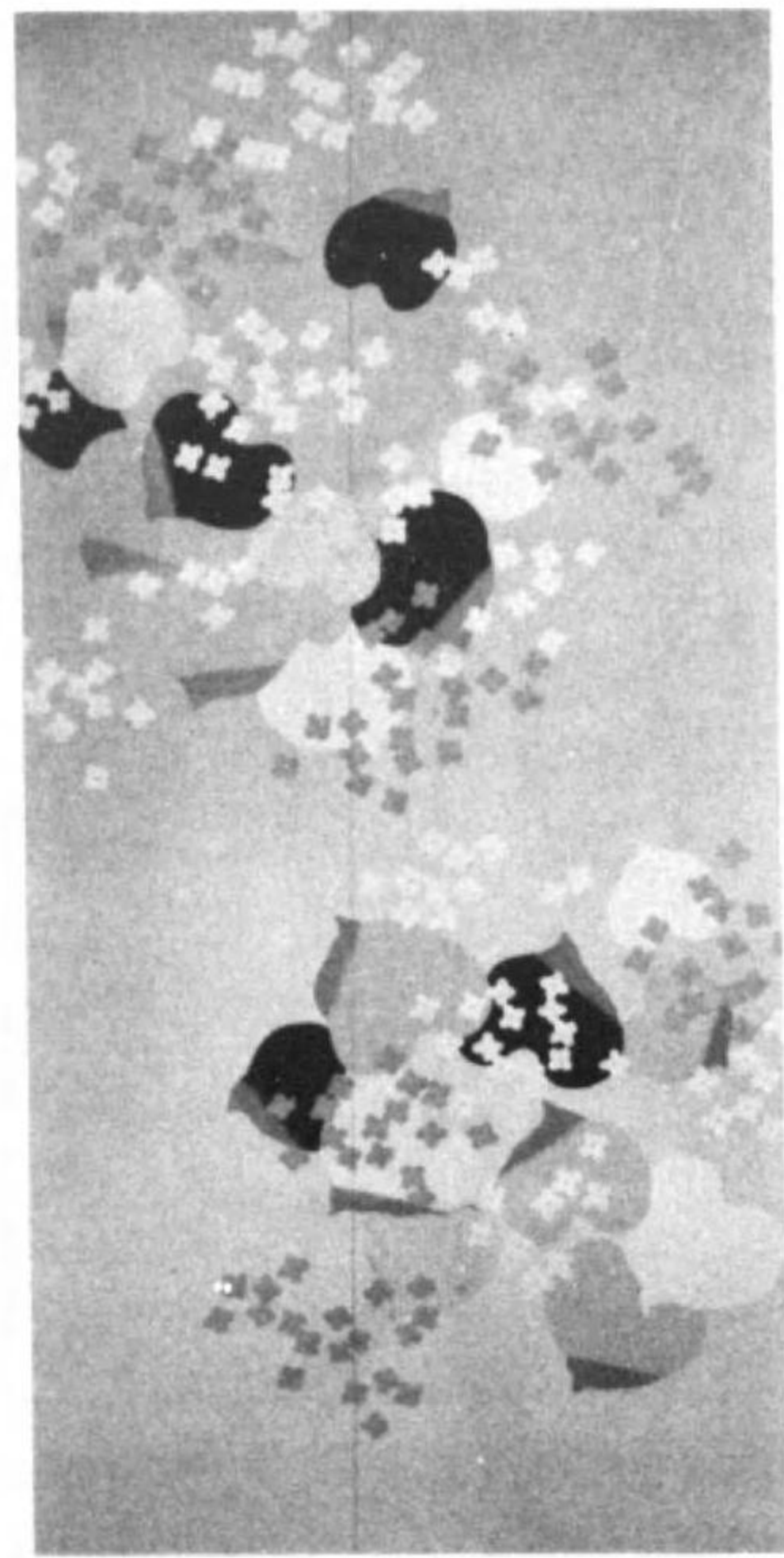
百四十九



百四十七



百五十



百四十八



百五十三



百五十一



百五十四



百五十二



百五十七



百五十五



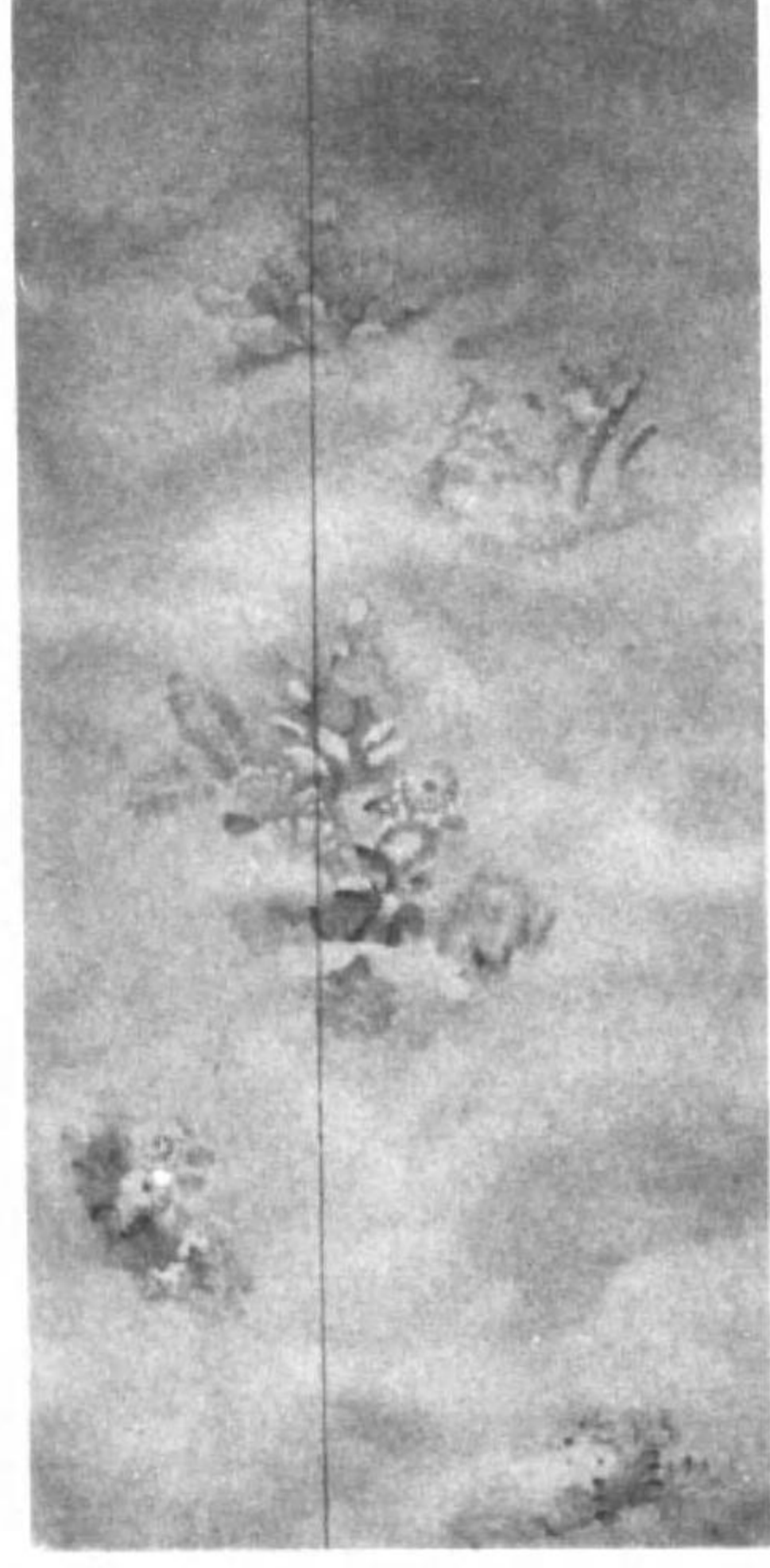
百五十八



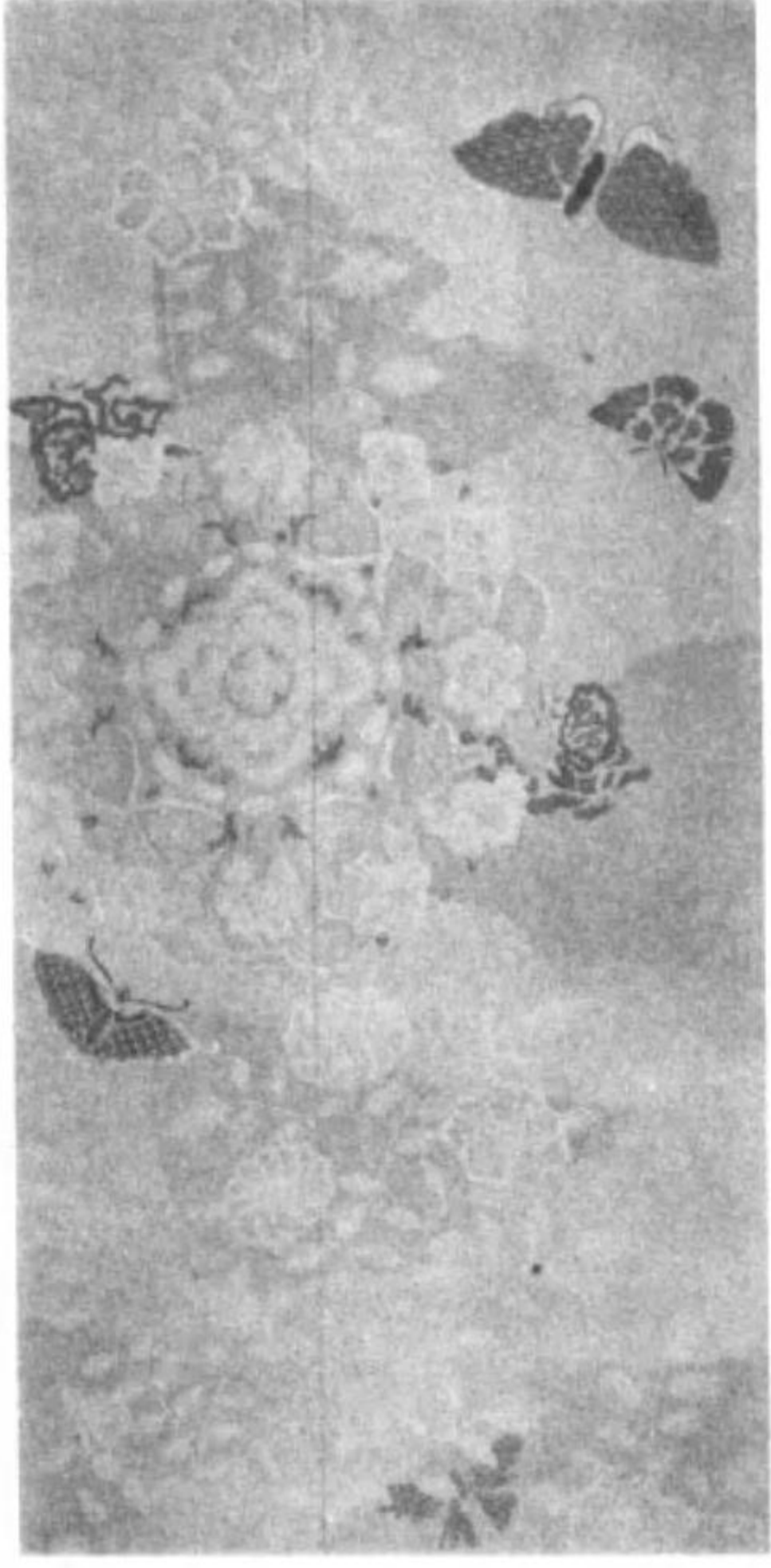
百五十六



百六十一



百五十九



百六十二



百六十



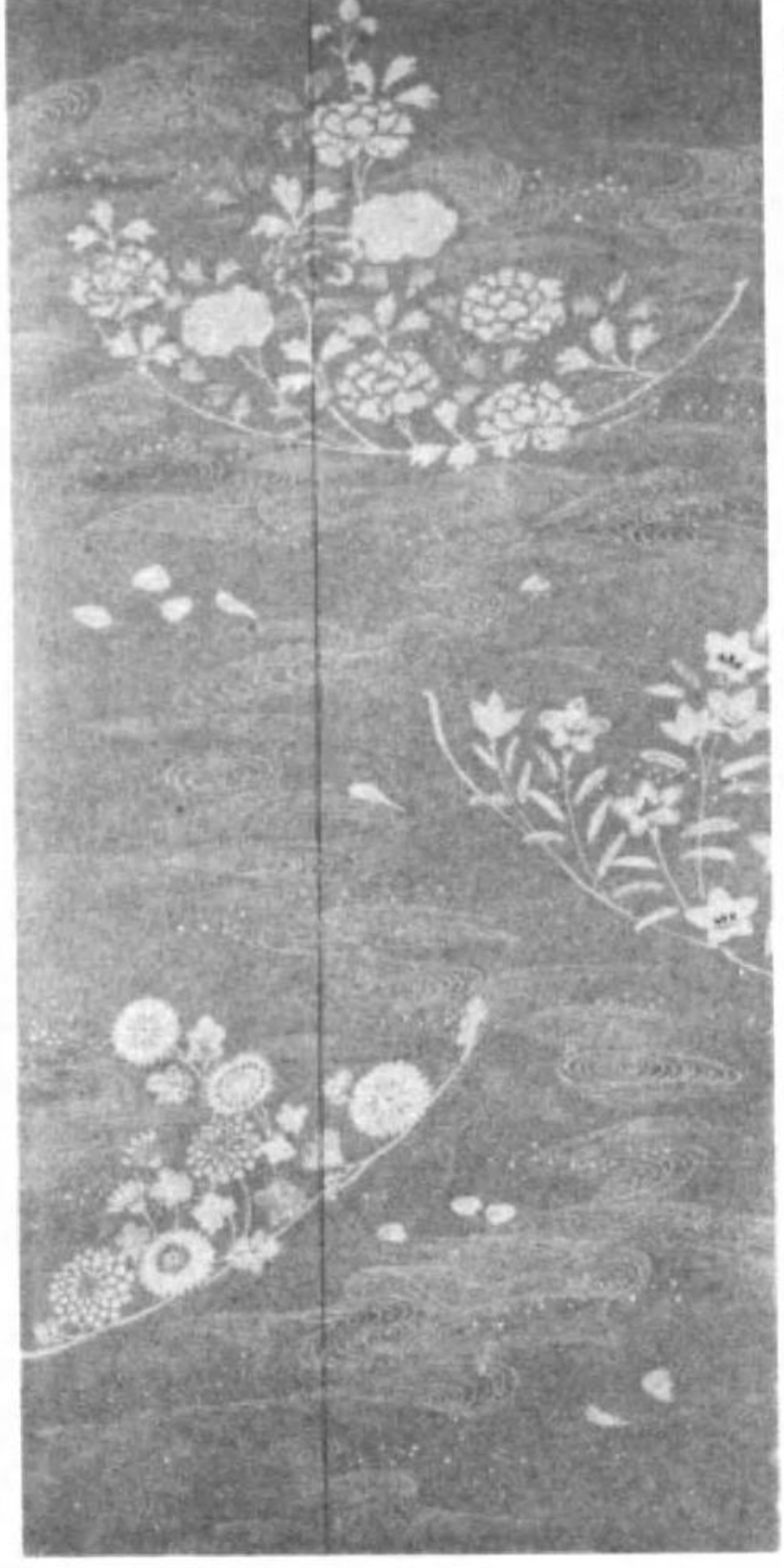
百六十五



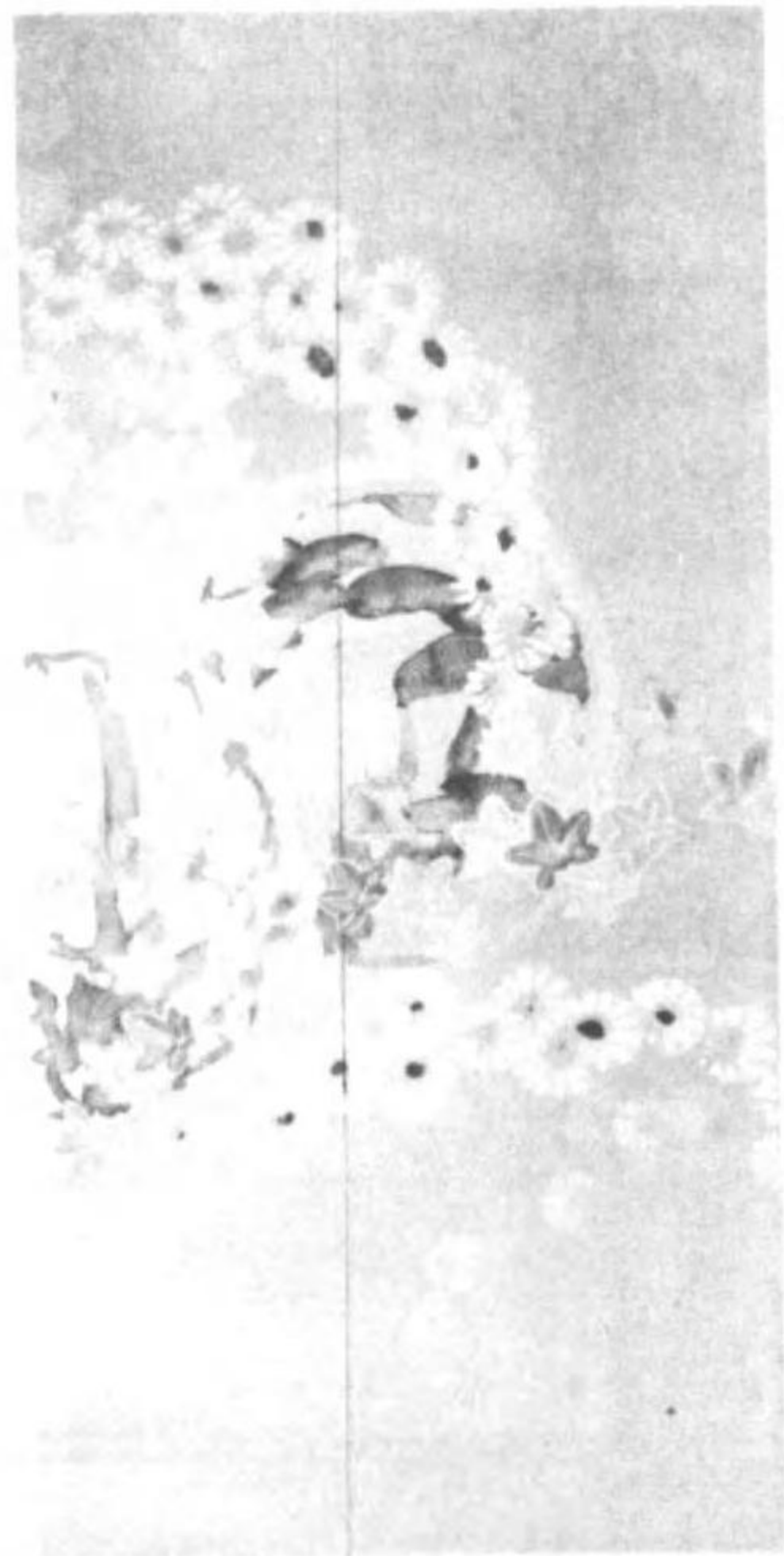
百六十三



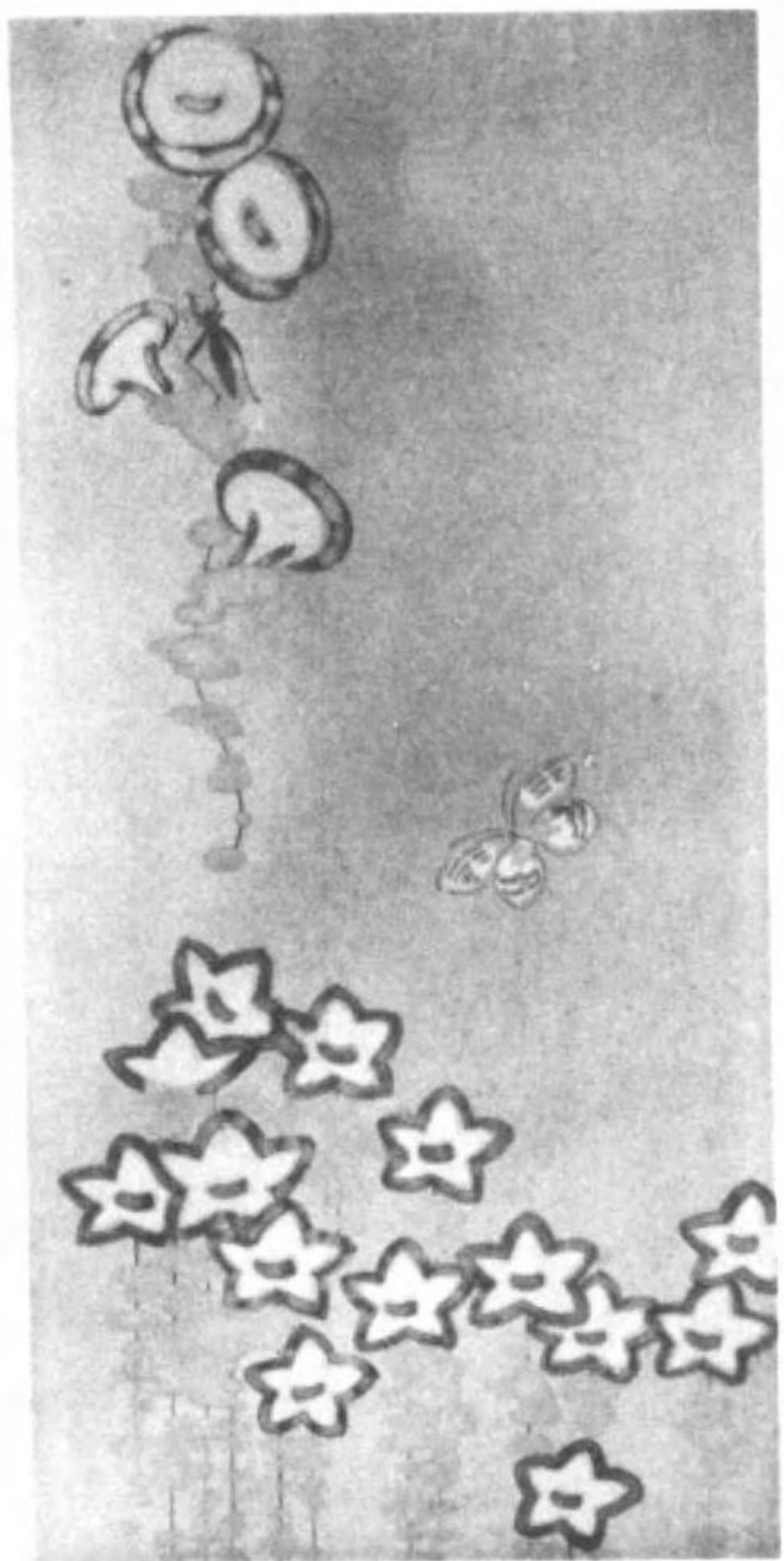
百六十六



百六十四



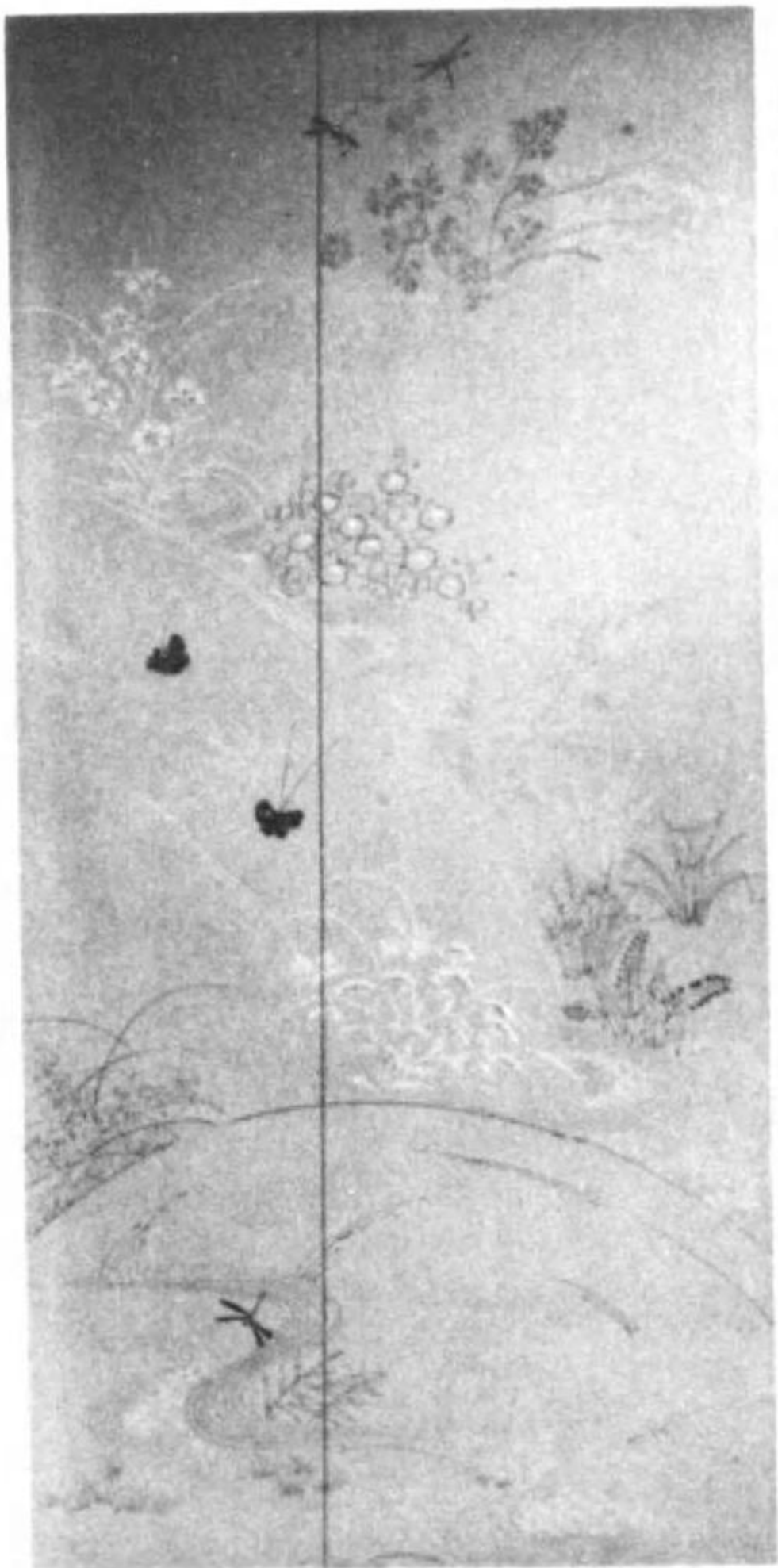
百六十九



百六十七



百七十



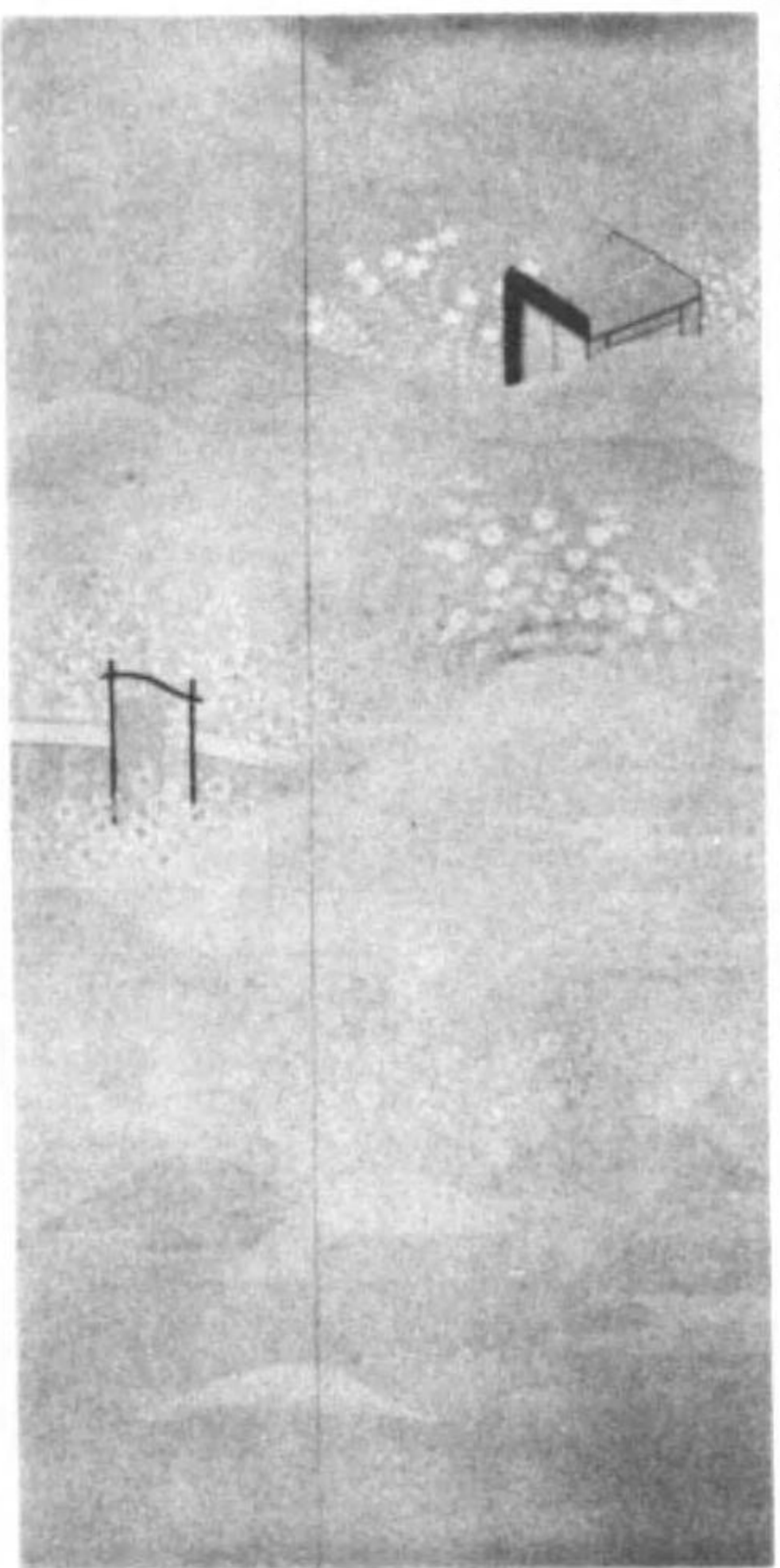
百六十八



百七十三



百七十一



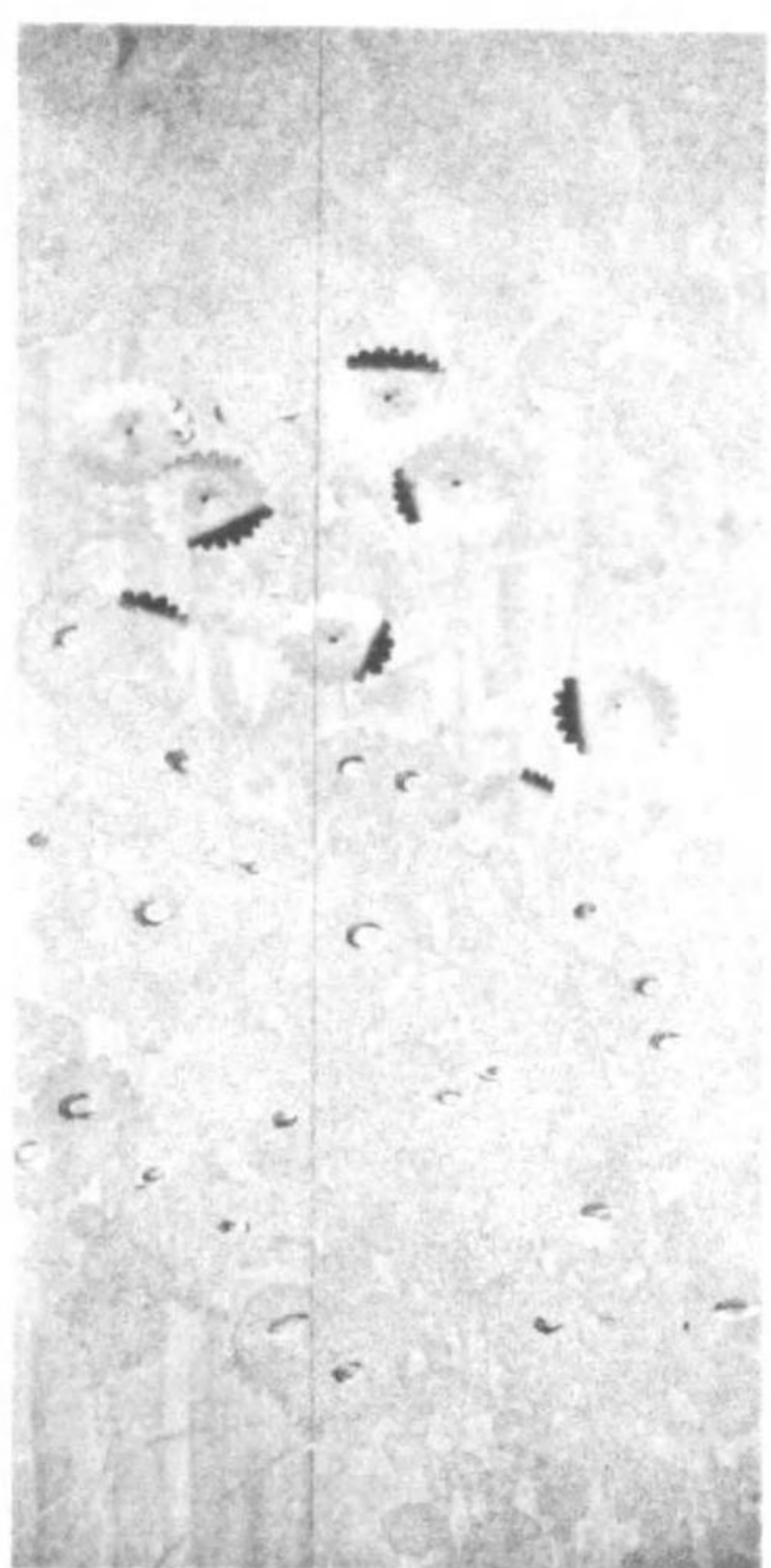
百七十四



百七十二



百七十七



百七十五



百七十八



百七十六



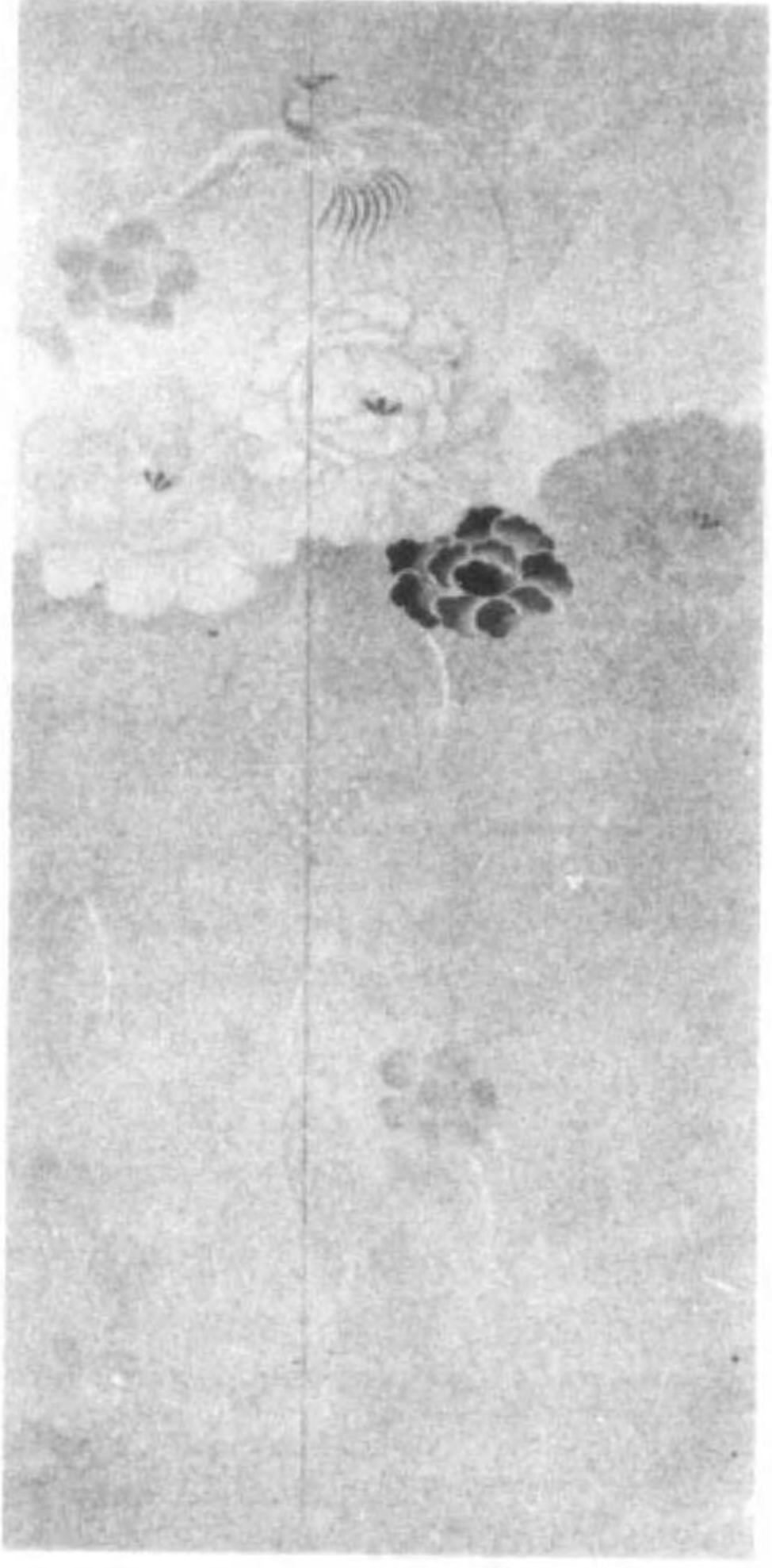
百八十一



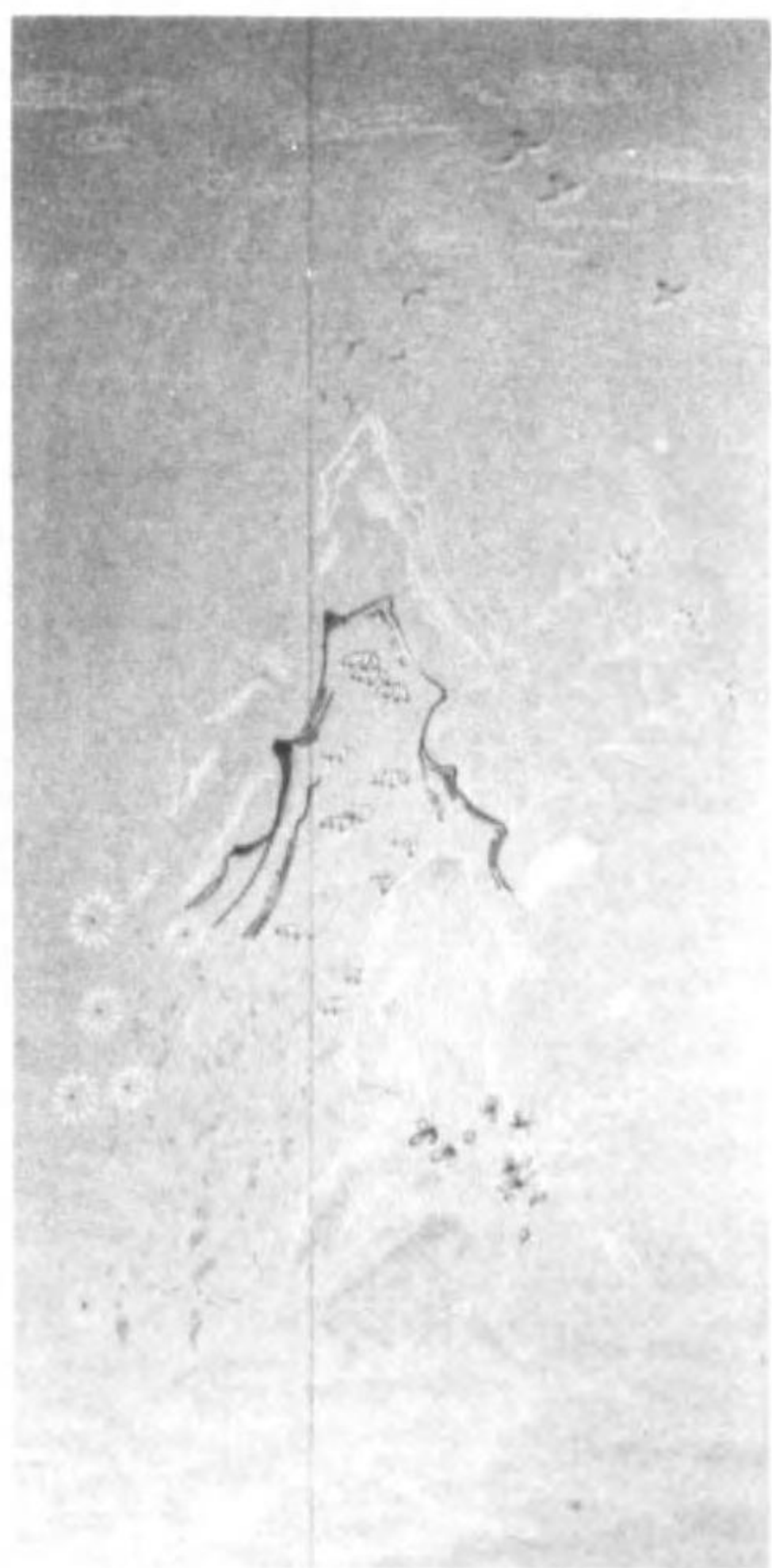
百七十九



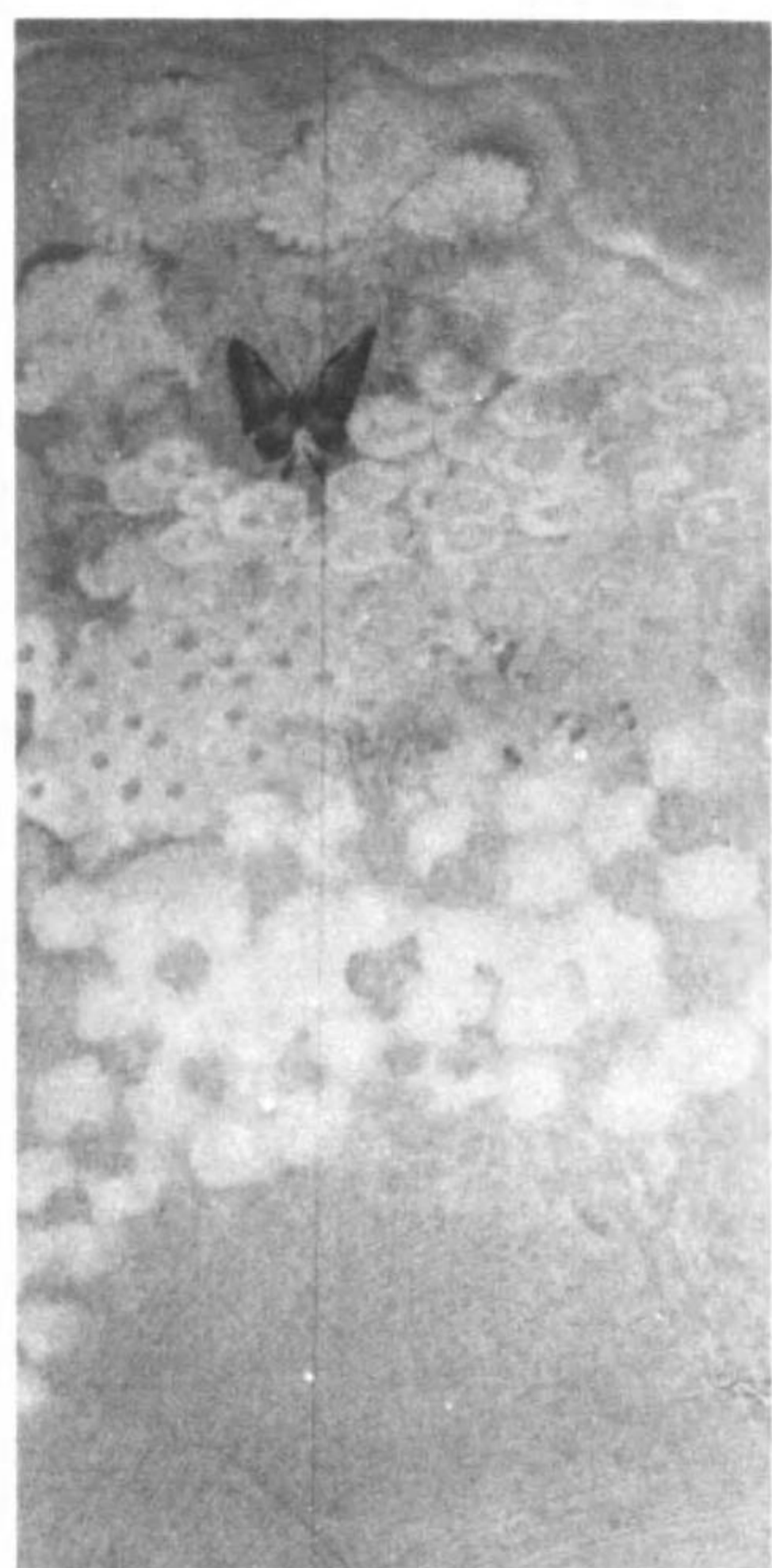
百八十二



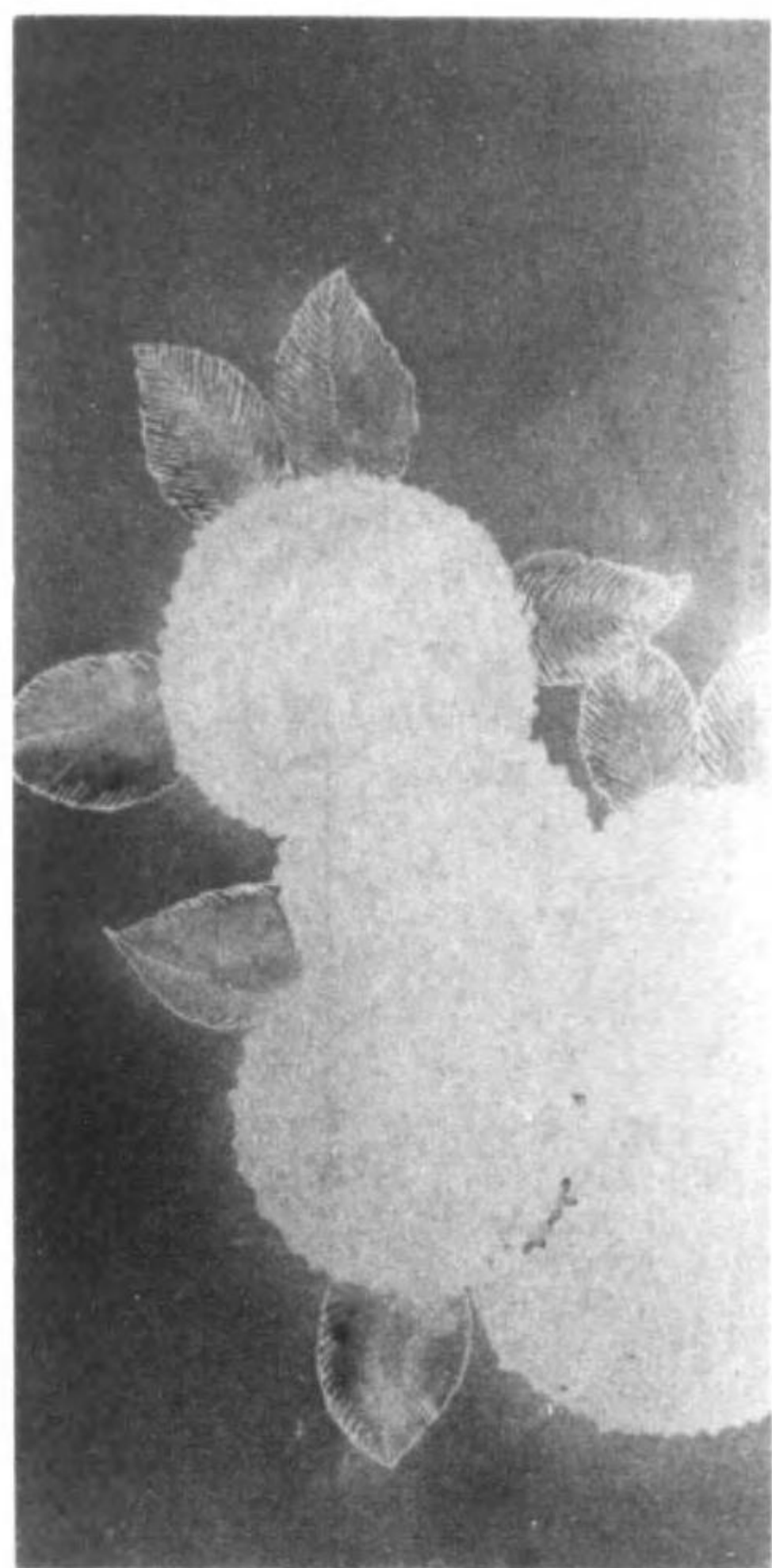
百八十



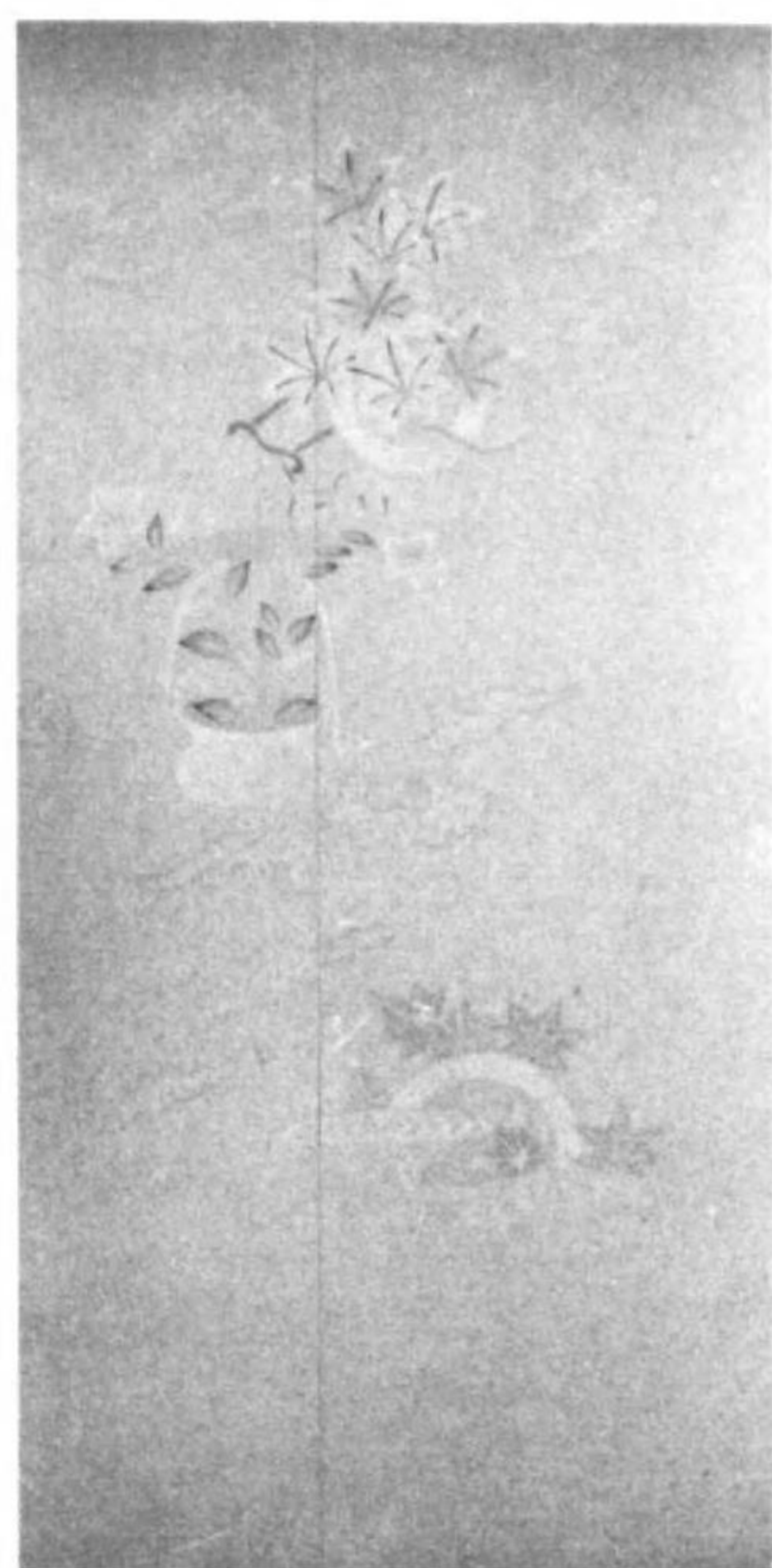
百八十五



百八十三



百八十六



百八十四

昭和三年四月十日印刷
昭和三年四月十五日發行

不許複製

定價金拾貳圓

編輯者 大丸吳服店意匠部

發行兼印刷者 本 田 市 次 郎

發行所 美術書肆 芸 會社
東京市本郷區湯島一丁目一號

發行所

美術書肆 芸 會社
東京市本郷區湯島一丁目一號
電話(丁番)三六〇〇番
電話(口座)東京四〇九四〇番

支店

314

101

終

